

平成29年度
佐世保市の環境問題に関するアンケート
集計結果（詳細版）

佐世保市環境政策課

目次

第1章 アンケート調査の概要	1
第2章 調査結果（市民）	2
回答者の属性	2
「関心が高い環境問題」	【問1】 3
「周辺環境の満足度および重要度」	【問2】 8
「日常の環境保全の取り組み」	【問3】 29
「環境保全の取り組みで障害と感じていること」	【問4】 42
「省エネ関連機器の設置利用について」	【問5】 47
「食品ロス」について	【問 6～ 9】 48
「3010（サンマルイチマル）運動について」	【問10～11】 50
第3章 調査結果（事業者）	52
回答者の属性	52
「関心が高い環境問題」	【問1】 53
「環境に関する経営方針等の導入について」	【問2】 55
「日常の取り組みの状況」	【問3】 56
「日常の取り組みで障害と感じていること」	【問4】 58
「導入している省エネ設備について」	【問5】 59
「エコ資金について」	【問6】 59
「3010運動について」	【問7～8】 60
第4章 資料（アンケート調査票）	62
アンケート調査票（市民）	62
アンケート調査票（事業者）	69

第1章 アンケート調査の概要

1 アンケート調査の目的

環境行政を効果的に推進するにあたり、市民や事業者の問題意識や取組状況、環境行政へのニーズを把握し、今後の環境行政の展開に活用する。

また、行政評価や佐世保市環境基本計画の成果指標となっている項目の達成度を当該アンケートにより把握するもの。

2 アンケート調査の対象

① 市民

佐世保市内に居住する20歳以上の男女（平成30年1月1日現在）のうち、支所及び行政センター管轄別の人口割合に応じて無作為に抽出した3,000名（男性1,500名、女性1,500名）

② 事業所

3 調査方法等

郵送による配布・回収（督促なし）

4 調査期間

平成30年2月9日（金）～3月9日（金）

5 回収結果

① 市民：1,184名（回収率：39.5%）

② 事業所：121事業所（回収率：48.4%）

6 その他

回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

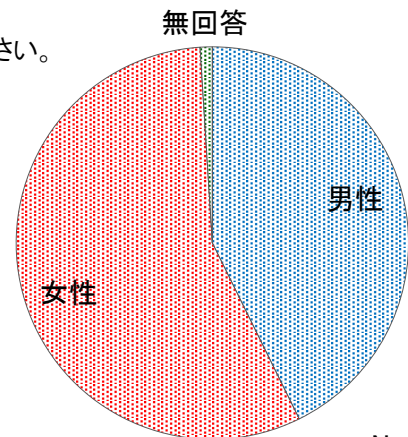
第2章 調査結果（市民）

■ 回答者の属性

あなたご自身についてお聞きます。該当する番号に○をつけてください。

①性別

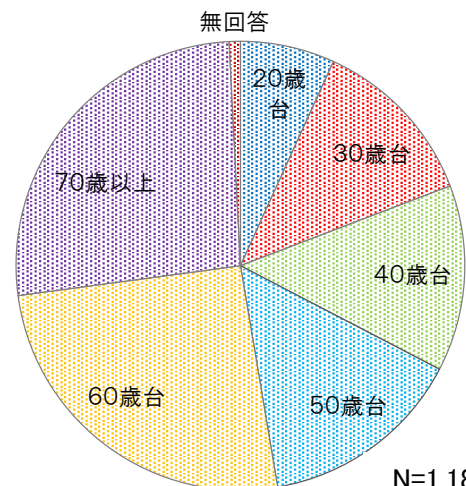
項目	回答数	割合
男性	506	42.7%
女性	666	56.3%
無回答	12	1.0%
合計	1,184	100.0%



N=1,184

②年代

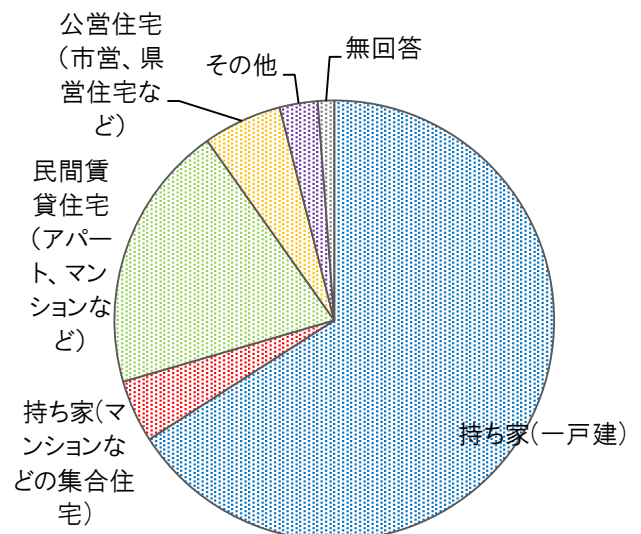
項目	回答数	割合
20歳台	81	6.8%
30歳台	147	12.4%
40歳台	159	13.4%
50歳台	174	14.7%
60歳台	302	25.5%
70歳以上	311	26.3%
無回答	10	0.8%
合計	1,184	100.0%



N=1,184

④お住まいの形態

業種	回答数	割合
持ち家（一戸建）	780	65.9%
持ち家（マンションなどの集合住宅）	55	4.6%
民間賃貸住宅（アパート、マンションなど）	233	19.7%
公営住宅（市営、県営住宅など）	69	5.8%
その他	33	2.8%
無回答	14	1.2%
合計	1,184	100.0%



N=1,184

■ 環境に対する考え方について

問1 あなたが関心を持っている環境問題は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

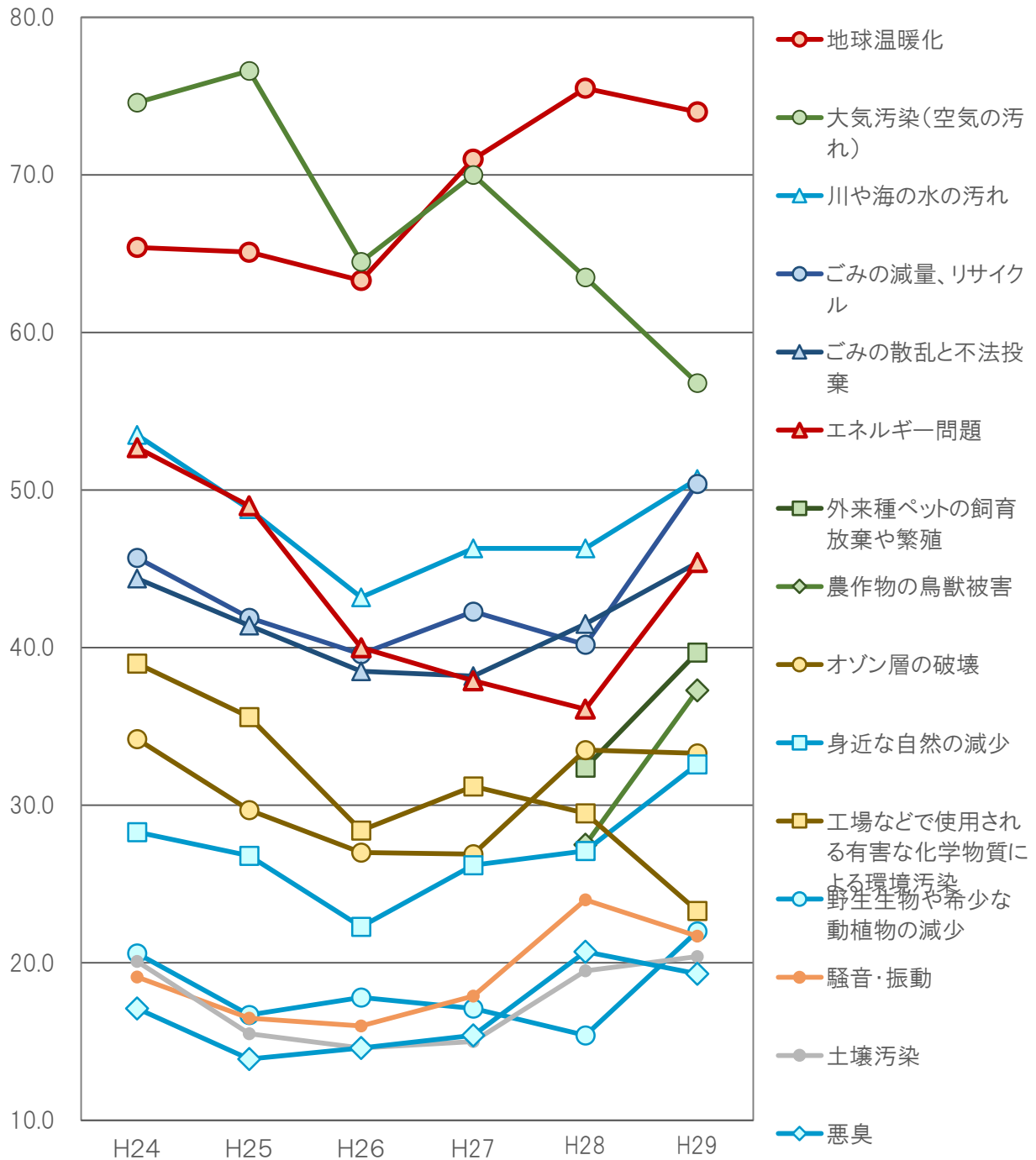
(関心が高い順)

項 目	回答数	割合	前年比	前年
地球温暖化	876	74.0%	△ 1.5%	75.5%
大気汚染(空気の汚れ)	673	56.8%	△ 6.7%	63.5%
川や海の水の汚れ	600	50.7%	4.4%	46.3%
ごみの減量、リサイクル	597	50.4%	10.2%	40.2%
ごみの散乱と不法投棄	538	45.4%	3.9%	41.5%
エネルギー問題	538	45.4%	9.3%	36.1%
外来種の繁殖による生態系などへの影響	470	39.7%	7.3%	32.4%
農作物の鳥獣被害	442	37.3%	9.8%	27.5%
オゾン層の破壊	394	33.3%	△ 0.2%	33.5%
身近な自然の減少	386	32.6%	5.5%	27.1%
工場などで使用される有害な化学物質による環境汚染	276	23.3%	△ 6.2%	29.5%
野生生物や希少な動植物の減少	260	22.0%	6.6%	15.4%
騒音、振動	257	21.7%	△ 2.3%	24.0%
土壌汚染	241	20.4%	0.9%	19.5%
悪臭	229	19.3%	△ 1.4%	20.7%
その他	75	6.3%	0.6%	5.7%
無回答	21	1.8%	0.2%	1.6%
合 計	6,873			

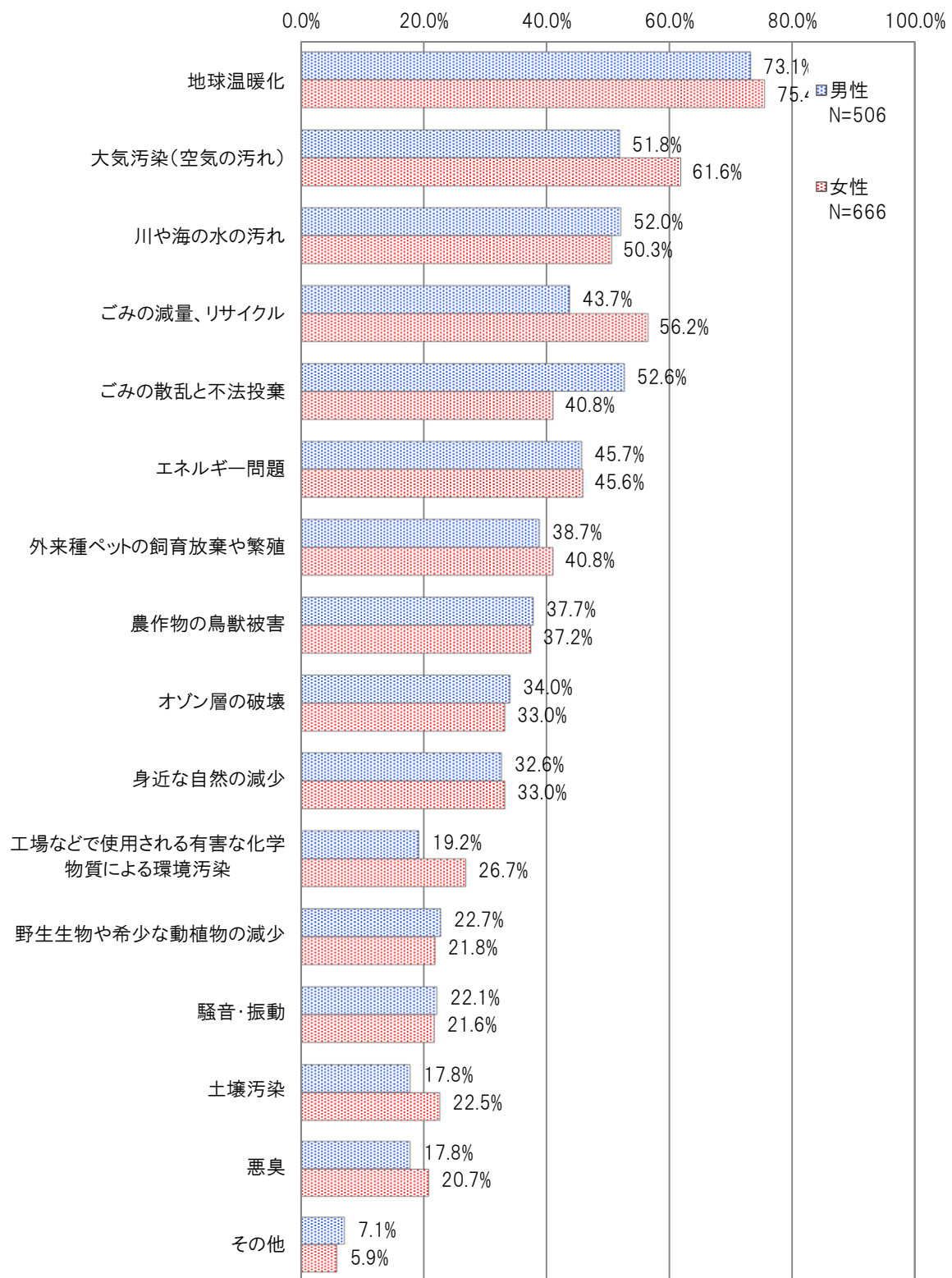
※有効回答者数(N):1,184人

- 上位2項目は前年度と同じく「地球温暖化」と「大気汚染(空気の汚れ)」であるが、「大気汚染(空気の汚れ)」については前年度から6.7ポイント減少している。
- 「ごみの減量・リサイクル」については10.2ポイントと大幅に上昇した。
- 「大気汚染(空気の汚れ)(△6.7ポイント)」「工場などで使用される有害な化学物質による環境汚染(△6.2ポイント)」の2項目については、昨年度を大きく下回った。

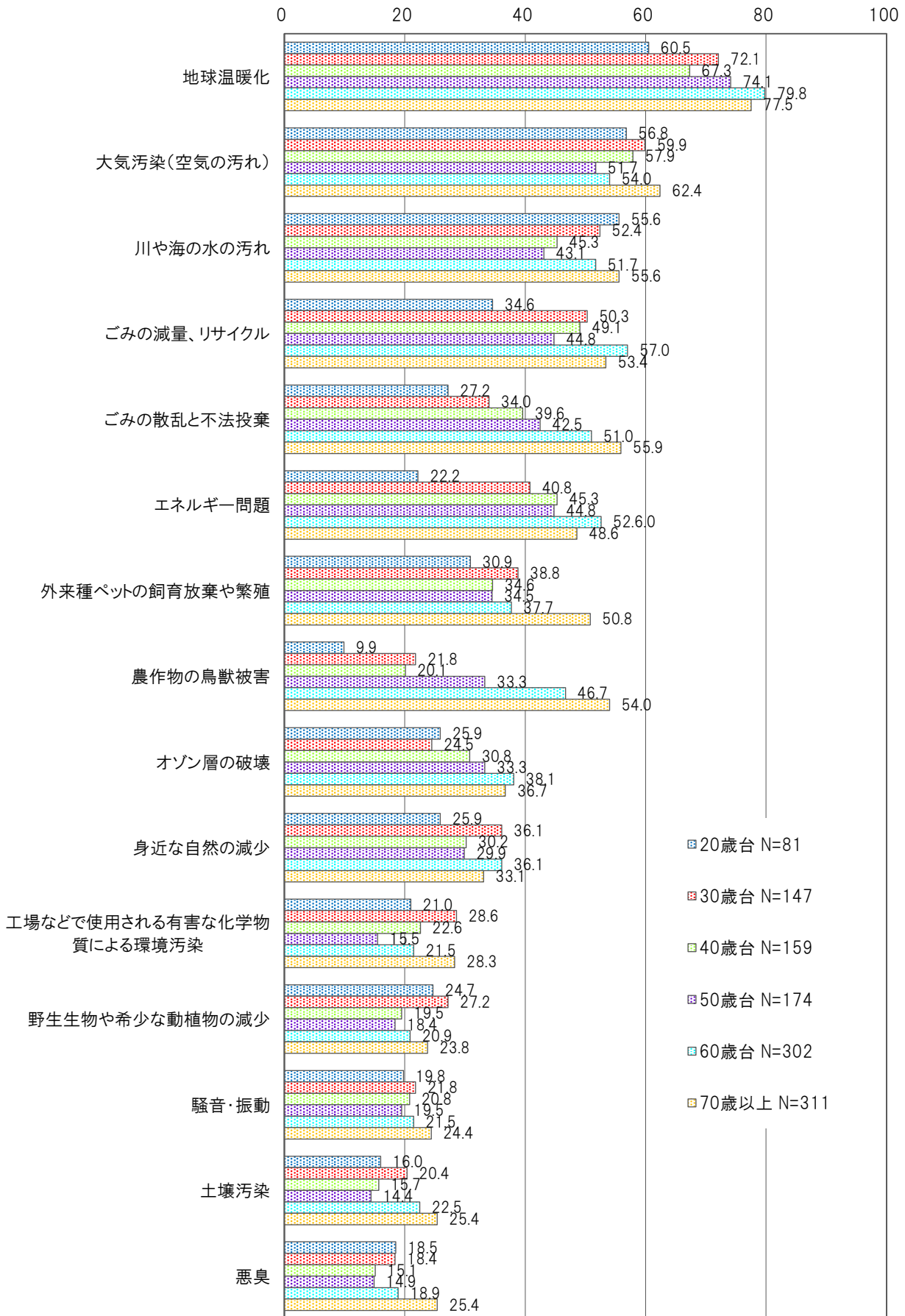
《過去の調査結果との経年比較》



《男女別クロス集計結果》



《年齢階層別クロス集計結果》



- 住宅回りに住む野良猫によるふん害
- 小高い山が続々開発され、家が建てられ身近な自然が少なくなっているのが悲しいです。
- 最近空き家が増えて危ない
- 合成樹脂による海の汚染。特に各種容器やポリ袋が目立つ
- 脱原発
- 石木ダム建設による環境破壊について
- 休耕田の荒廃
- カラス等の鳥がゴミを食いちぎって散乱する。投げ網をかぶせているが、うまい具合にちぎります。箱形の集じん場所が必要
- 食料品の過剰生産、過剰廃棄
- 川の土手がコンクリートで覆われていくこと
- 食物、飲料水の汚染。(残留農業、マイクロプラスチック汚染、古い水道管の汚れ等が気になる)
- 田畑での農薬散布
- たばこのポイ捨て
- 公園の植木の枯葉掃除をだれがやるのか。去年は一度も来ていない
- 環境ホルモン
- 下水道の完備
- 核廃棄物
- 野生動物による農作物等の被害
- 犬のうんこを散歩中によく見かける
- 野良猫の手術(増えないように)ボランティアまたは税金でまわせないのか
- たばこ受動喫煙
- 自動車による山林への不法投棄
- ごみだし、分別等は親の教育ですが、親が正しい分別ができていないので、子どもたちが心配
- 山や空き地の地主の責任ある維持と管理責任の無さに悩まされています

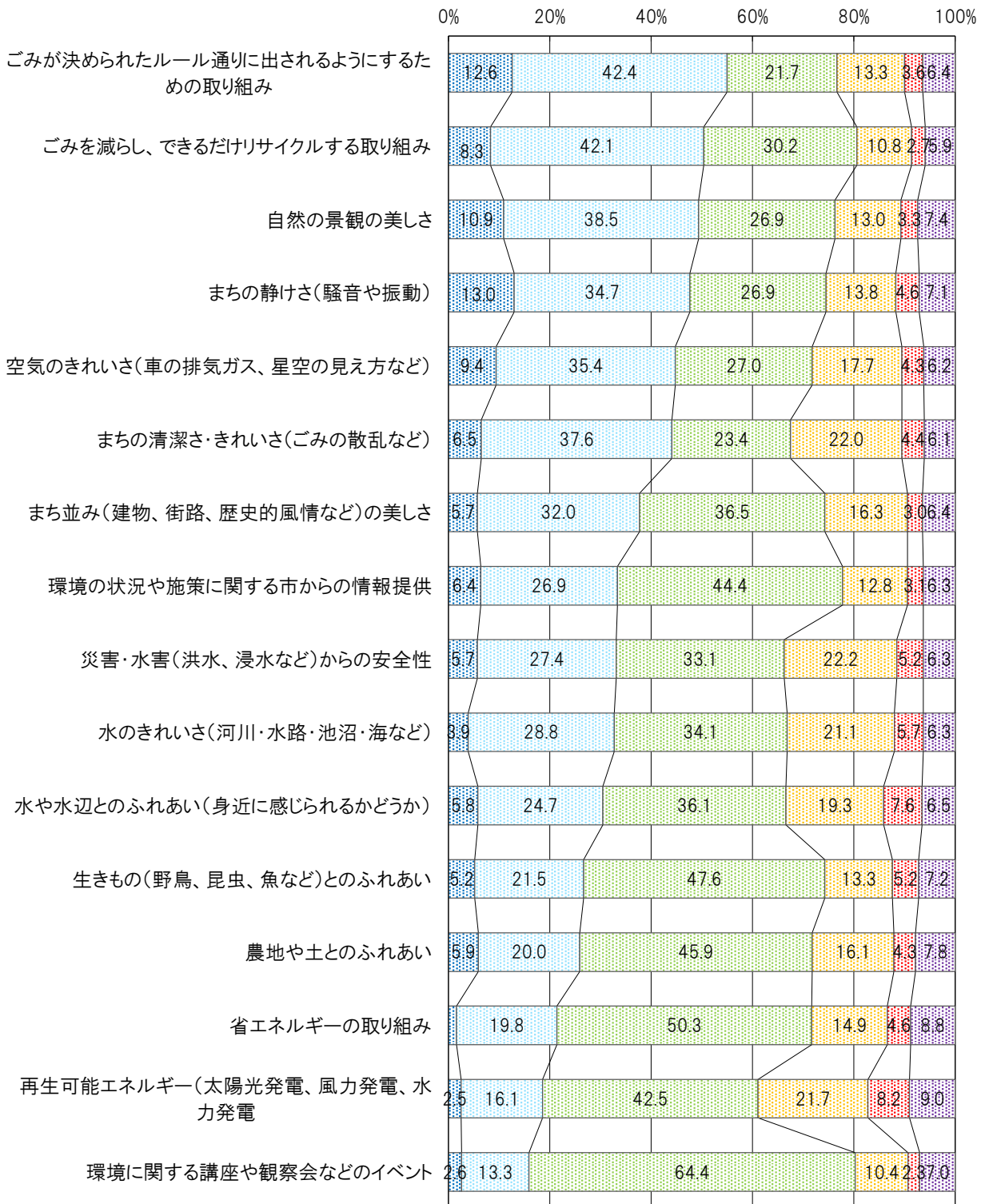
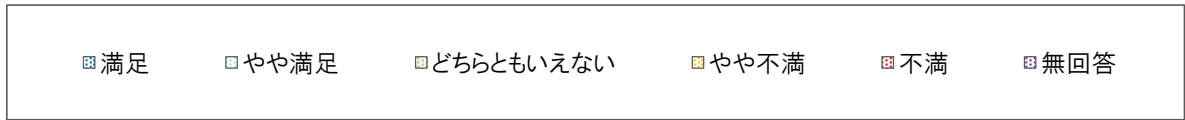
問2 お住まいの周辺環境について、あなたの満足度をお聞きます。次の1～17のそれぞれの環境の状態について、あなたの考えや意見に近いものの番号に○をつけてください。

(「満足」「やや満足」と回答した人の割合が高い順)

質問事項 ()内の数値は「満足」「やや満足」と回答した人の割合の合計 []は前年	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答	合計
ごみが決められたルール通りに出されるようにするための取り組み (55% [55%])	149 12.6%	502 42.4%	257 21.7%	157 13.3%	43 3.6%	76 6.4%	1,184 100%
ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (50.4% [48%])	98 8.3%	499 42.1%	357 30.2%	128 10.8%	32 2.7%	70 5.9%	1,184 100%
自然の景観の美しさ (49.4% [51.3%])	129 10.9%	456 38.5%	318 26.9%	154 13.0%	39 3.3%	88 7.4%	1,184 100%
まちの静けさ(騒音や振動) (47.7% [42.7%])	154 13.0%	411 34.7%	318 26.9%	163 13.8%	54 4.6%	84 7.1%	1,184 100%
空気のきれいさ(車の排気ガス、星空の見え方など) (44.8% [40.3%])	111 9.4%	419 35.4%	320 27.0%	210 17.7%	51 4.3%	73 6.2%	1,184 100%
まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱など) (44.1% [42.5%])	77 6.5%	445 37.6%	277 23.4%	261 22.0%	52 4.4%	72 6.1%	1,184 100%
まち並み(建物、街路、歴史的風情など)の美しさ (37.7% [37.2%])	68 5.7%	379 32.0%	432 36.5%	193 16.3%	36 3.0%	76 6.4%	1,184 100%
環境の状況や施策に関する市からの情報提供 (33.3% [35.1%])	76 6.4%	319 26.9%	526 44.4%	151 12.8%	37 3.1%	75 6.3%	1,184 100%
災害・水害(洪水、浸水など)からの安全性 (33.1% [30%])	68 5.7%	325 27.4%	392 33.1%	263 22.2%	61 5.2%	75 6.3%	1,184 100%
水のきれいさ(河川・水路・池沼・海など) (32.7% [32.4%])	46 3.9%	341 28.8%	404 34.1%	250 21.1%	68 5.7%	75 6.3%	1,184 100%
水や水辺とのふれあい(身近に感じられるかどうか) (30.5% [32.3%])	69 5.8%	292 24.7%	428 36.1%	228 19.3%	90 7.6%	77 6.5%	1,184 100%
生きもの(野鳥、昆虫、魚など)とのふれあい (26.7% [31.1%])	62 5.2%	254 21.5%	564 47.6%	158 13.3%	61 5.2%	85 7.2%	1,184 100%
農地や土とのふれあい (25.9% [28.6%])	70 5.9%	237 20.0%	543 45.9%	191 16.1%	51 4.3%	92 7.8%	1,184 100%
省エネルギーの取り組み (21.4% [18.4%])	19 1.6%	235 19.8%	595 50.3%	177 14.9%	54 4.6%	104 8.8%	1,184 100%
再生可能エネルギー(太陽光発電、風力発電、水力発電 などの枯渇しないエネルギー)の導入 (18.6% [18.7%])	30 2.5%	191 16.1%	503 42.5%	257 21.7%	97 8.2%	106 9.0%	1,184 100%
環境に関する講座や観察会などのイベント (15.9% [13.6%])	31 2.6%	157 13.3%	763 64.4%	123 10.4%	27 2.3%	83 7.0%	1,184 100%

※有効回答者数(N):1,184人

- 前年度を大きく上回った項目は「まちの静けさ(5.0ポイント)」「空気のきれいさ(4.5ポイント)」「災害・水害からの安全性(3.1ポイント)」「省エネルギーの取り組み(3.0ポイント)」の4項目であった。
- 大きく下降した項目は「生きもの(野鳥、昆虫、魚)とのふれあい」の1項目(△4.4ポイント)であった。



問2 お住まいの周辺環境について、あなたの重要度をお聞きます。次の1～17のそれぞれの環境の状態について、あなたの考えや意見に近いものの番号に○をつけてください。

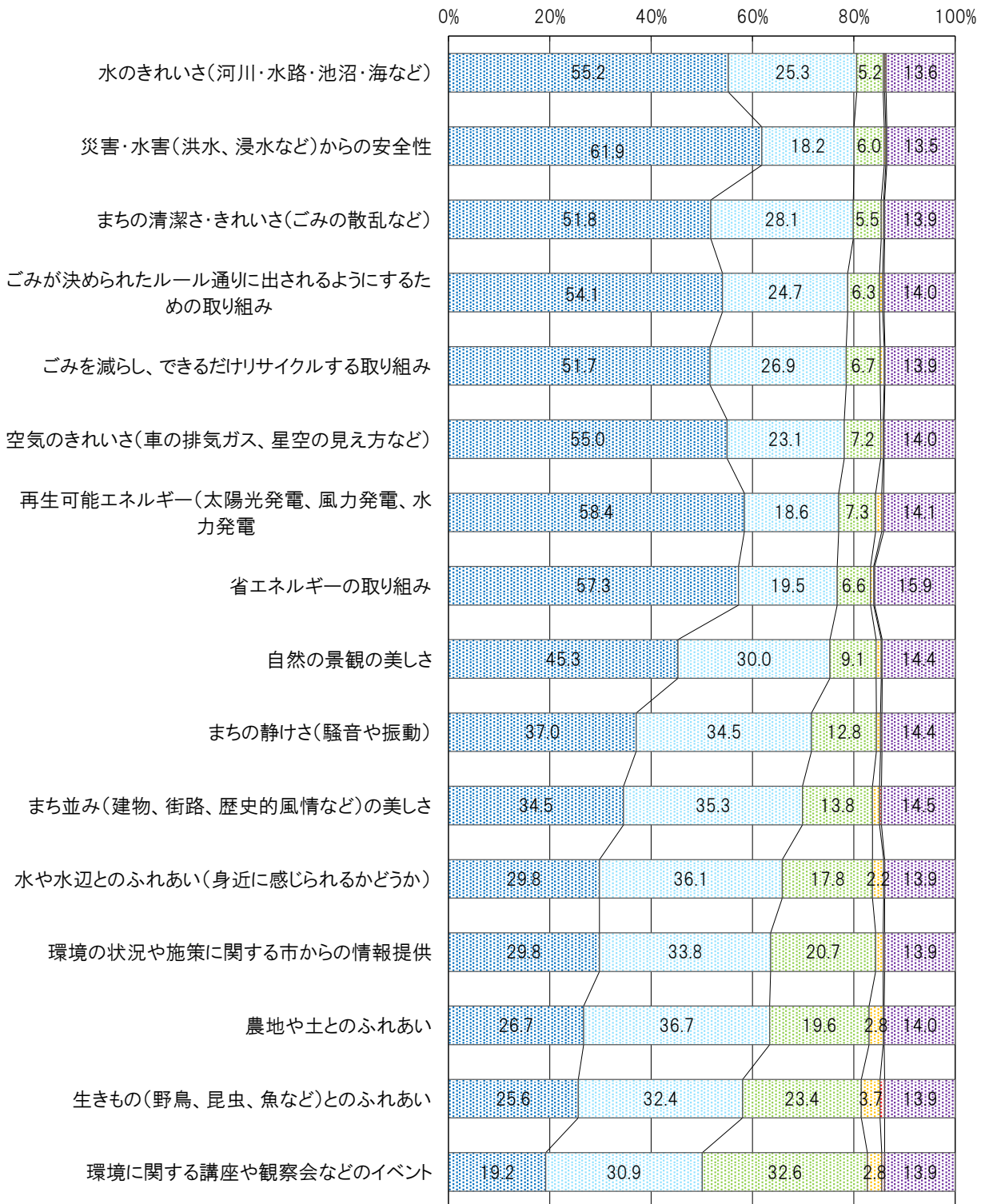
(「重要」「やや重要」と回答した人の割合が高い順)

質問事項 ()内の数値は「重要」「やや重要」と回答した人の割合の合計 []は前年	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり重要でない	重要でない	無回答	合計
水のきれいさ(河川・水路・池沼・海など) (80.5% [82.7%])	654 55.2%	300 25.3%	62 5.2%	4 0.3%	3 0.3%	161 13.6%	1,184 100%
災害・水害(洪水、浸水など)からの安全性 (80.1% [83.7%])	733 61.9%	215 18.2%	71 6.0%	3 0.3%	2 0.2%	160 13.5%	1,184 100%
まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱など) (79.9% [82%])	613 51.8%	333 28.1%	65 5.5%	6 0.5%	2 0.2%	165 13.9%	1,184 100%
ごみが決められたルール通りに出されるようにするための取り組み (78.8% [79.6%])	640 54.1%	293 24.7%	75 6.3%	7 0.6%	3 0.3%	166 14.0%	1,184 100%
ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (78.6% [79.8%])	612 51.7%	318 26.9%	79 6.7%	9 0.8%	1 0.1%	165 13.9%	1,184 100%
空気のきれいさ(車の排気ガス、星空の見える方など) (78.1% [81.5%])	651 55.0%	274 23.1%	85 7.2%	6 0.5%	2 0.2%	166 14.0%	1,184 100%
再生可能エネルギー(太陽光発電、風力発電、水力発電などの枯渇しないエネルギー)の導入 (77% [79.3%])	692 58.4%	220 18.6%	86 7.3%	14 1.2%	5 0.4%	167 14.1%	1,184 100%
省エネルギーの取り組み (76.8% [79.3%])	678 57.3%	231 19.5%	78 6.6%	7 0.6%	2 0.2%	188 15.9%	1,184 100%
自然の景観の美しさ (75.3% [76.3%])	536 45.3%	355 30.0%	108 9.1%	12 1.0%	2 0.2%	171 14.4%	1,184 100%
まちの静けさ(騒音や振動) (71.5% [75.7%])	438 37.0%	409 34.5%	152 12.8%	10 0.8%	4 0.3%	171 14.4%	1,184 100%
まち並み(建物、街路、歴史的風情など)の美しさ (69.8% [73%])	409 34.5%	418 35.3%	163 13.8%	17 1.4%	5 0.4%	172 14.5%	1,184 100%
水や水辺とのふれあい(身近に感じられるかどうか) (65.9% [67.3%])	353 29.8%	428 36.1%	211 17.8%	26 2.2%	2 0.2%	164 13.9%	1,184 100%
環境の状況や施策に関する市からの情報提供 (63.6% [66.9%])	353 29.8%	400 33.8%	245 20.7%	18 1.5%	3 0.3%	165 13.9%	1,184 100%
農地や土とのふれあい (63.4% [63.5%])	316 26.7%	435 36.7%	232 19.6%	33 2.8%	2 0.2%	166 14.0%	1,184 100%
生きもの(野鳥、昆虫、魚など)とのふれあい (58% [58.6%])	303 25.6%	384 32.4%	277 23.4%	44 3.7%	11 0.9%	165 13.9%	1,184 100%
環境に関する講座や観察会などのイベント (50.1% [54%])	227 19.2%	366 30.9%	386 32.6%	33 2.8%	7 0.6%	165 13.9%	1,184 100%

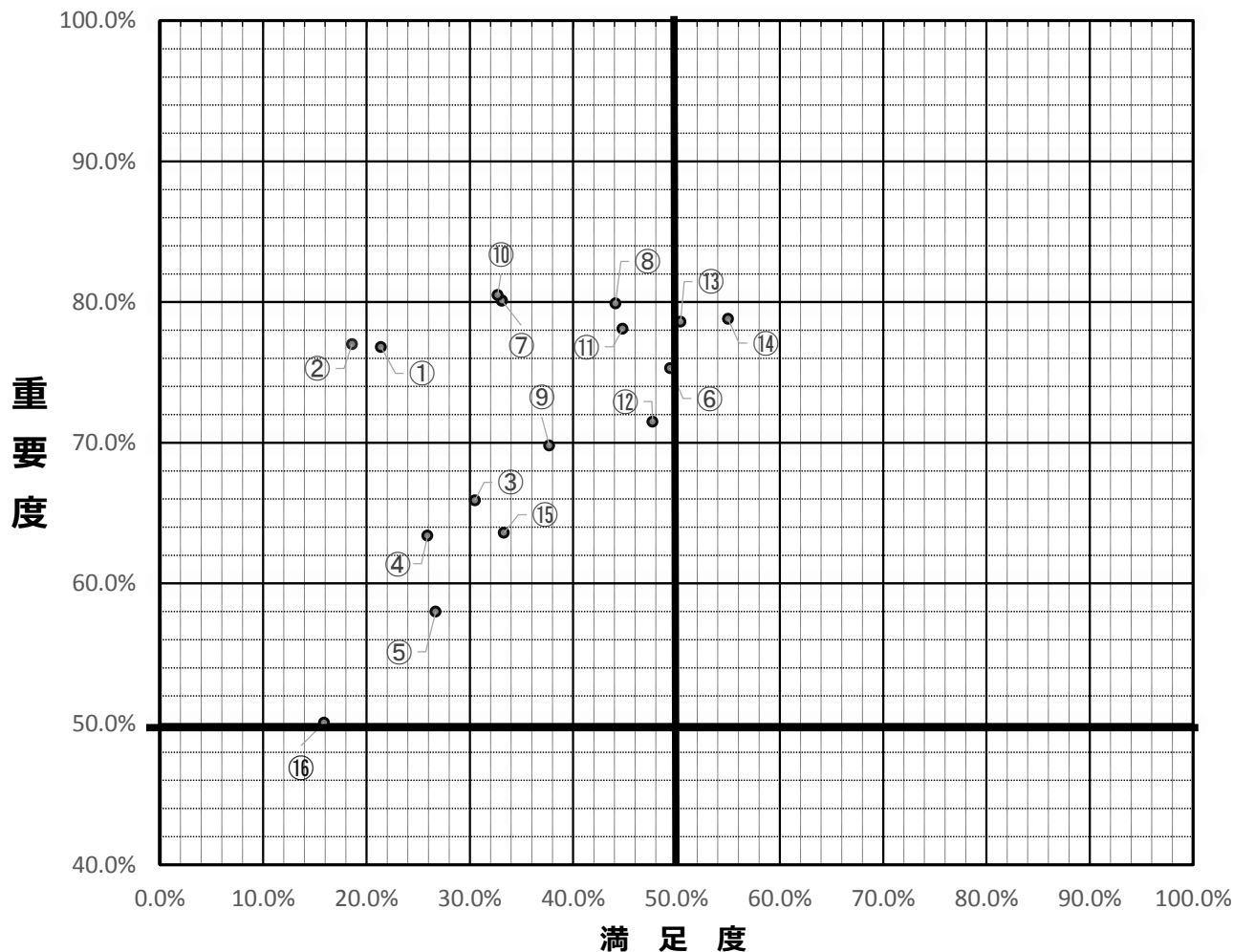
※有効回答者数(N):1,184人

- 昨年度から大きく下降した項目は、「災害・水害からの安全性(△3.6ポイント)」「空気のきれいさ(△3.4ポイント)」「まちの静けさ(4.2ポイント)」「まち並みの美しさ(△3.2ポイント)」「環境の状況や施策に関する市からの情報提供(△3.3ポイント)」「環境に関する講座や観察会などのイベント(△3.9ポイント)」の6項目であった。
- すべての項目が昨年度を下回っており、増加した項目はなかった。

重要 やや重要 どちらともいえない あまり重要でない 重要でない 無回答



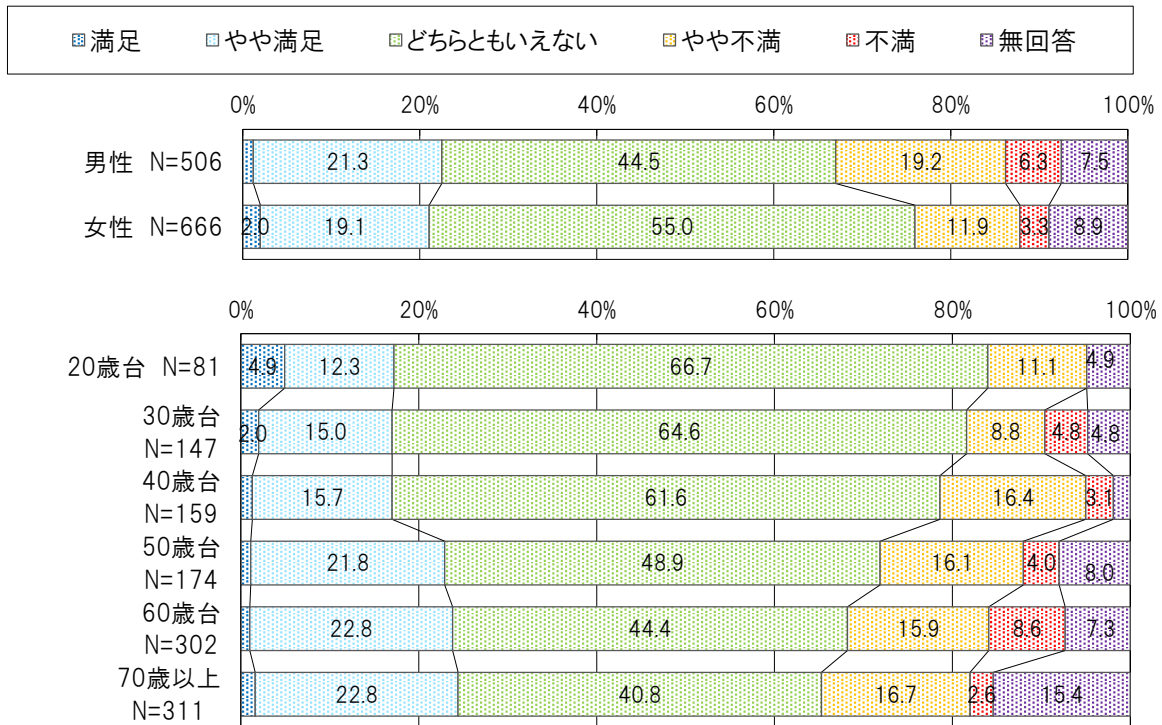
《満足度と重要度の関係》



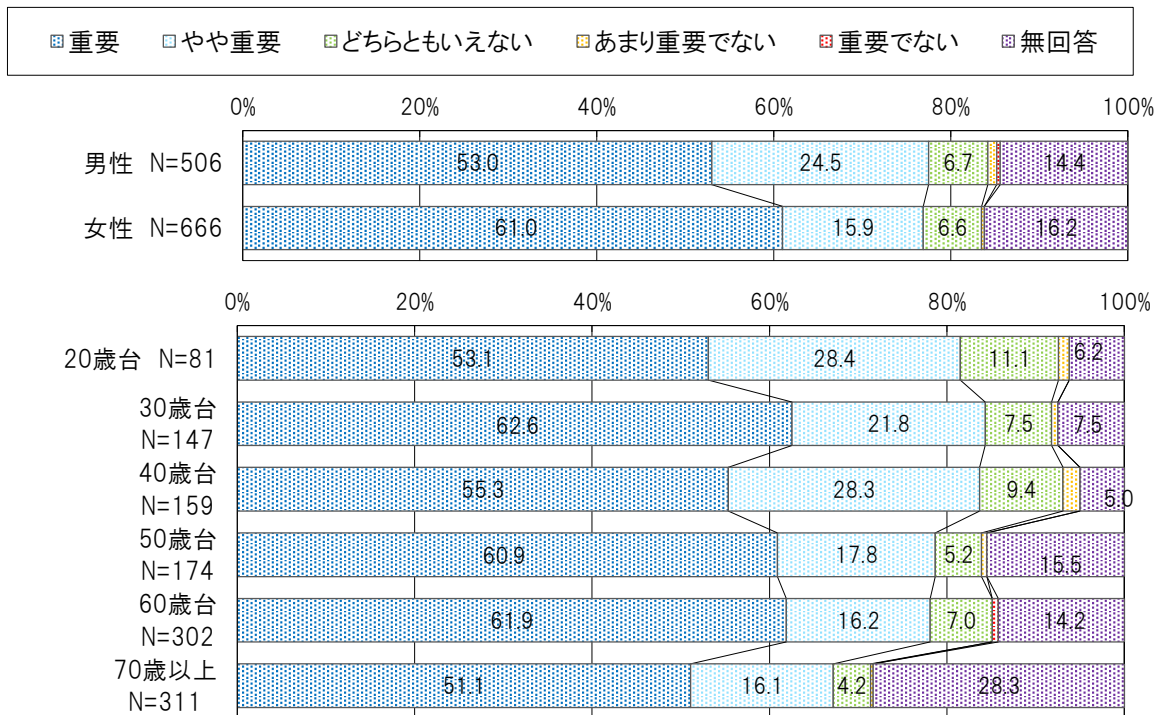
	「満足」「やや満足」と 答えた人の割合	「重要」「やや重要」と 答えた人の割合
① 省エネルギーの取組	21.4%	76.8%
② 再生可能エネルギーの導入	18.6%	77.0%
③ 水や水辺とのふれあい	30.5%	65.9%
④ 農地や土とのふれあい	25.9%	63.4%
⑤ 生きものとのふれあい	26.7%	58.0%
⑥ 自然の景観の美しさ	49.4%	75.3%
⑦ 災害、水害からの安全性	33.1%	80.1%
⑧ まちの清潔さ・きれいさ	44.1%	79.9%
⑨ まち並みの美しさ	37.7%	69.8%
⑩ 水のきれいさ	32.7%	80.5%
⑪ 空気のきれいさ	44.8%	78.1%
⑫ まちの静けさ	47.7%	71.5%
⑬ ごみを減らし、できるだけリサイクルする取組	50.4%	78.6%
⑭ ごみが決められたルール通りに出されるようにするための取組	55.0%	78.8%
⑮ 環境の状況や施策に関する市からの情報提供	33.3%	63.6%
⑯ 環境に関する講座や観察会などのイベント	15.9%	50.1%

《省エネルギーの取り組み》

《満足度》

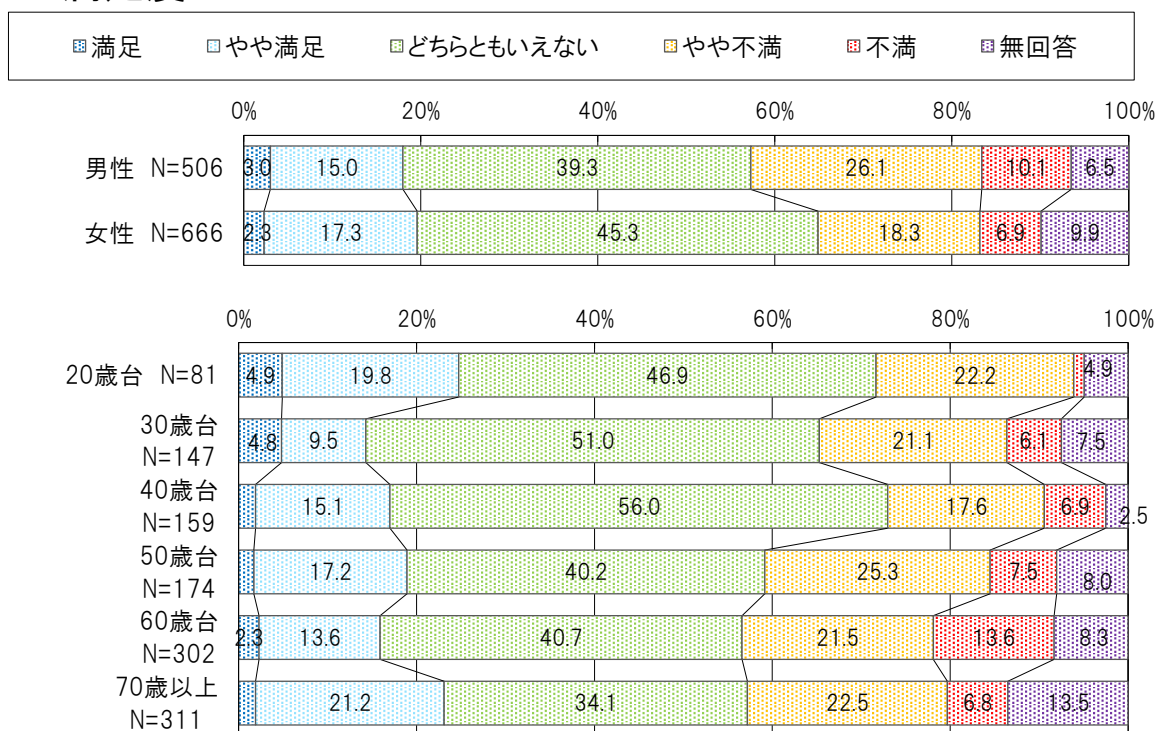


《重要度》

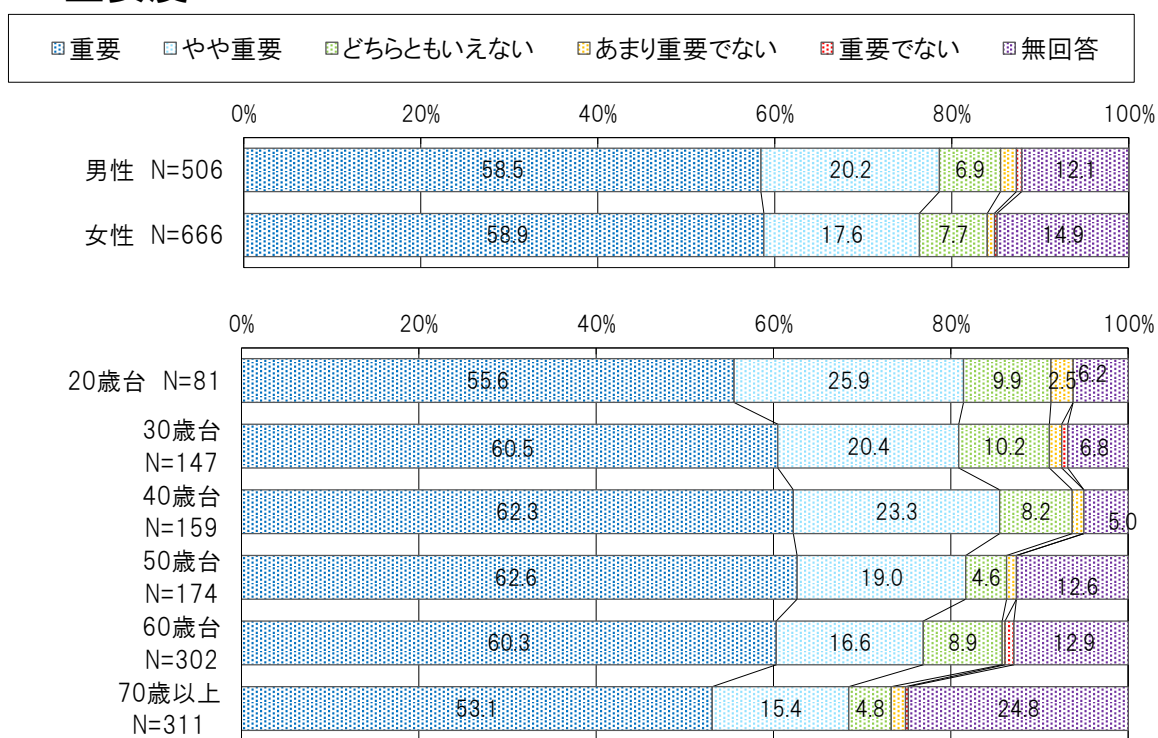


《再生可能エネルギー(太陽光発電、風力発電、水力発電などの枯渇しないエネルギー)の導入》

《満足度》

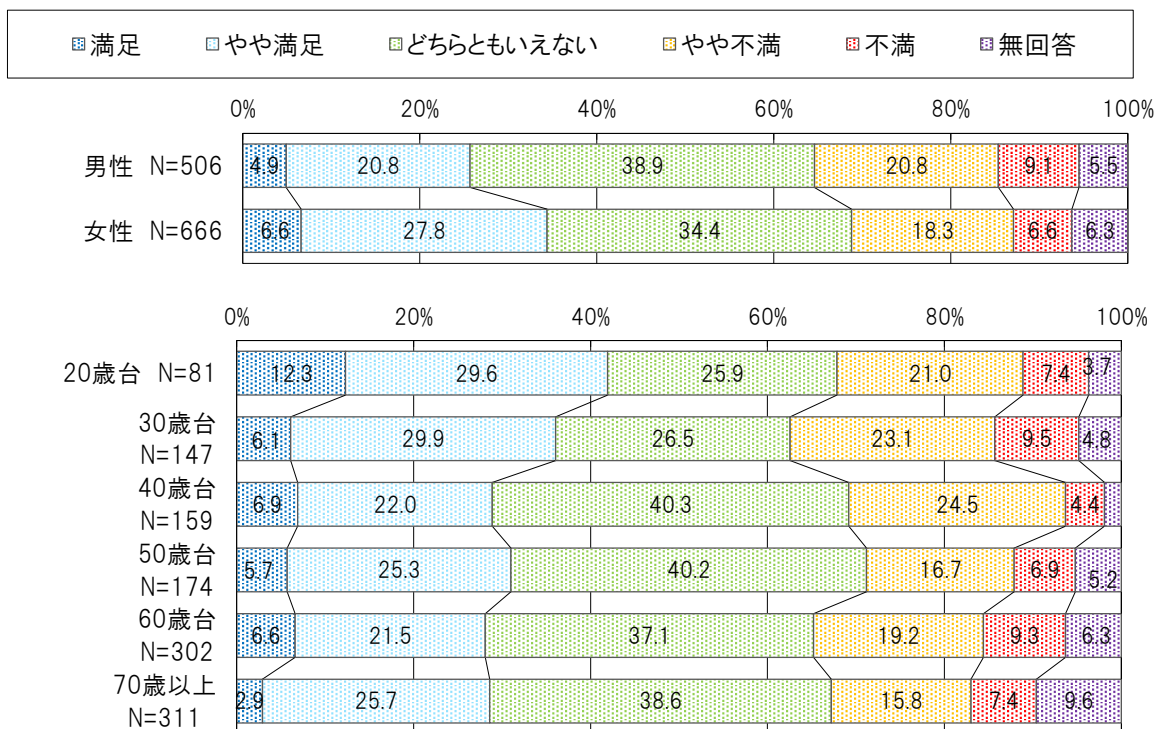


《重要度》

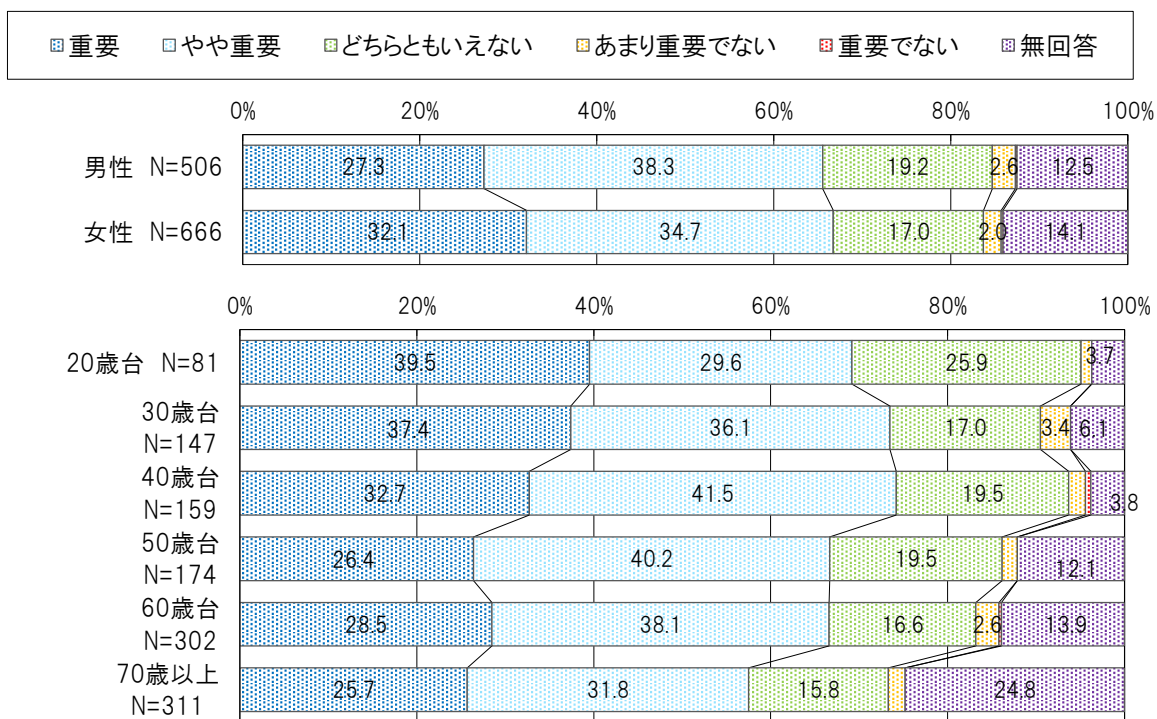


《水や水辺とのふれあい(身近に感じられるかどうか)》

《満足度》

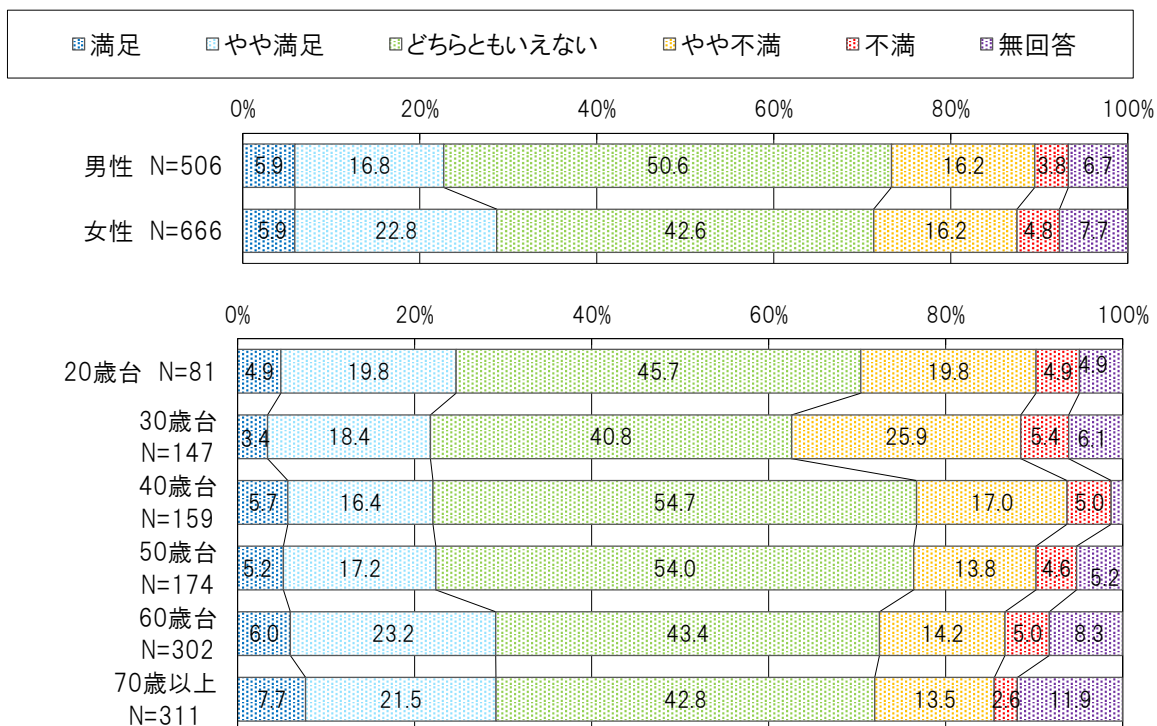


《重要度》

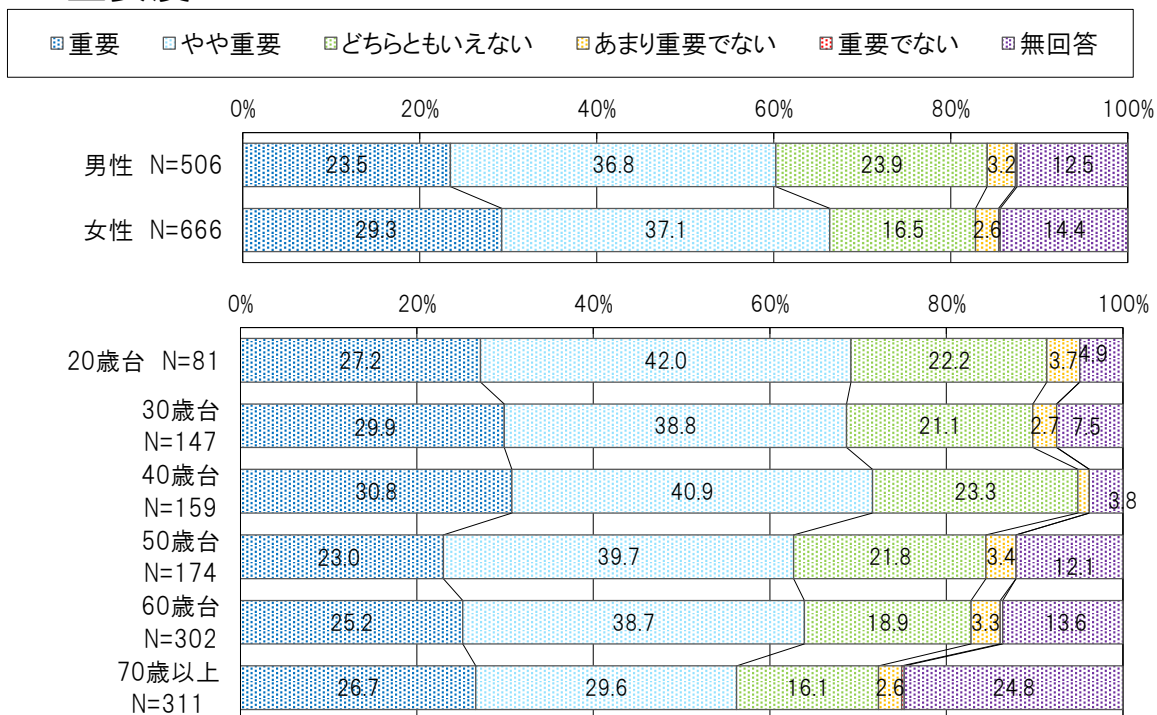


《農地や土とのふれあい》

《満足度》

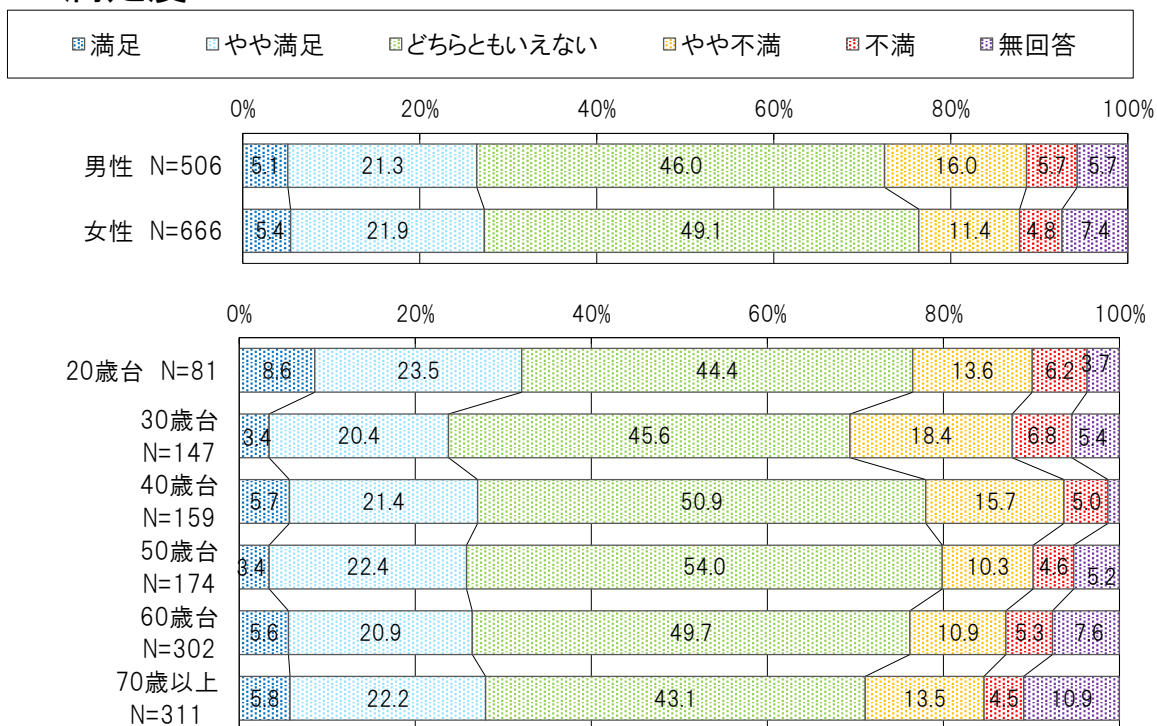


《重要度》

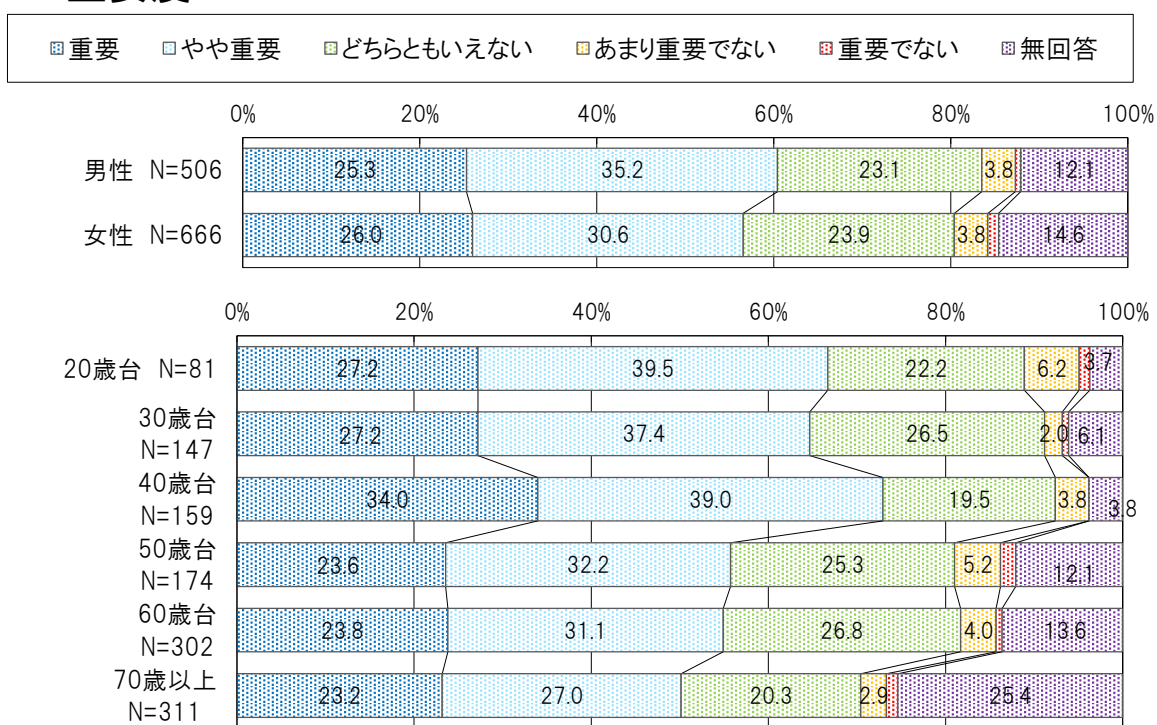


《生きもの(野鳥・昆虫・魚など)とのふれあい》

《満足度》

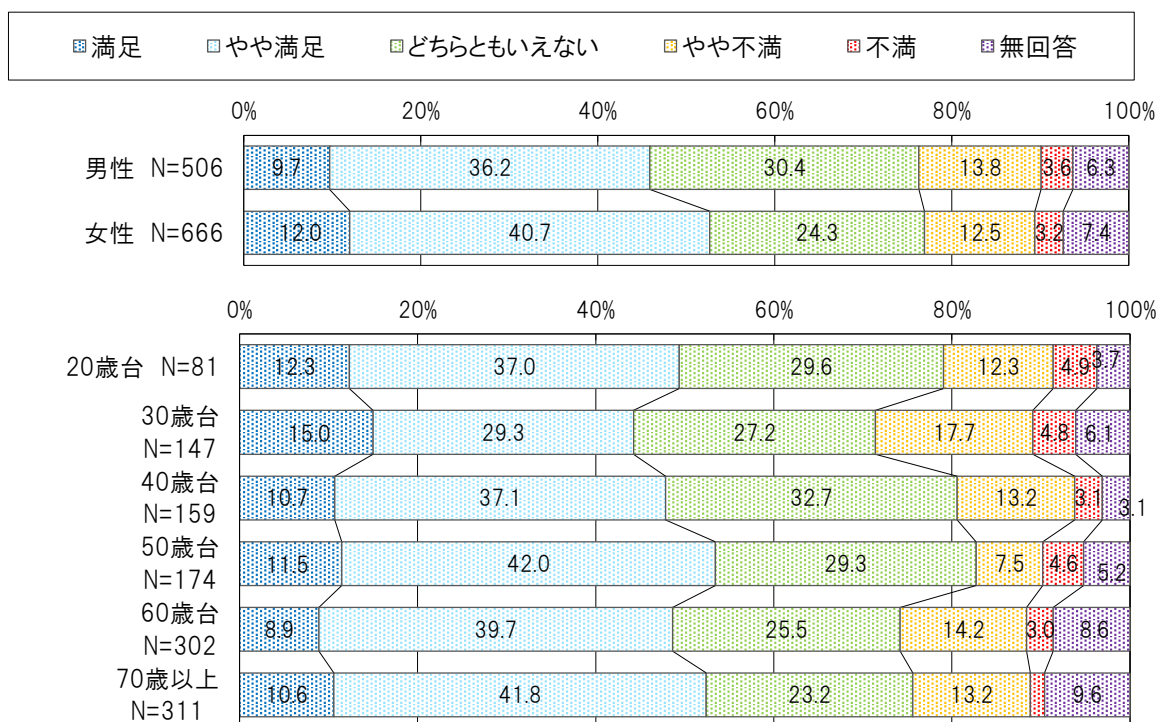


《重要度》

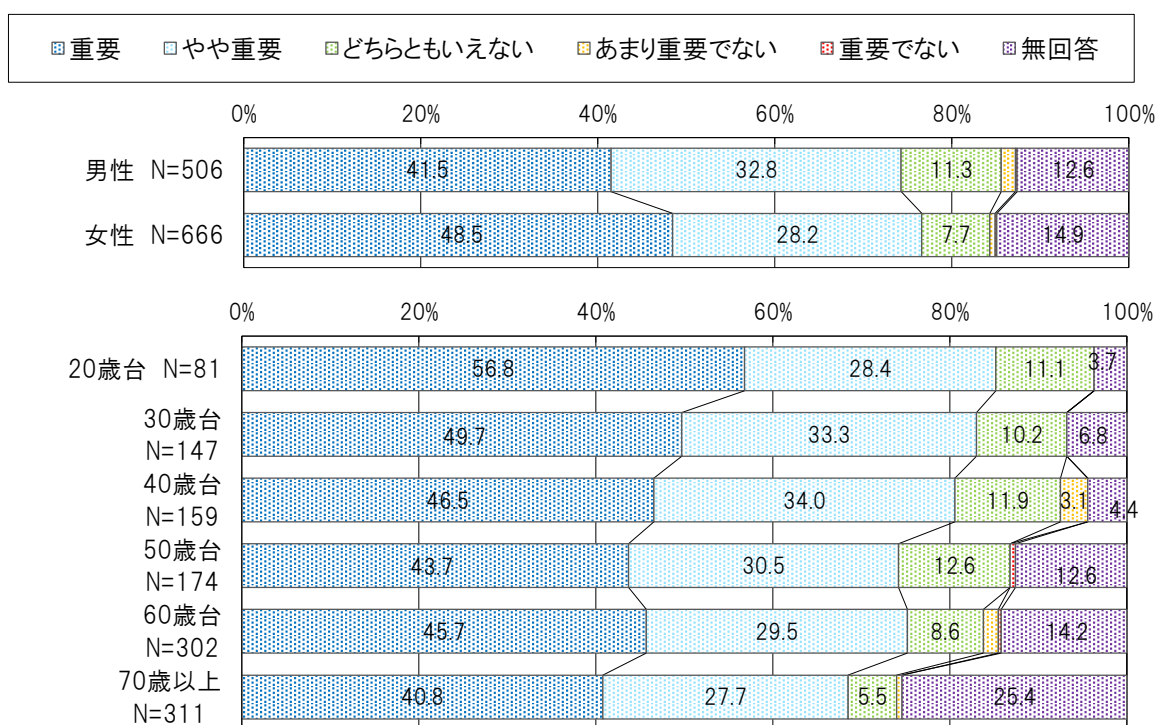


《自然の景観の美しさ》

《満足度》

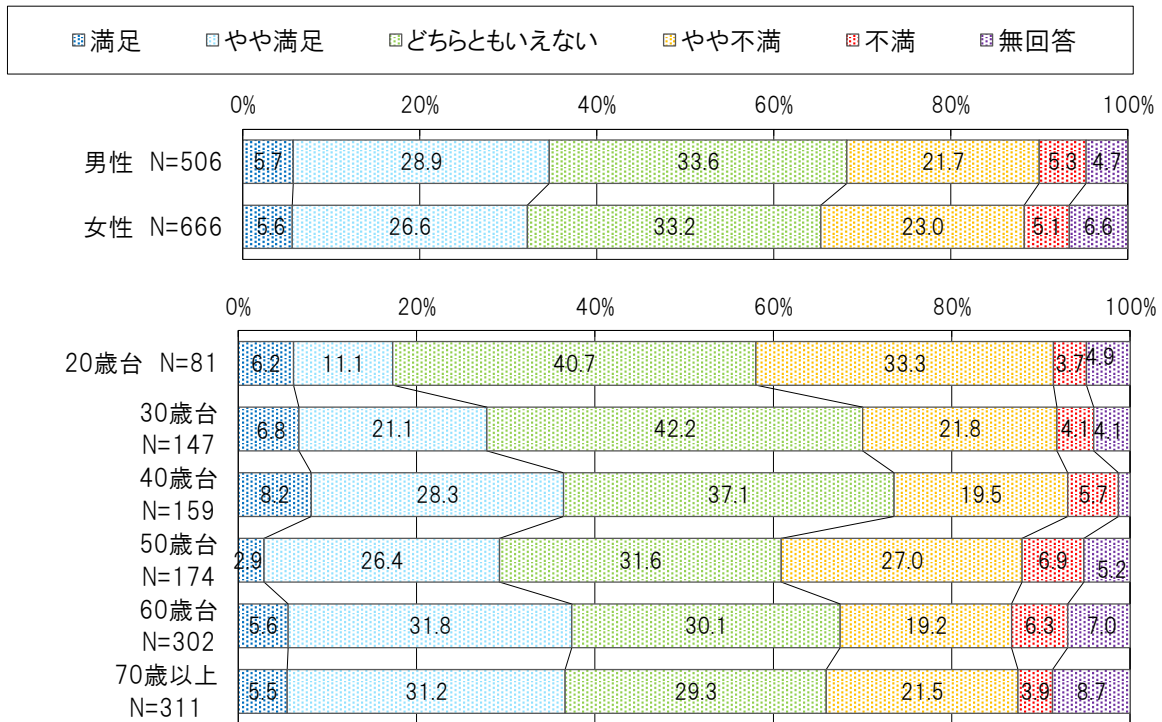


《重要度》

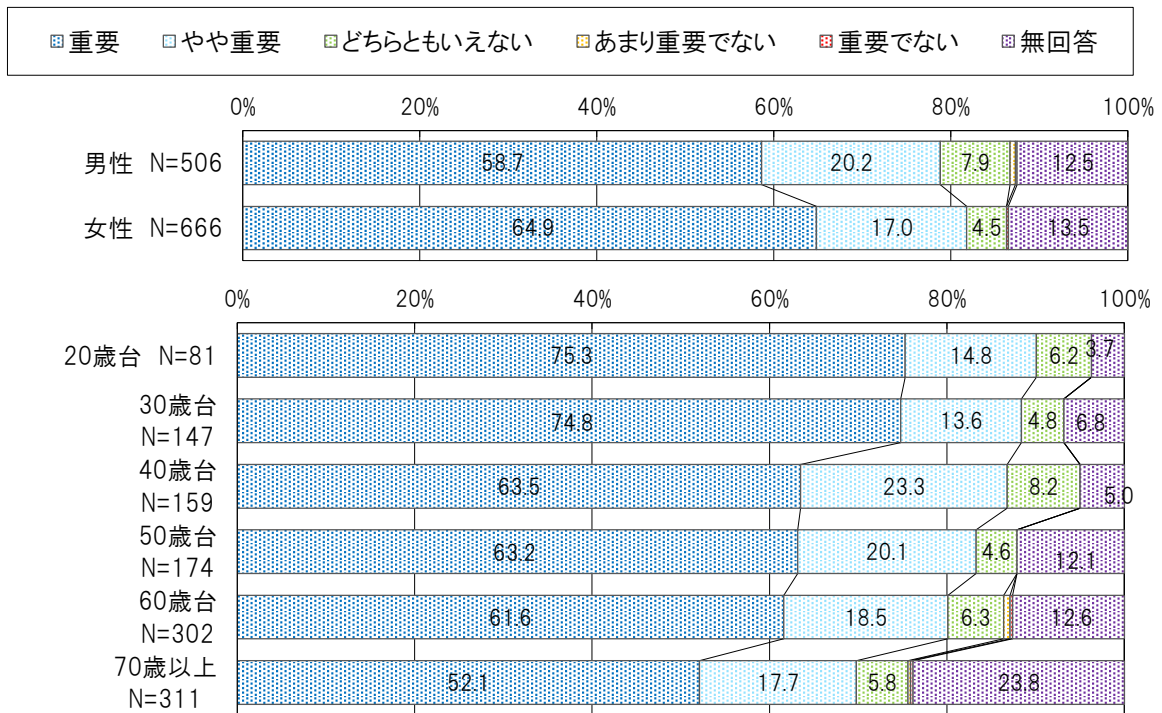


《災害・水害(洪水、浸水など)からの安全性》

《満足度》

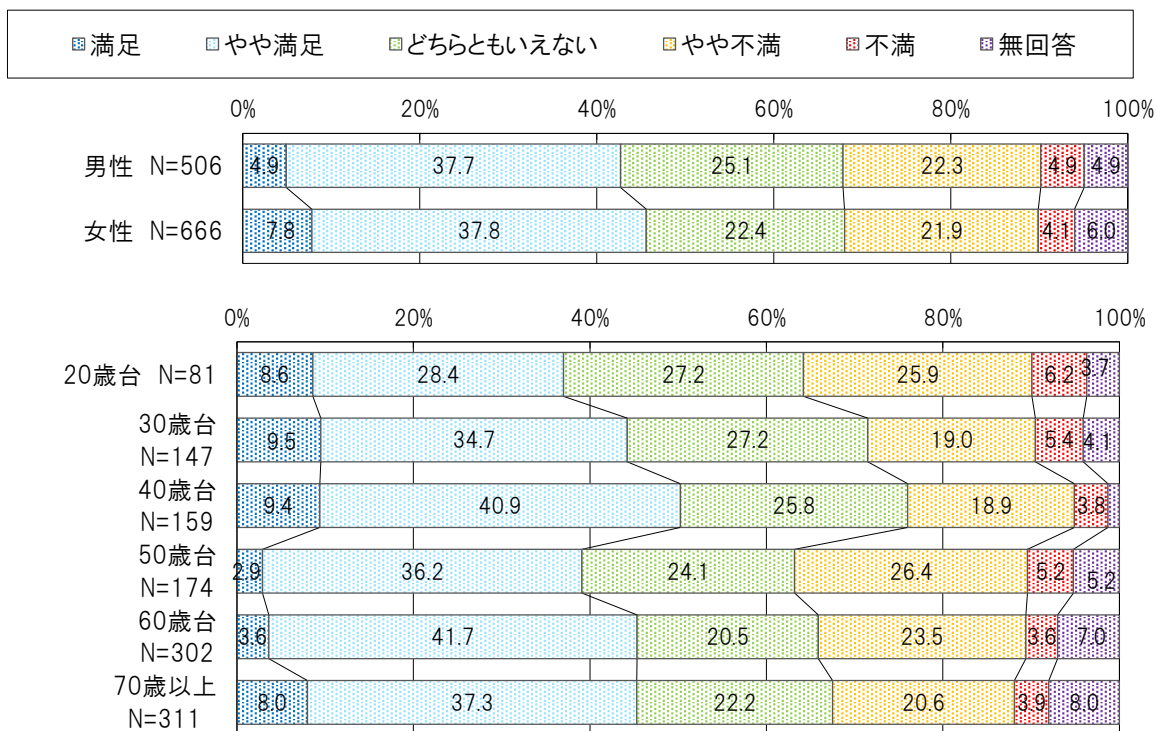


《重要度》

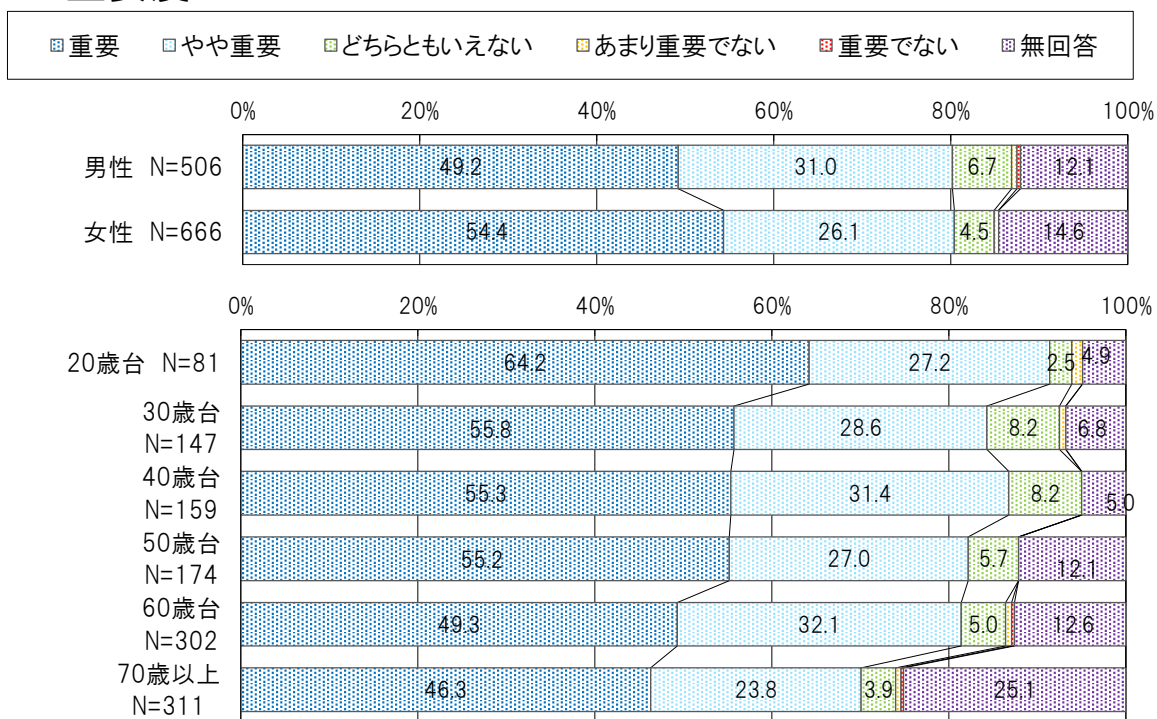


《まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱など)》

《満足度》

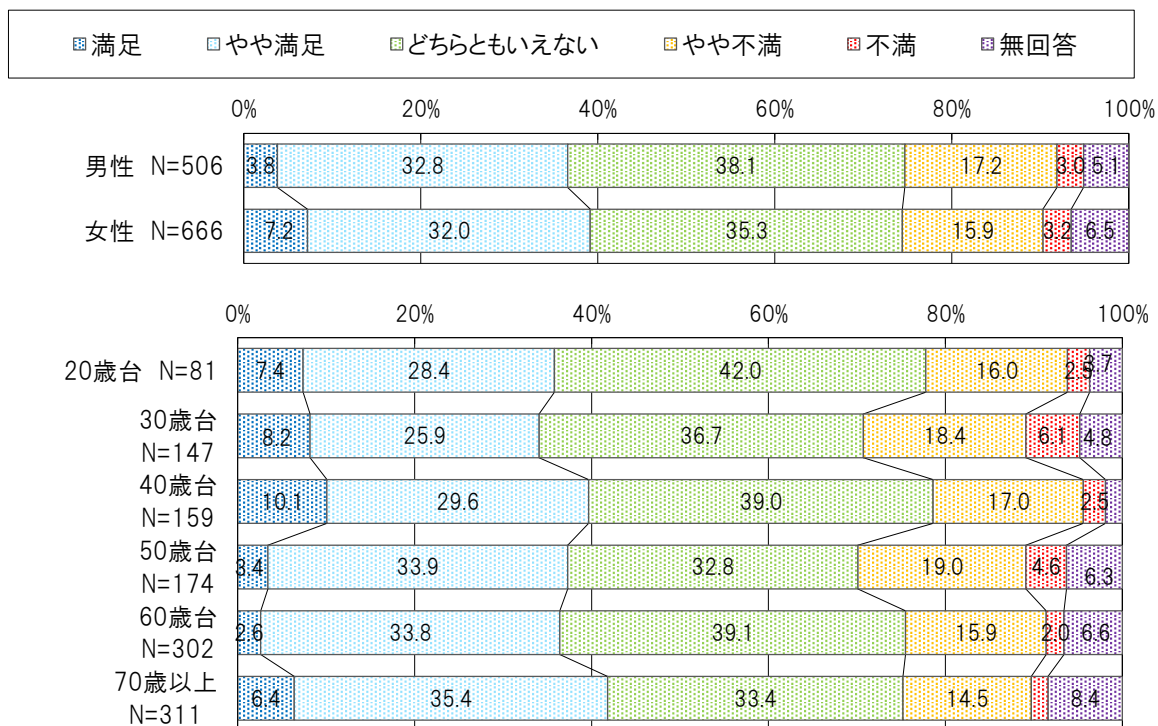


《重要度》

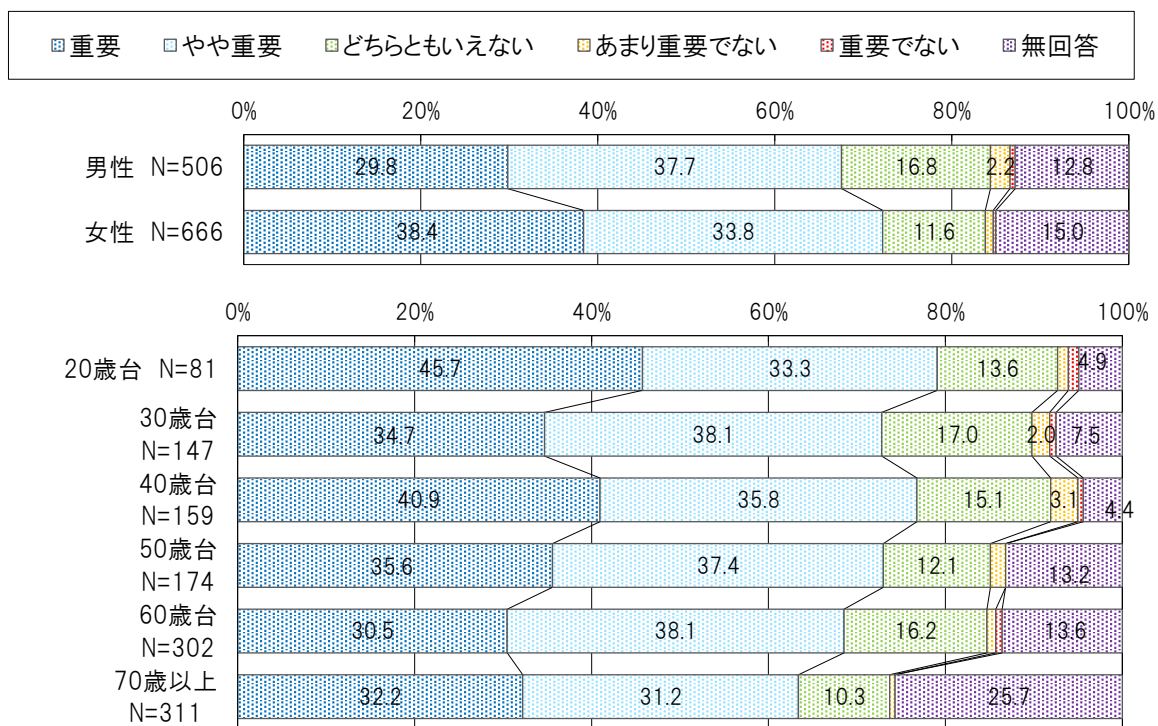


《まち並み(建物、街路、歴史的風情など)の美しさ-----》

《満足度》

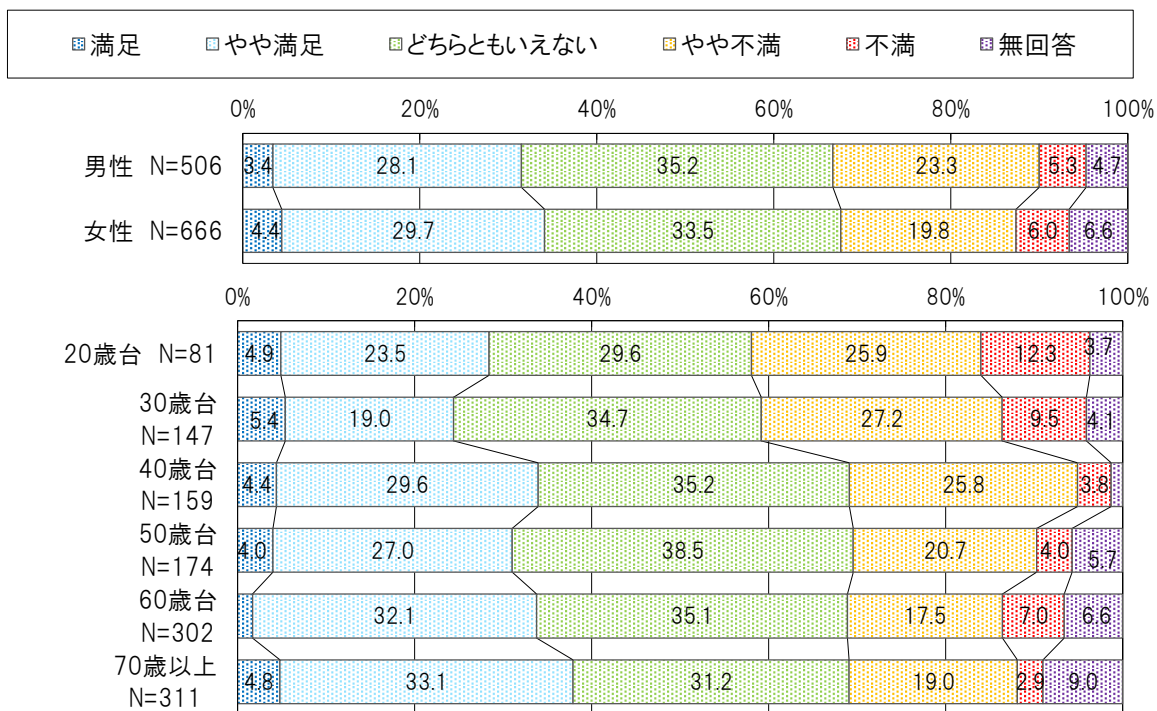


《重要度》

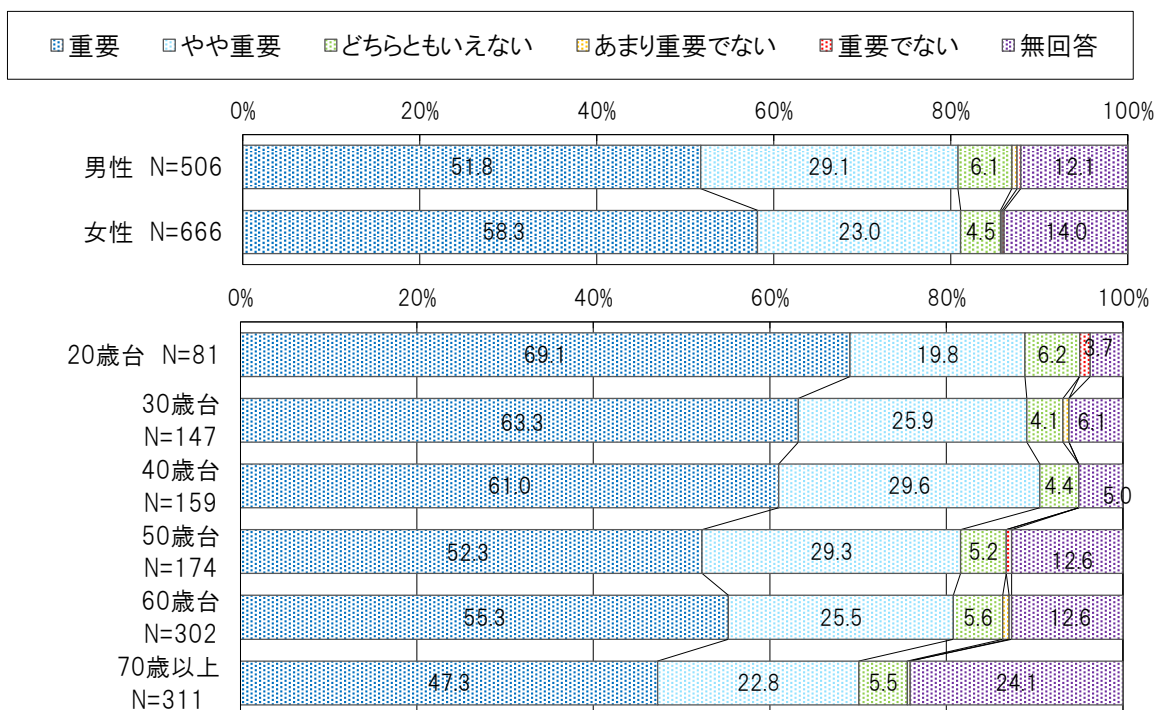


《水のきれいさ(河川・水路・池沼・海など)》

《満足度》

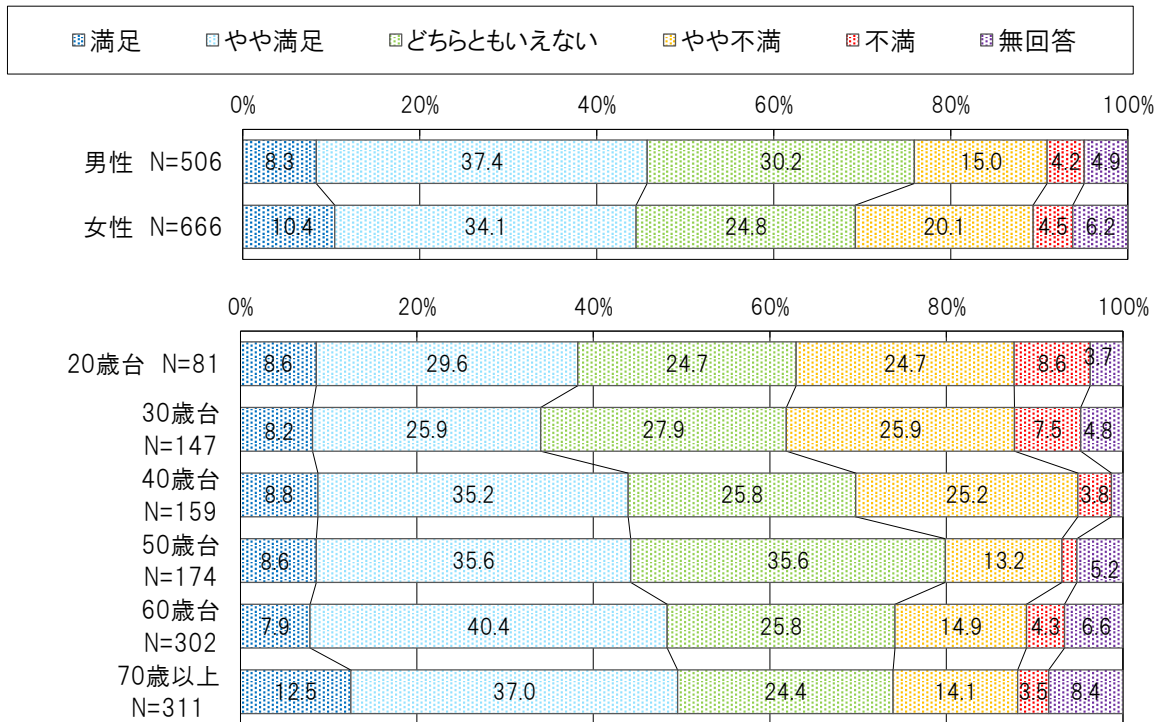


《重要度》

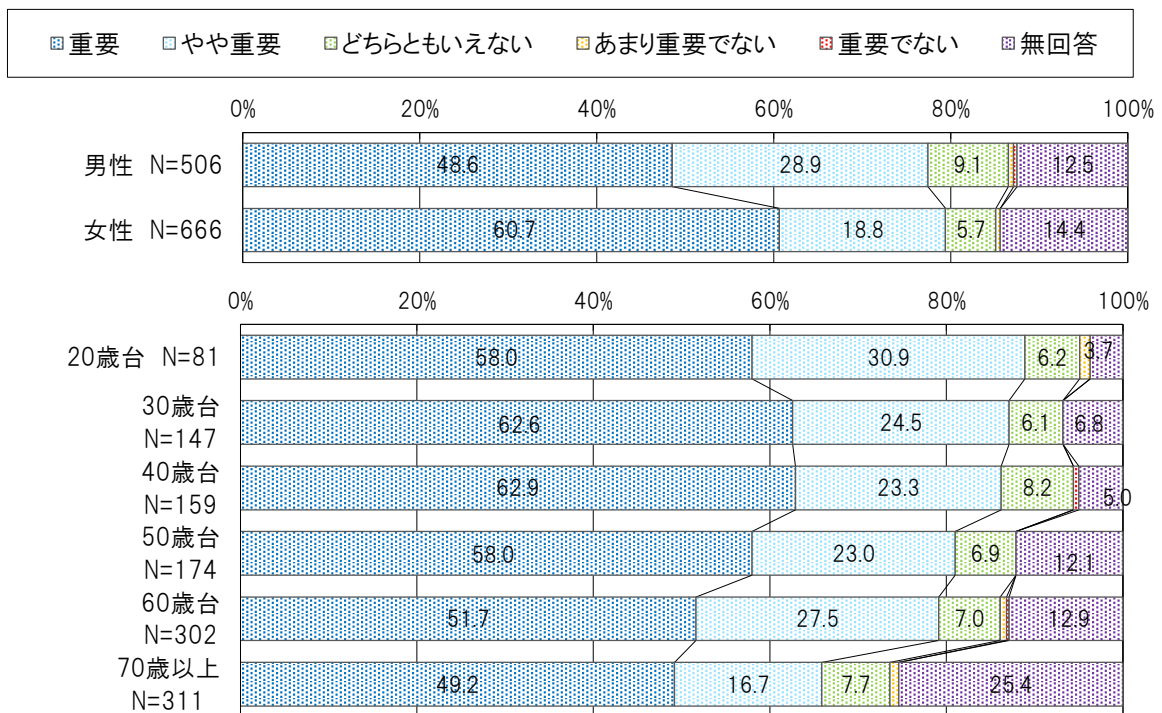


《空気のきれいさ(車の排気ガス、星空の見え方など)》

《満足度》

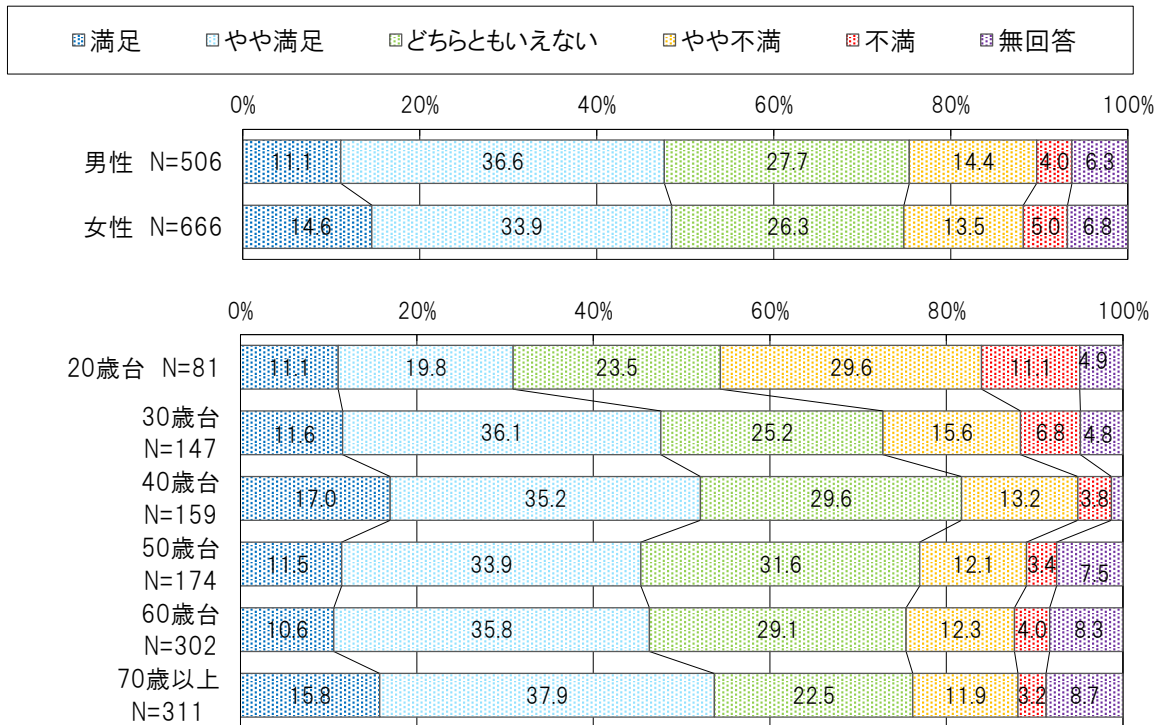


《重要度》

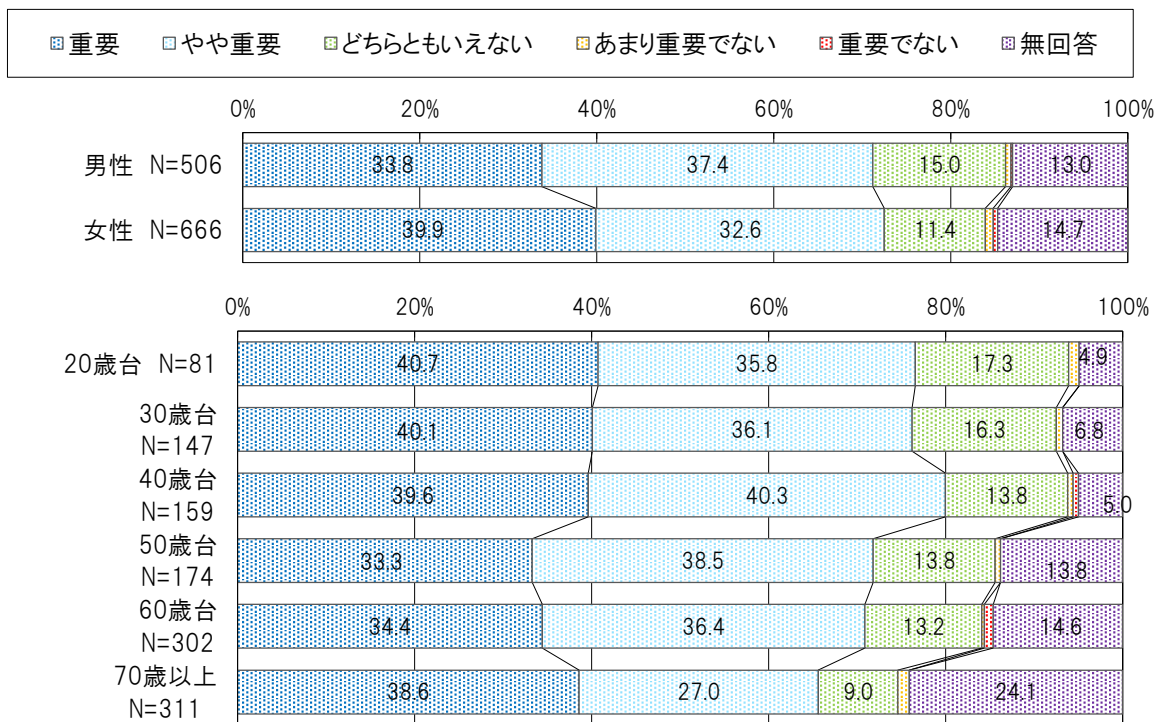


《まちの静けさ(騒音や振動)》

《満足度》

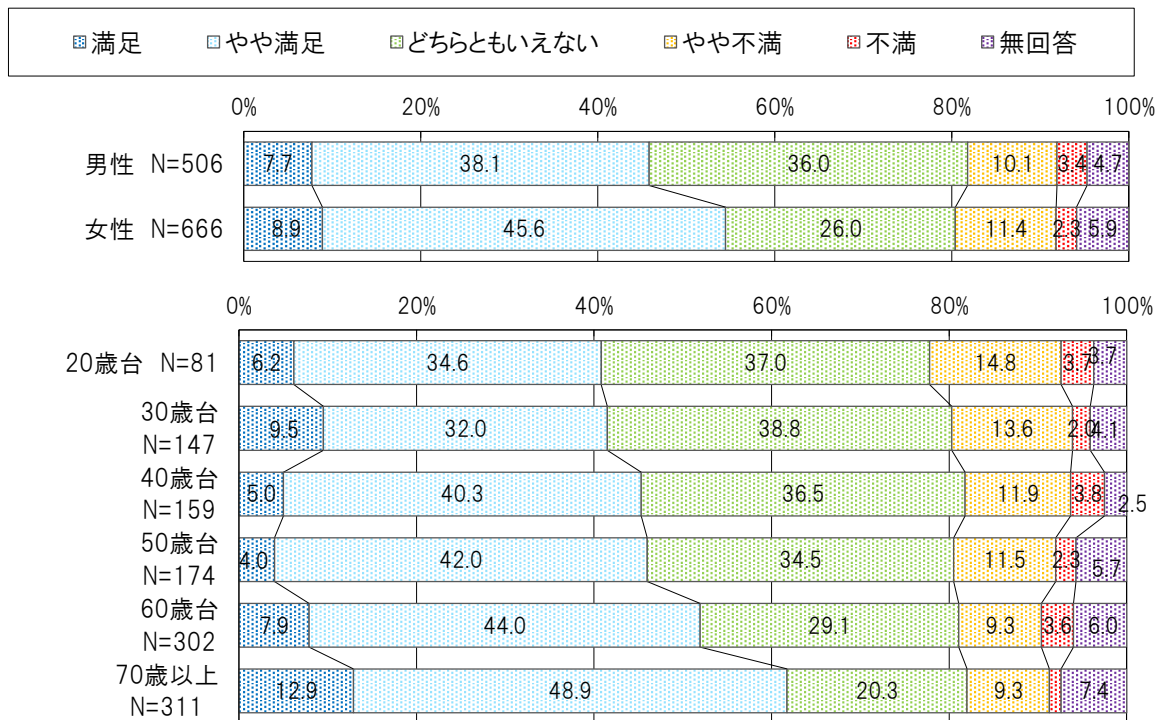


《重要度》

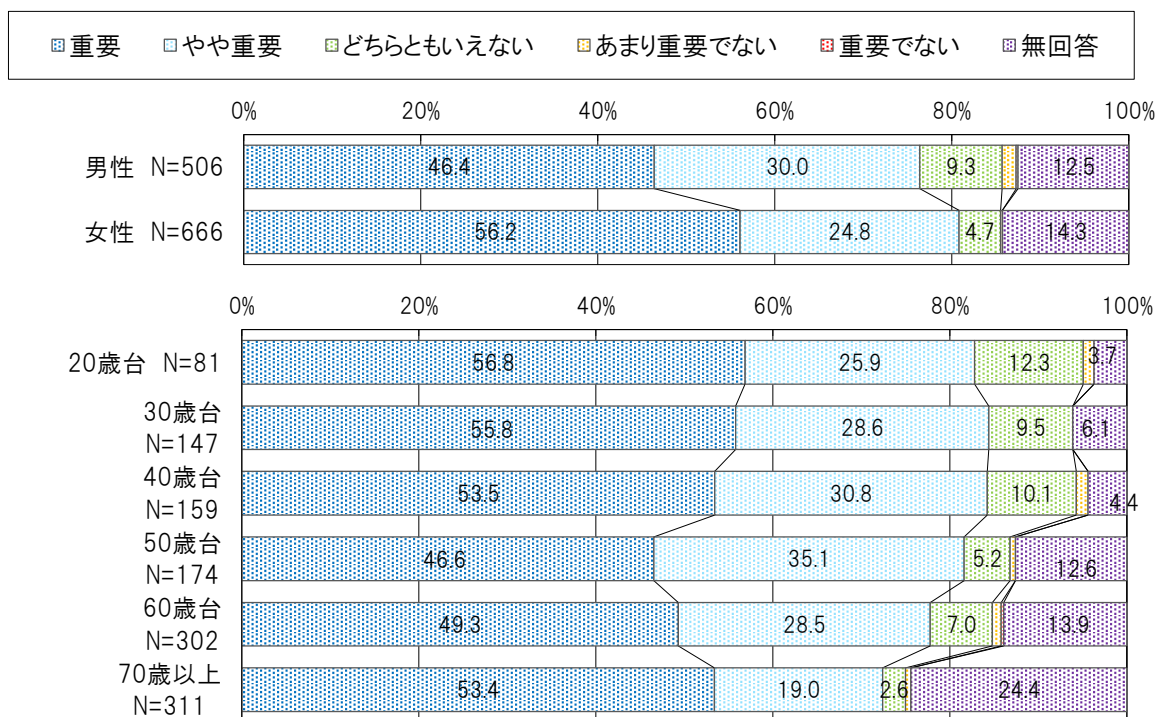


《ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み》

《満足度》

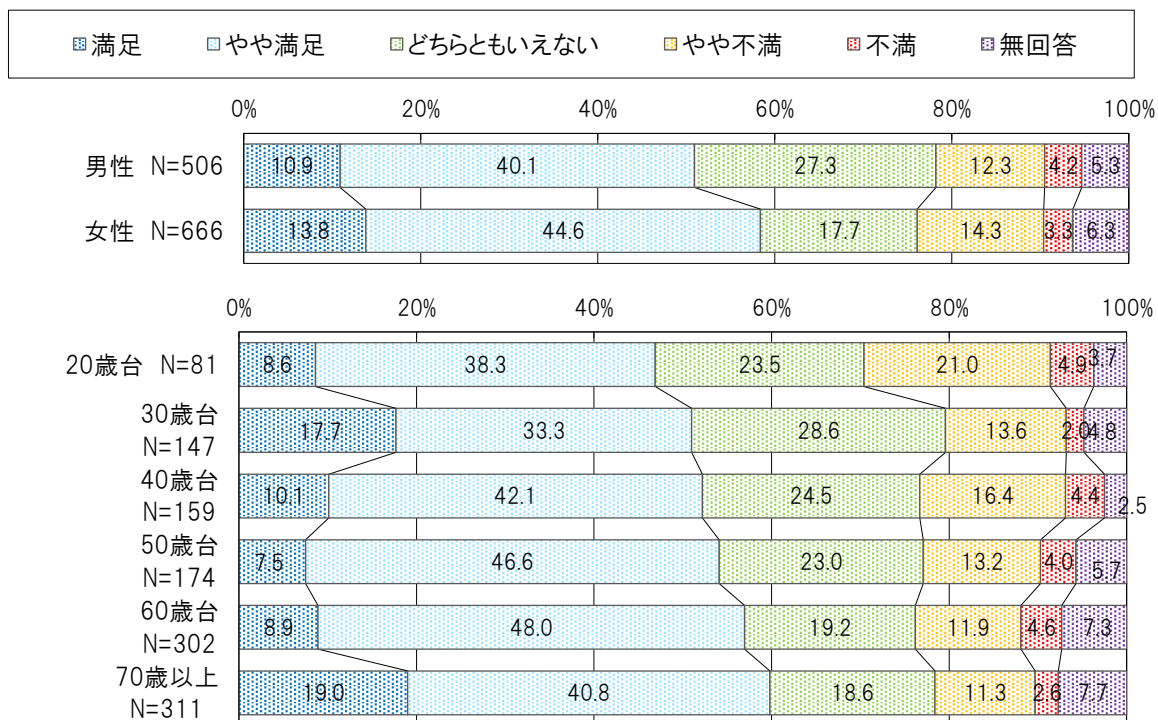


《重要度》

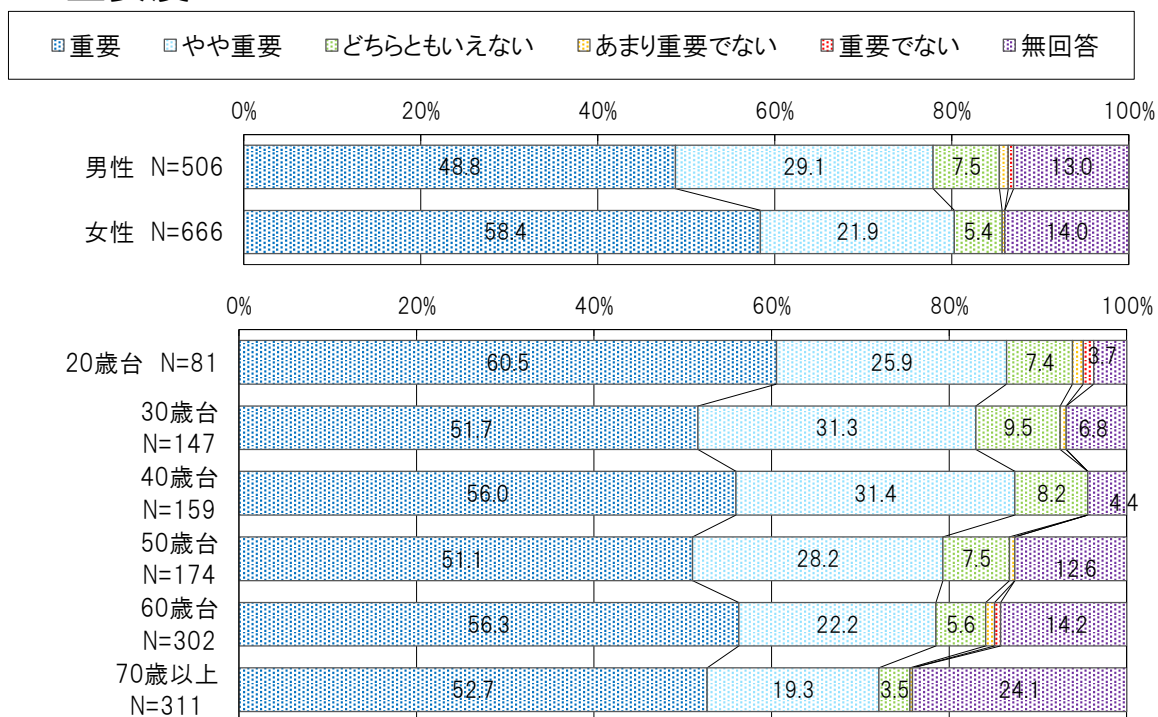


《ごみが決められたルール通りに出されるようになるための取り組み》

《満足度》

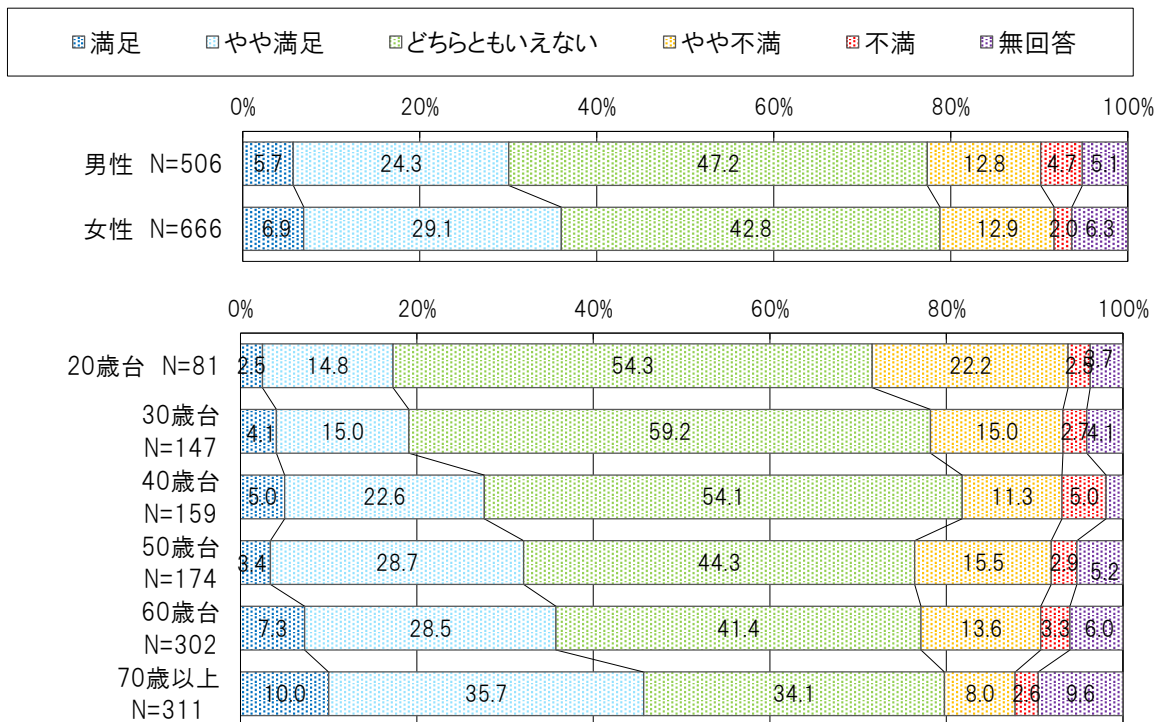


《重要度》

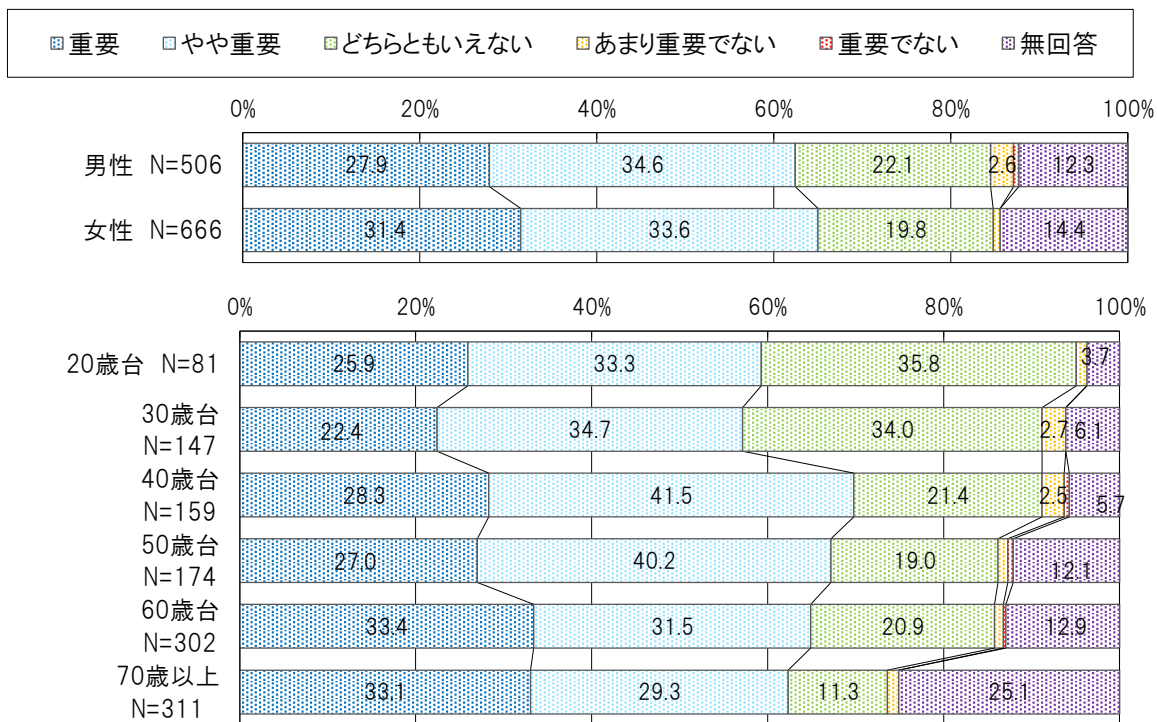


《環境の状況や施策に関する市からの情報提供》

《満足度》

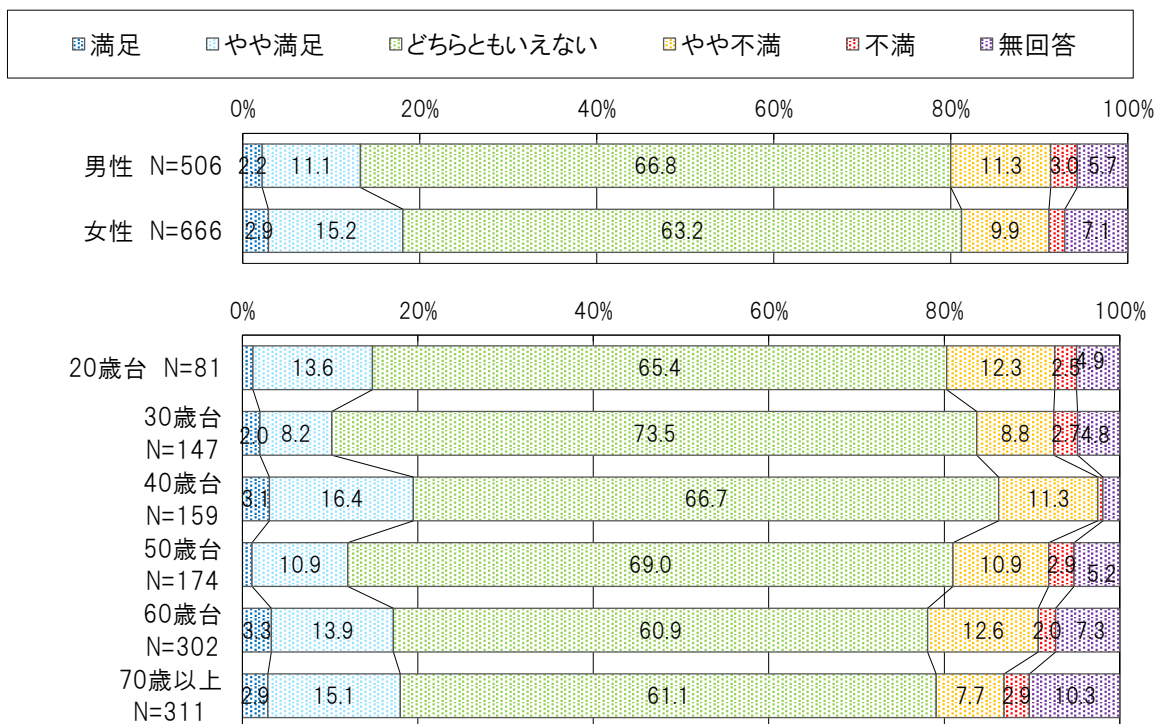


《重要度》

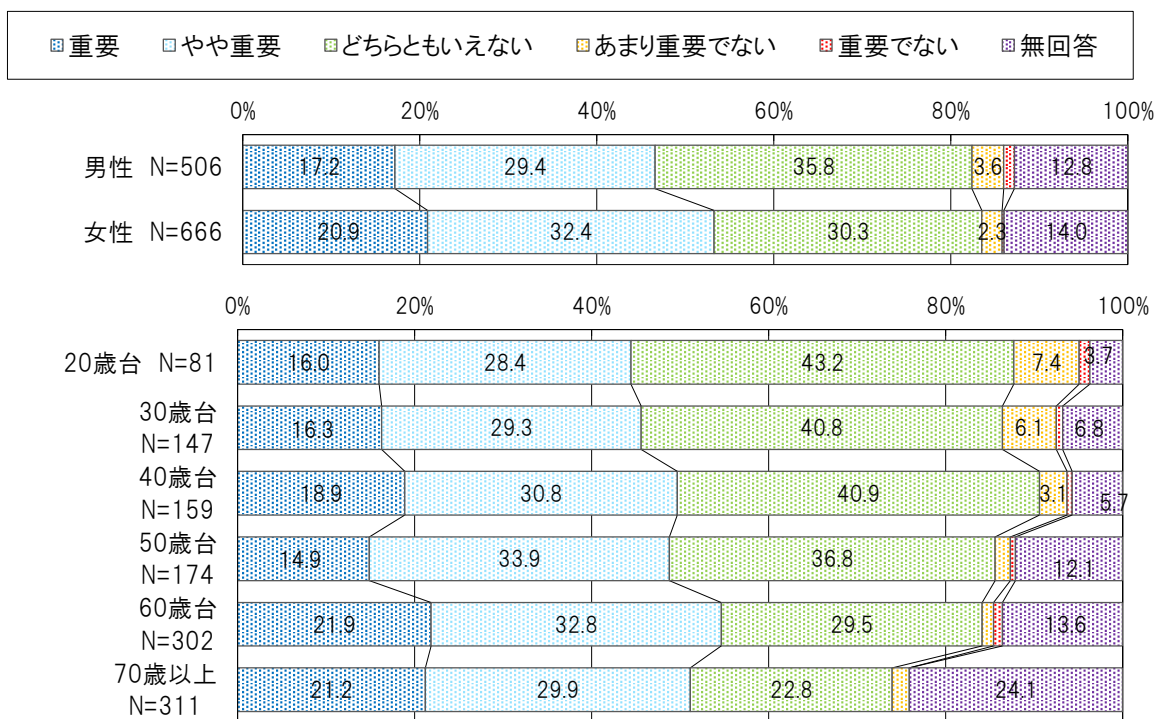


《環境に関する講座や観察会などのイベント》

《満足度》



《重要度》



問3 あなたが(または、あなたのご家庭で)日頃行っている環境保全の取り組みについてお聞きます。

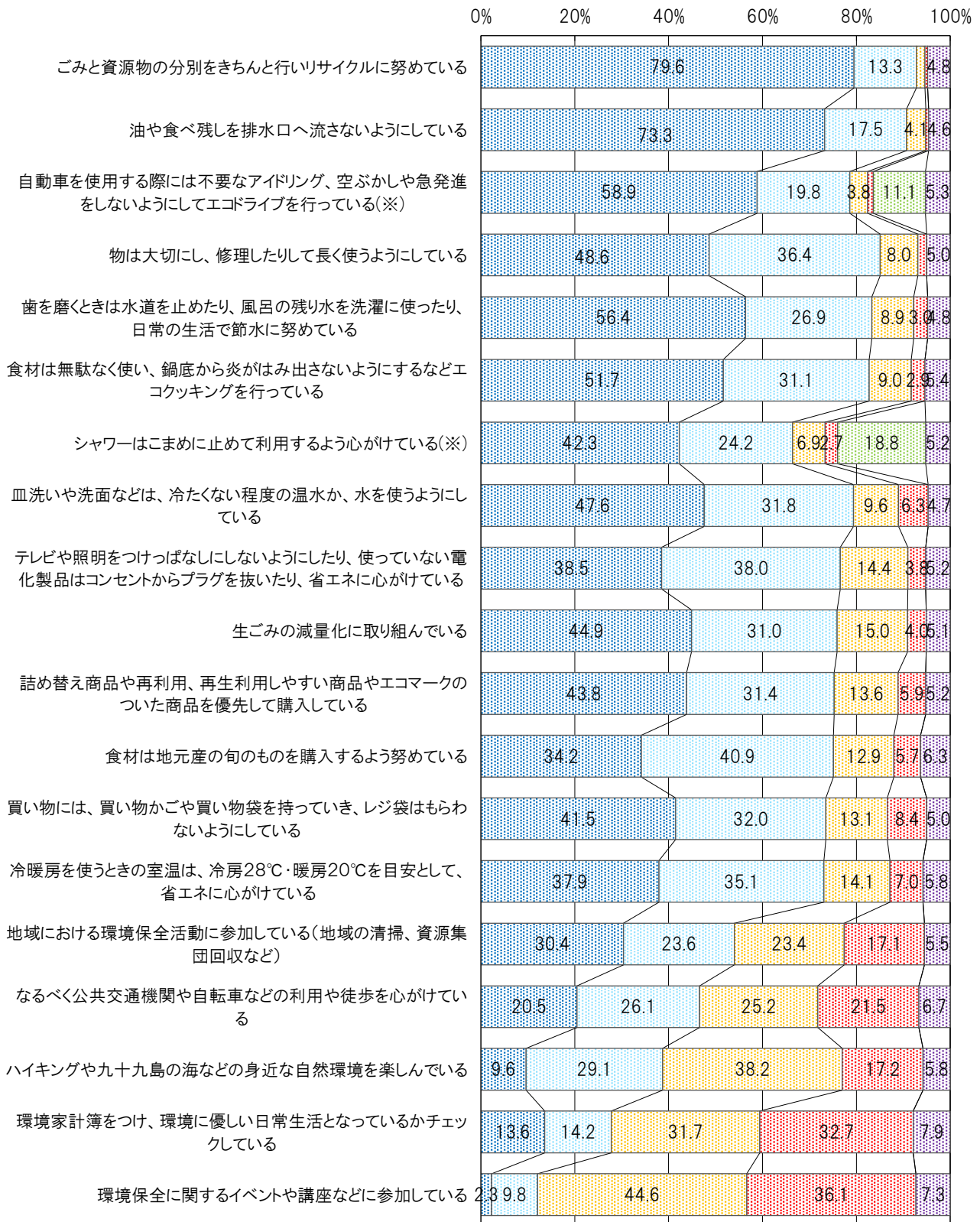
次の1～20の取り組みについて、あてはまる番号一つに○をつけてください。

(「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

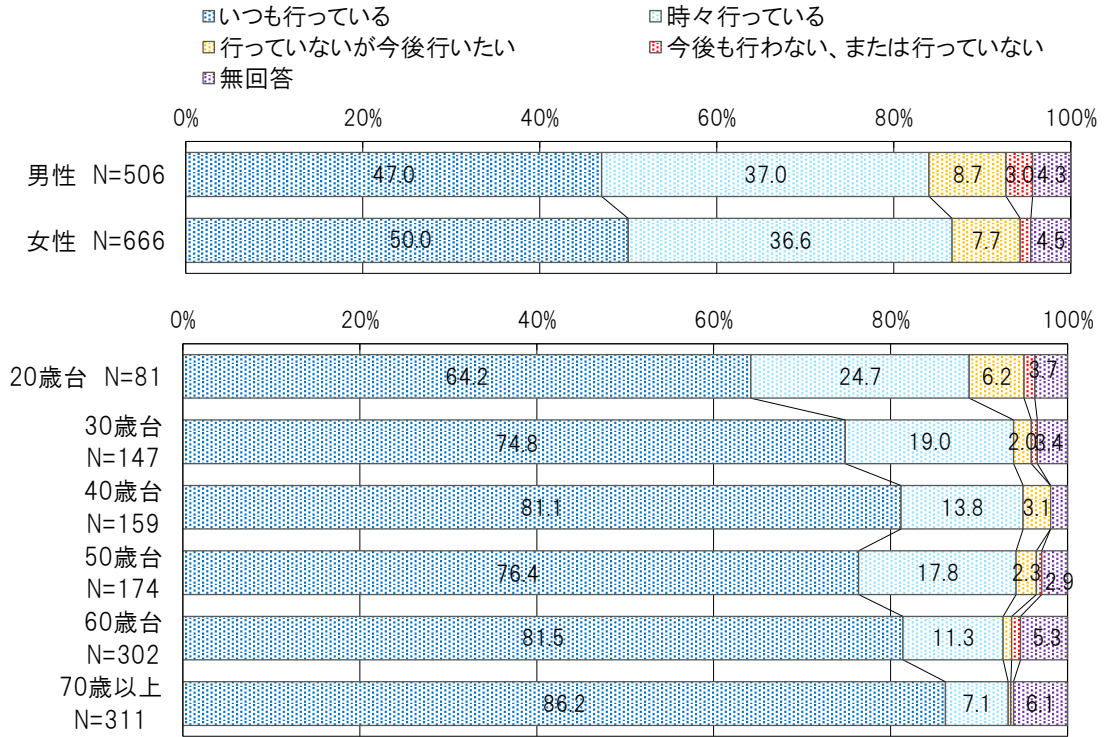
質問事項 ()内の数値は「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合の合計 []は前年	いつも 行っている	時々 行っている	行ってい ないが今 後行いた い	今後も行 わない、 又は行っ ていない	該当し ない	無回答	合計
ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている (92.9% [93.7%])	942 79.6%	157 13.3%	21 1.8%	7 0.6%		57 4.8%	1,184 100%
油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている (90.8% [72.1%])	868 73.3%	207 17.5%	48 4.1%	7 0.6%		54 4.6%	1,184 100%
自動車を使用する際には不要なアイドリング、空ぶかしや急発進を しないようにしてエコドライブを行っている(※) (88.4% [87.8%])	697 58.9%	234 19.8%	45 3.8%	14 1.2%	131 11.1%	63 5.3%	1,184 100%
物は大切にし、修理したりして長く使うようにしている (85.0% [87.4%])	576 48.6%	431 36.4%	95 8.0%	23 1.9%		59 5.0%	1,184 100%
歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に 使ったり、日常の生活で節水に努めている (83.3% [67.1%])	668 56.4%	318 26.9%	105 8.9%	36 3.0%		57 4.8%	1,184 100%
食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないように するなどエコクッキングを行っている (82.8% [84.1%])	612 51.7%	368 31.1%	106 9.0%	34 2.9%		64 5.4%	1,184 100%
シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている(※) (81.8% [86.2%])	501 42.3%	286 24.2%	82 6.9%	32 2.7%	222 18.8%	61 5.2%	1,184 100%
皿洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使う ようにしている (79.4% [88.8%])	564 47.6%	376 31.8%	114 9.6%	74 6.3%		56 4.7%	1,184 100%
テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品は コンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている(76.5% [-])	456 38.5%	450 38.0%	171 14.4%	45 3.8%		62 5.2%	1,184 100%
生ごみの減量化に取り組んでいる (75.9% [77.7%])	532 44.9%	367 31.0%	178 15.0%	47 4.0%		60 5.1%	1,184 100%
詰め替え商品や再利用、再生利用しやすい商品やエコマークの ついた商品を優先して購入している (75.2% [78.1%])	519 43.8%	372 31.4%	161 13.6%	70 5.9%		62 5.2%	1,184 100%
食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている (75.1% [81.0%])	405 34.2%	484 40.9%	153 12.9%	68 5.7%		74 6.3%	1,184 100%
買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ 袋はもらわないようにしている (73.5% [77.6%])	491 41.5%	379 32.0%	155 13.1%	100 8.4%		59 5.0%	1,184 100%
冷暖房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を 目安として、省エネに心がけている (73.0% [80.1%])	449 37.9%	416 35.1%	167 14.1%	83 7.0%		69 5.8%	1,184 100%
地域における環境保全活動に参加している (地域の清掃、資源集団回収など) (54.0% [59.6%])	360 30.4%	280 23.6%	277 23.4%	202 17.1%		65 5.5%	1,184 100%
なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を 心がけている (46.6% [44.1%])	243 20.5%	309 26.1%	298 25.2%	255 21.5%		79 6.7%	1,184 100%
ハイキングや九十九島の海などの身近な自然環境を 楽しんでいる (38.7% [-])	114 9.6%	345 29.1%	452 38.2%	204 17.2%		69 5.8%	1,184 100%
環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となってい るかチェックしている (27.8% [16.7%])	161 13.6%	168 14.2%	375 31.7%	387 32.7%		93 7.9%	1,184 100%
環境保全に関するイベントや講座などに参加している (12.1% [-])	27 2.3%	116 9.8%	528 44.6%	427 36.1%		86 7.3%	1,184 100%

※有効回答者数(N):1,184人、「該当しない」を除いた割合で計算している。

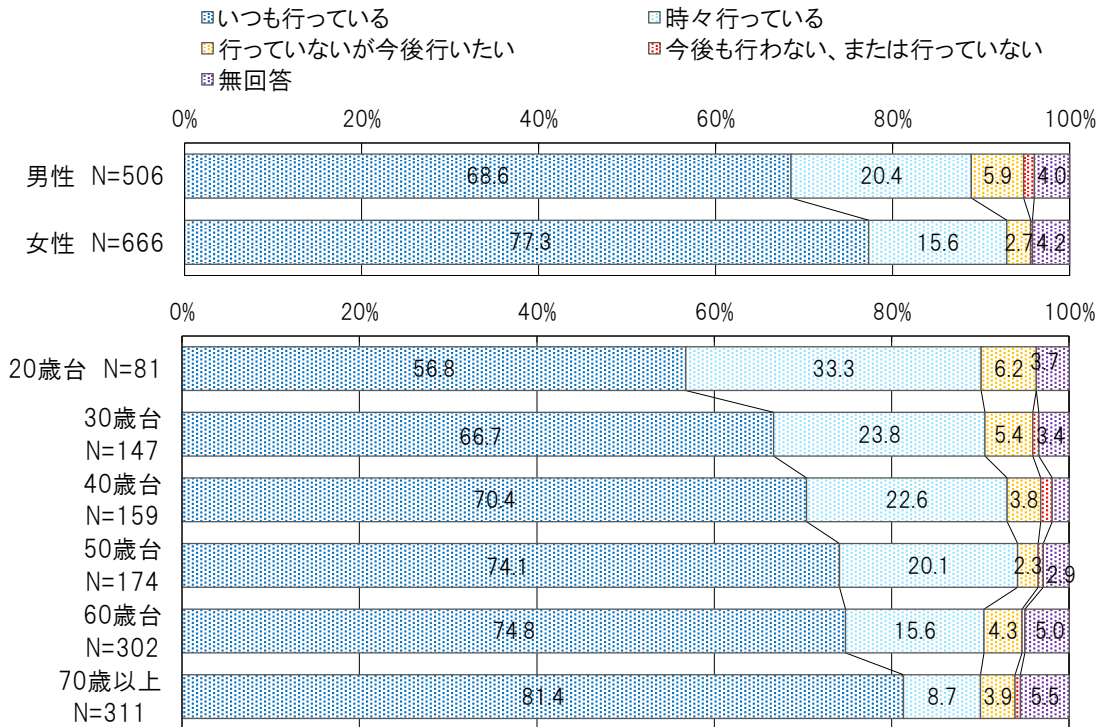
- 「テレビや照明など、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜くなど、省エネに心がけている」、は昨年度まで「テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしている」と「使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いている」としていたものを1項目にまとめたもの。昨年度と違う質問として扱っているため、前年度の数値がない。
- 「ハイキングや九十九島の海などの身近な自然環境を楽しんでいる」「環境保全に関するイベントや講座などに参加している」の2項目は新規の項目のため前年度数値なし。
- 前年度より10ポイント以上増加した項目は「油や食べ残しを排水溝に流さないようにしている(18.7ポイント)」「歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり日常の生活で節水に努めている(16.2ポイント)」であった。



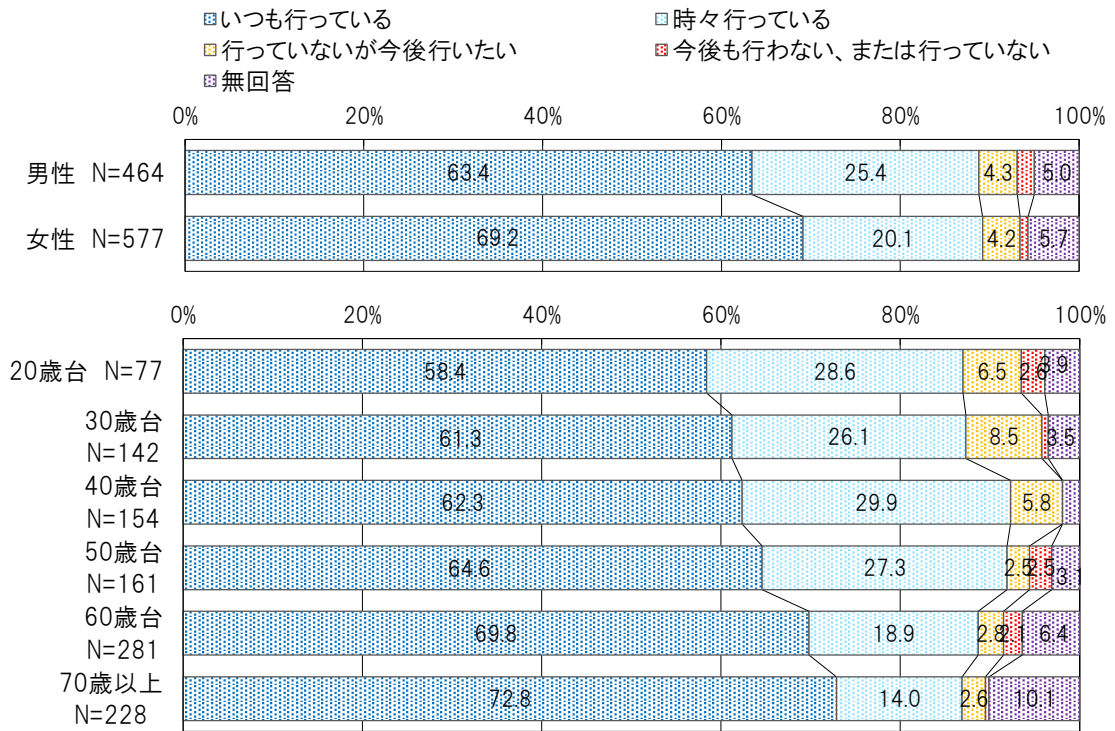
《ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている》



《油や食べ残しを排水溝へ流さないようにしている》

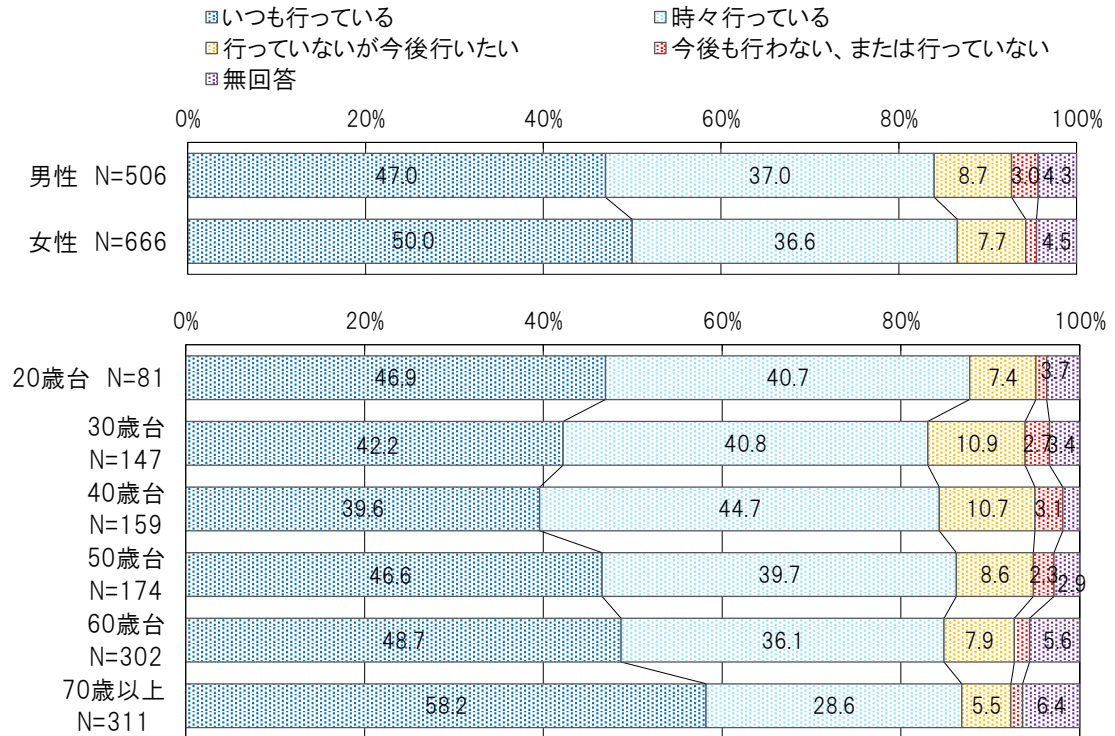


《自動車を使用する際には不要なアイドリング、空ぶかしや急発進をしないようにしてエコドライブを行っている》

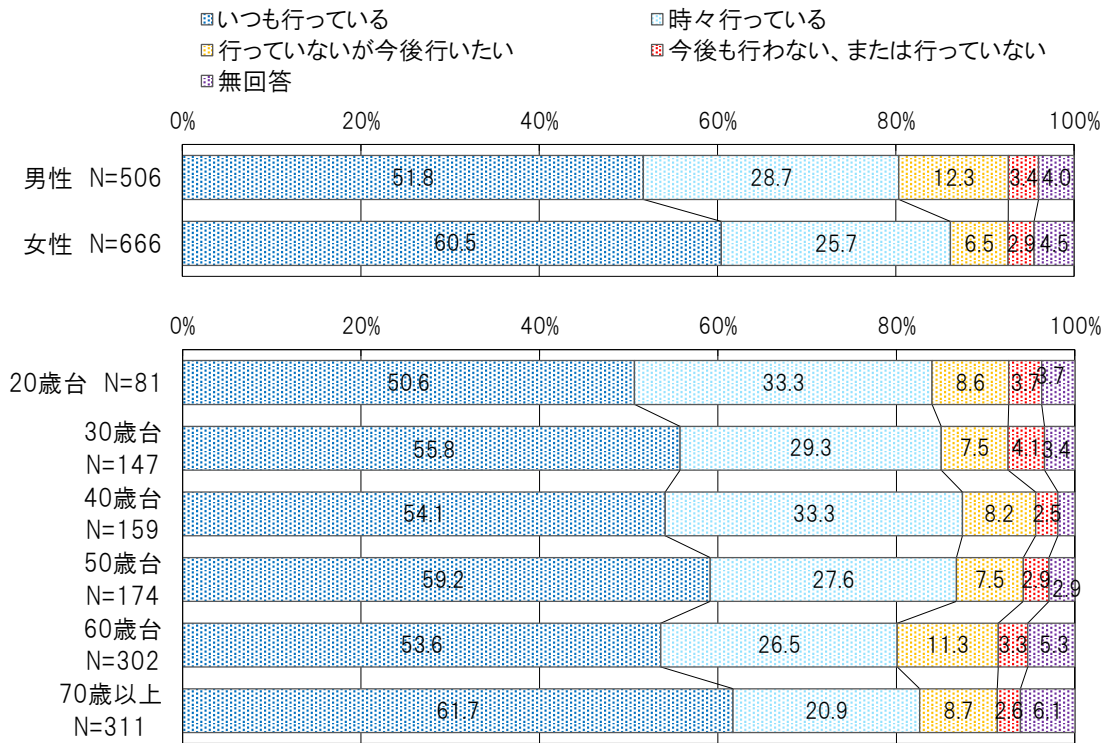


※「該当しない」を除外している

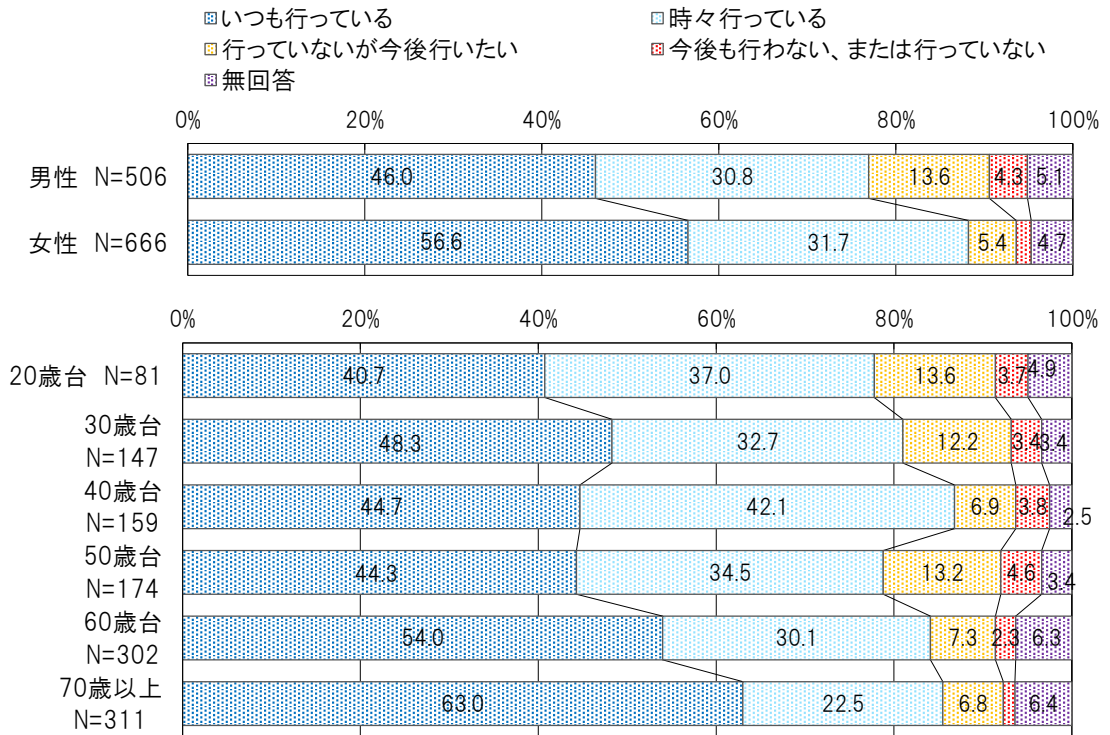
《物は大切に、修理したりして長く使うようにしている》



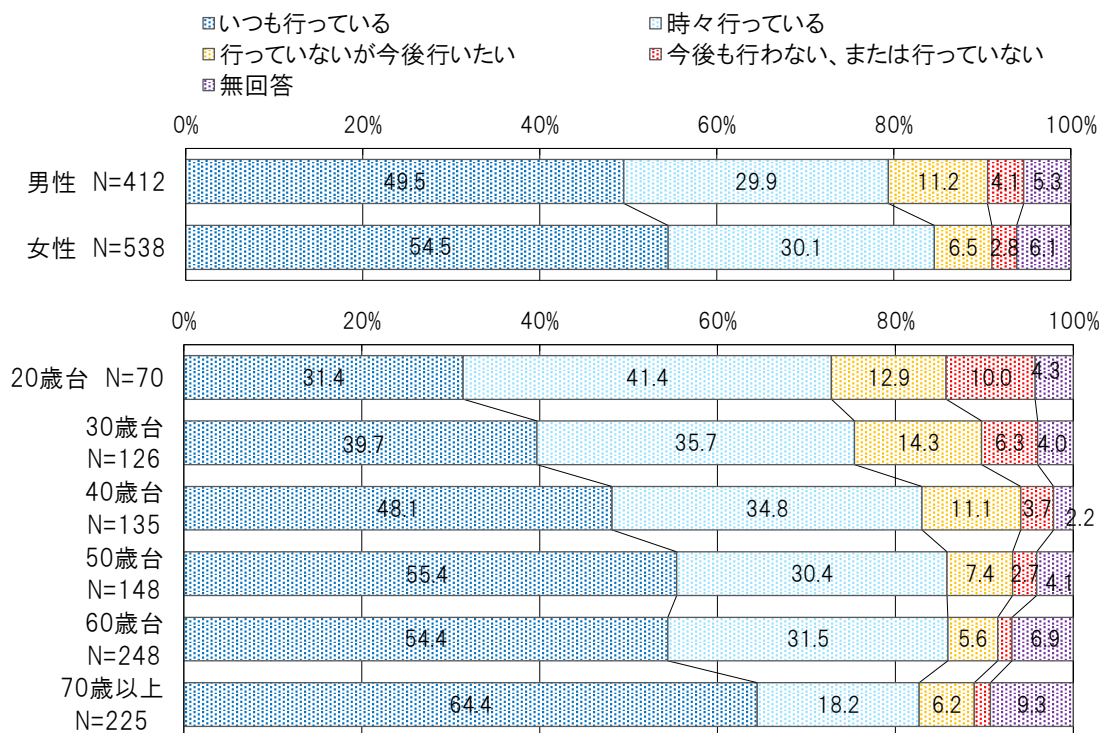
《歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常の生活で節水に努めている》



《食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみださないようにするなどエコクッキングを行っている》

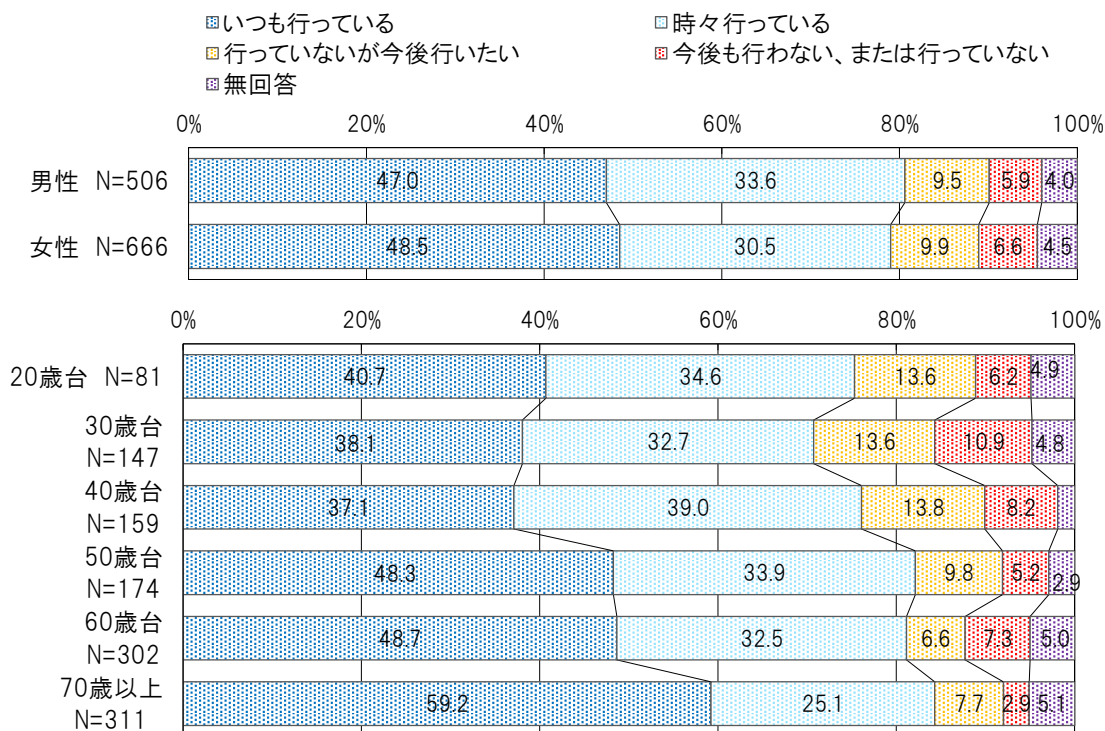


《シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている》

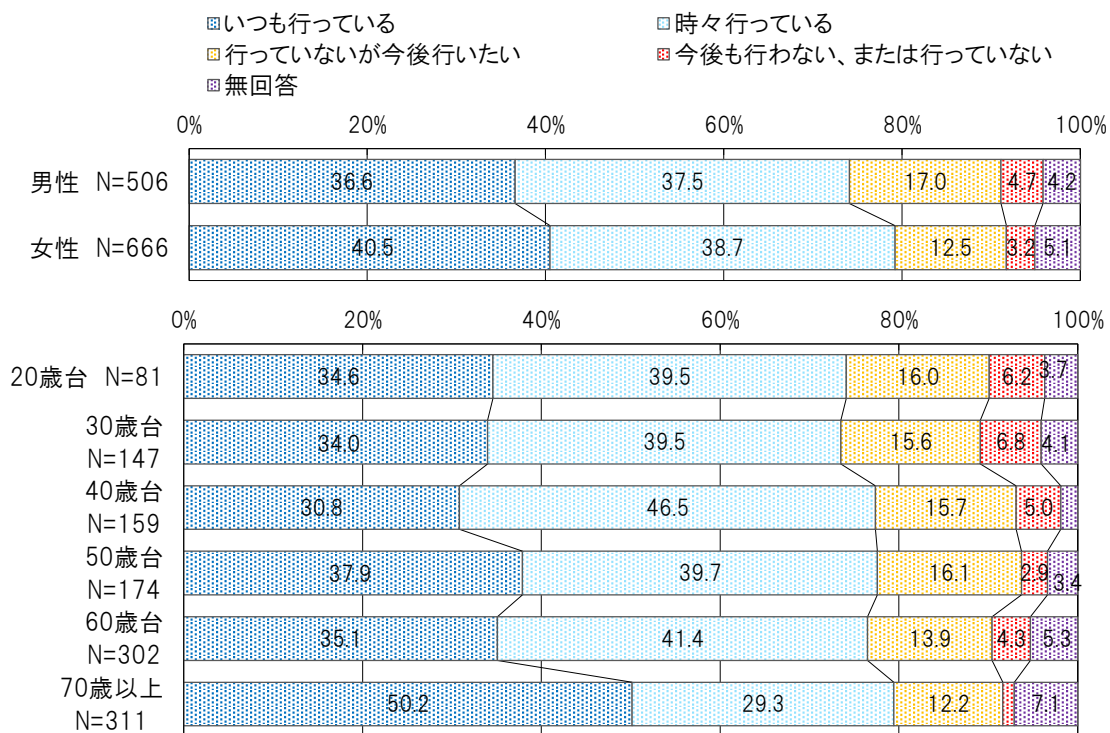


※「該当しない」を除外している

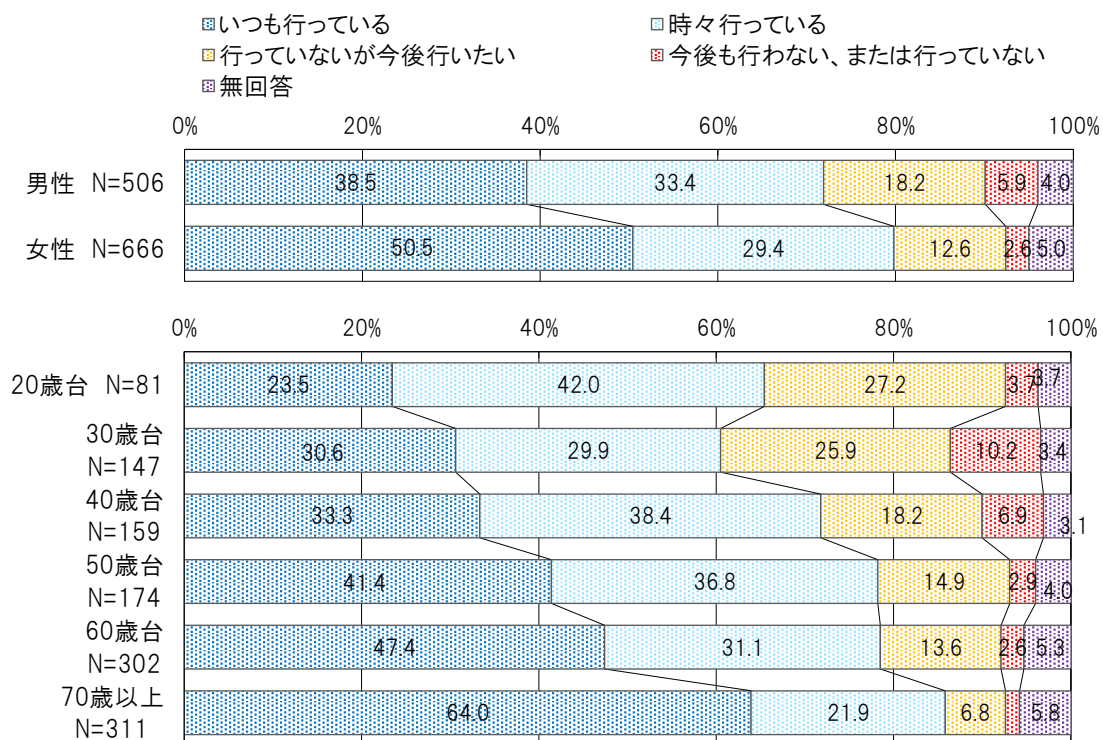
《皿洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている》



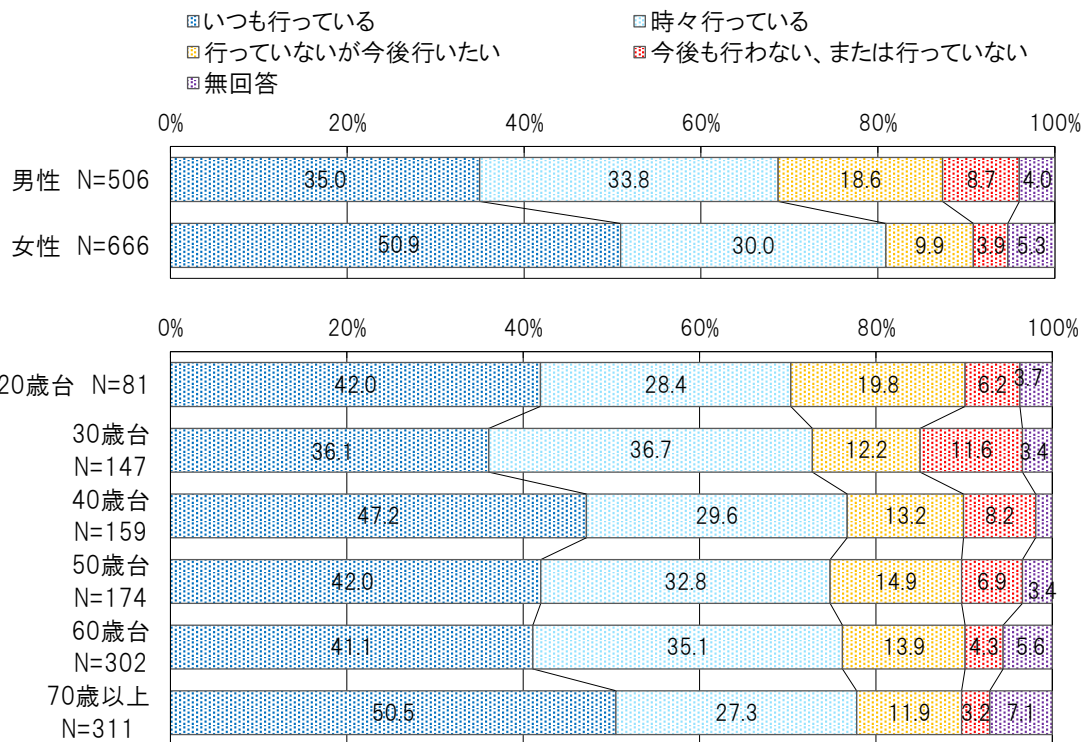
《テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心掛けている》



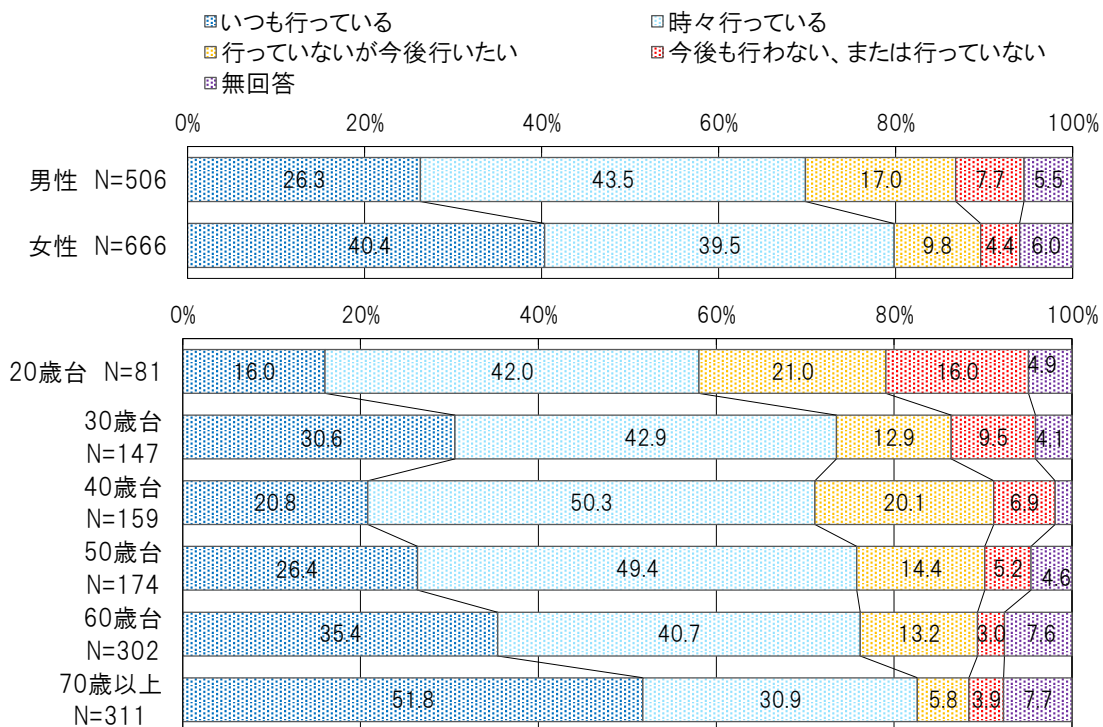
《生ごみの減量化に取り組んでいる》



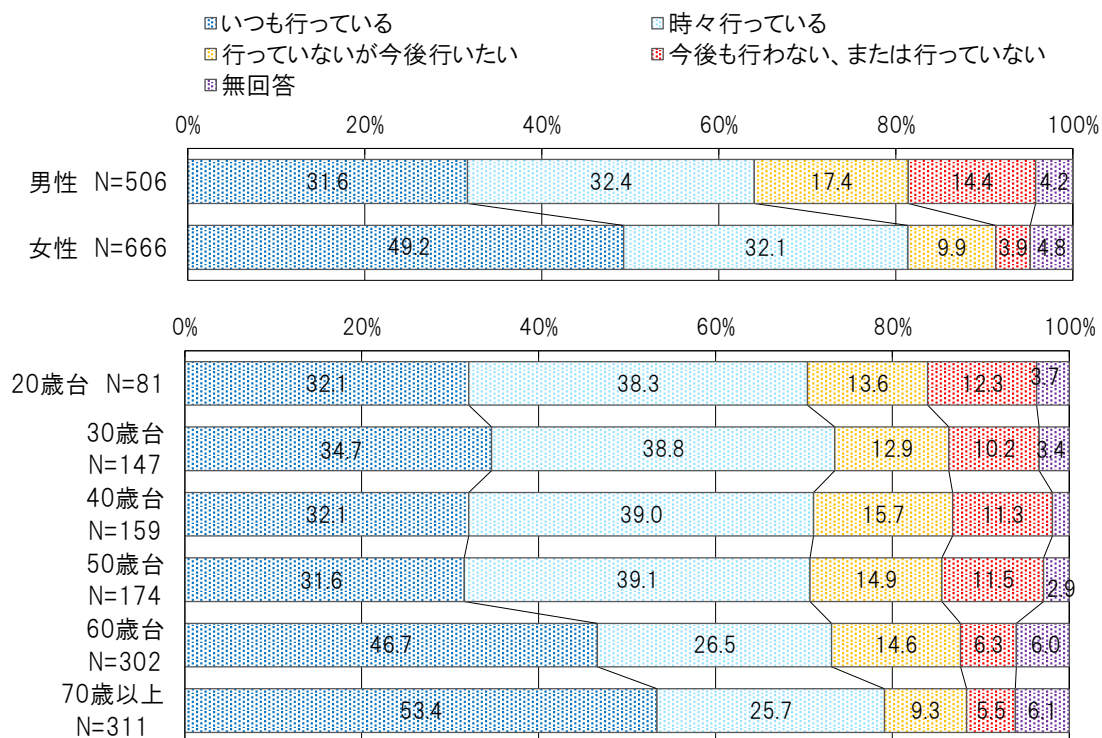
《詰め替え商品や再利用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している》



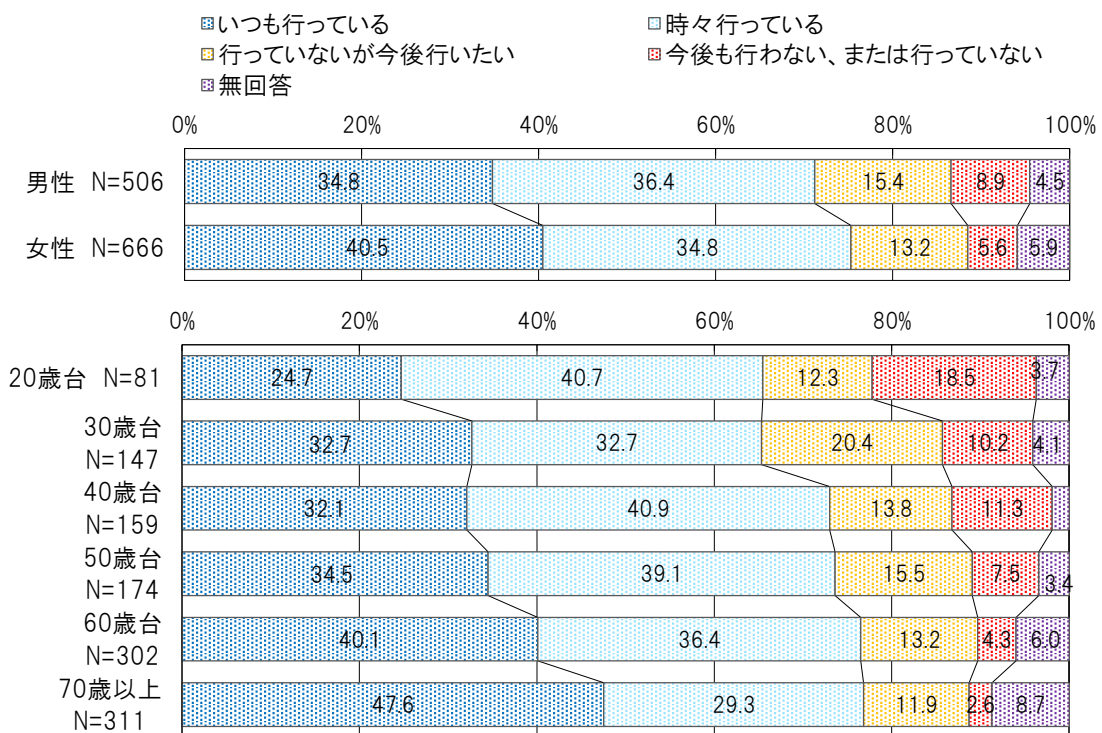
《食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている》



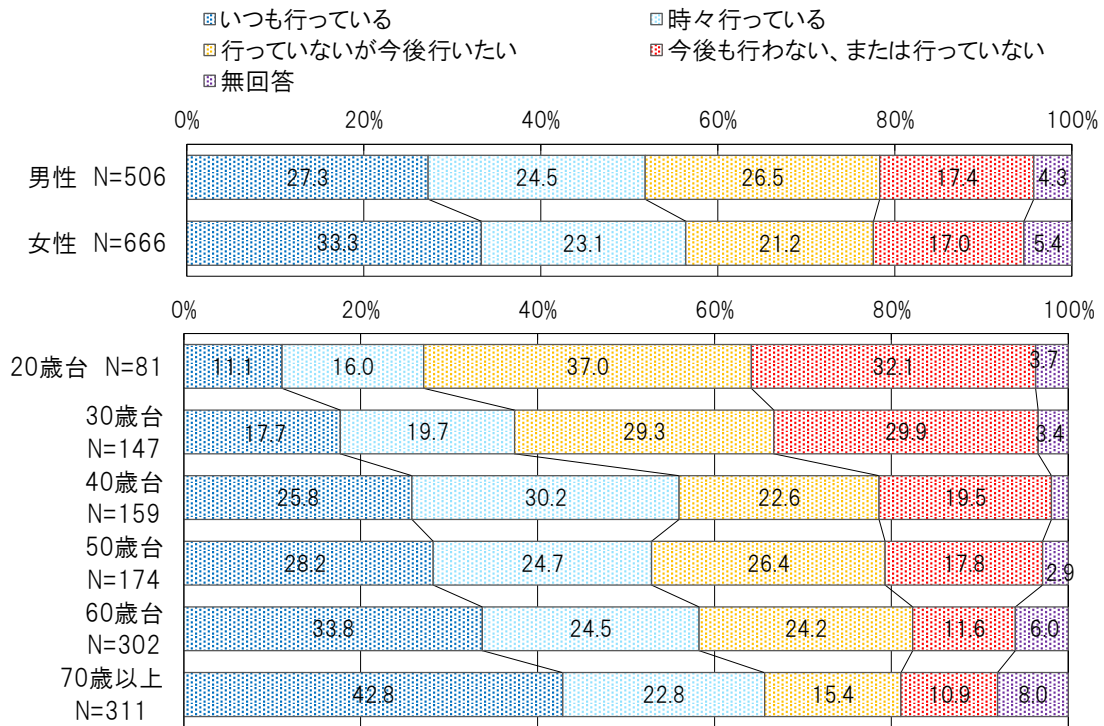
《買い物には、買い物がごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている》



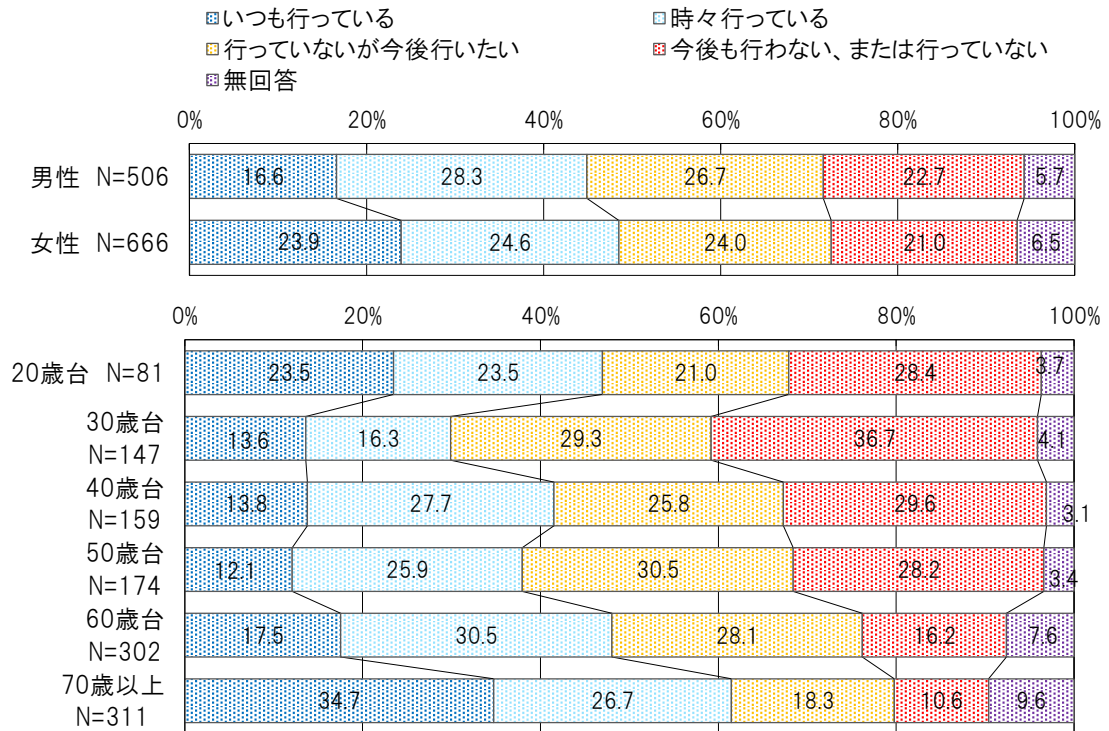
《冷暖房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安として、省エネに心がけている》



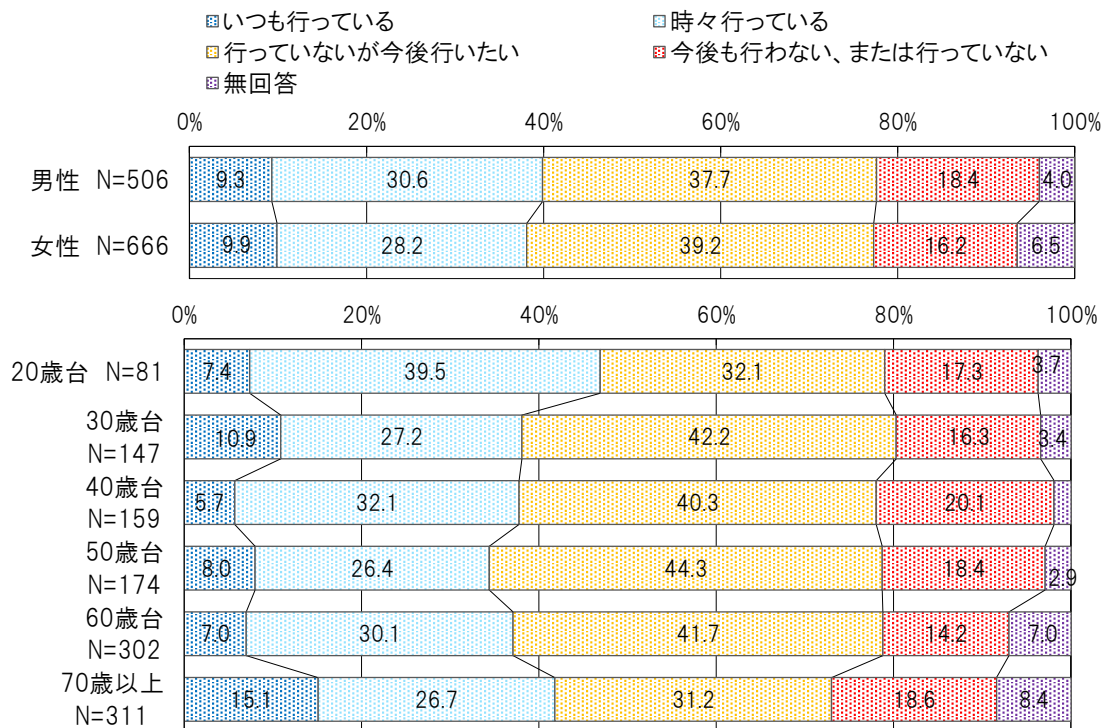
《地域における環境保全活動に参加している(地域の清掃、資源集団回収など)》



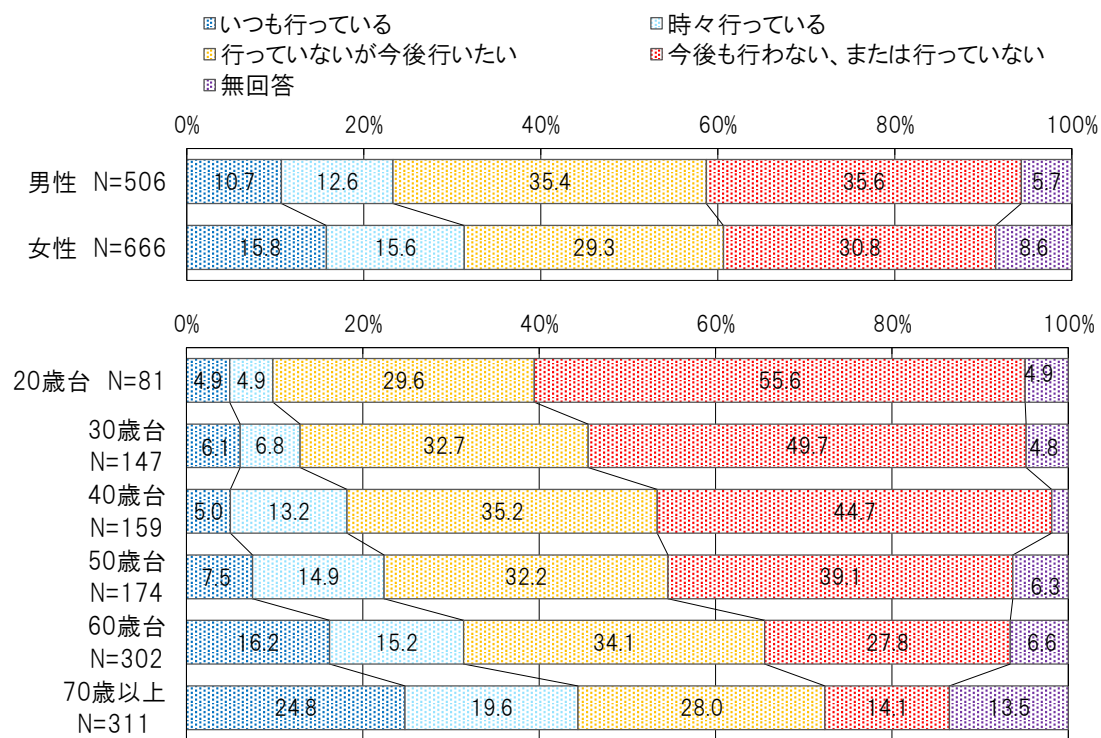
《なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている》



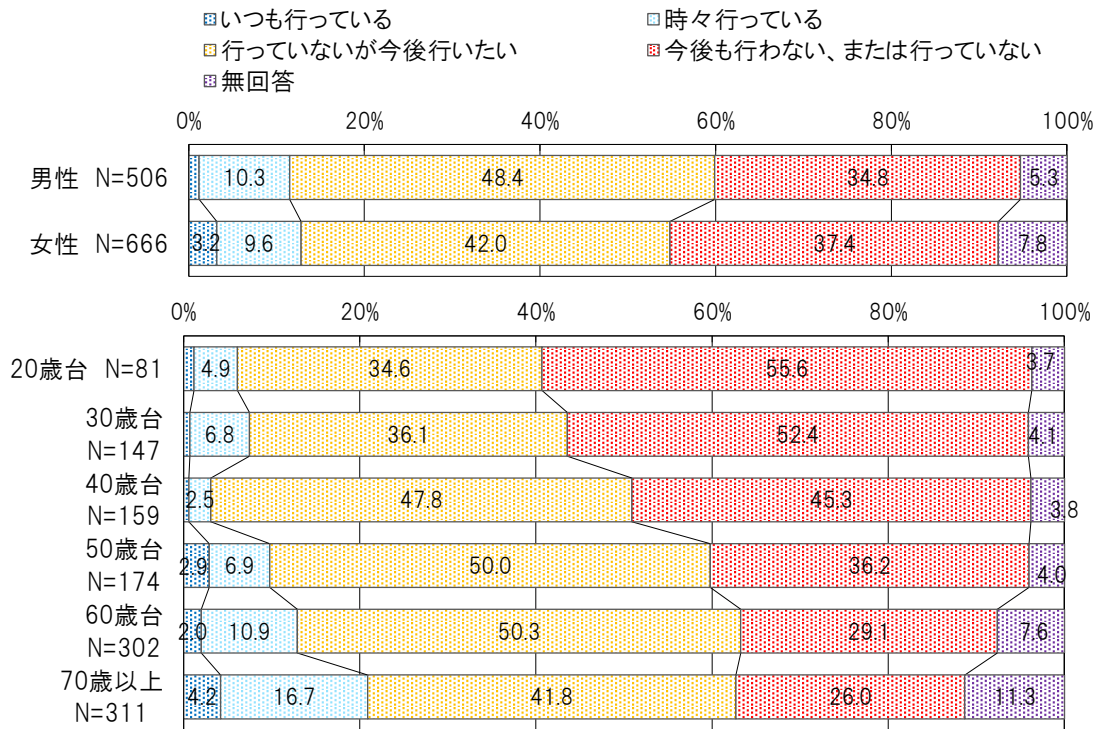
《ハイキングや九十九島の海などの身近な自然環境を楽しんでいる》



《環境家計簿をつけ、環境にやさしい日常生活となっているかチェックしている》



《環境保全に関するイベントや講座などに参加している》



《問3 自由記入欄 ～その他の取り組み～》

◎省エネ関係

- ・ 暖房は16℃に設定している
- ・ オール電化にしている
- ・ 毎朝ガス、水道、電気の使用メーターをチェックして記入するのが習慣になっている
- ・ 冷房は30℃、暖房は18℃を目安にしている
- ・ 一度沸かしたお湯が冷めないうちにみんなお風呂に入る(何度も沸かすことを防ぐ)
- ・ できるだけ同じ部屋で過ごすようにしている
- ・ 朝食後は電気がまの保温を切っている。プラグを抜くことを心掛けたい
- ・ 省エネ商品の購入

◎自然環境の保全

- ・ エコ石鹸を使っている
- ・ 環境にやさしい石鹸、シャンプー等の使用
- ・ 家の周りや庭に木、草花をできるだけ植えるようにしている

◎環境美化関係

- ・ 枯葉等が川に流れないように雨の前などに溝掃除をする
- ・ ごみ収集所の清掃(カラスが散らかす)

- ・ 道路や道端にごみが落ちていたら拾うことを習慣にしている
- ・ 家の近くに落ちているごみやペットボトル等は気がけて持ち帰る
- ・ ポイ捨ては絶対にしない(子どもにも厳しく言っている)

◎3R関係(ごみになるものを減らす、再利用する、リサイクルする)

- ・ 野菜の切りくずは土と混ぜて、家庭菜園をする
- ・ 生ごみはコンポストを利用して土にする作業を何年も続けている
- ・ 生ごみは畑の肥料として利用しているので、週2回のごみ捨ての量が少ない
- ・ 子どもが着られなくなった服は、捨てずに着られそうな他の子にまわす
- ・ 食品(野菜の皮)の節約を食品のごみを出さないよう努めている
- ・ 生ごみリサイクル、土に戻して野菜や花を育てることに活用している
- ・ 庭で枝を切った時や、草を、庭の片隅に場所を決めて「ふよう土」用にためておく
- ・ 新聞紙を濡らして、部屋の掃除に使用している
- ・ 物を買わない。もらった服をきる
- ・ 捨てるごみはあらかじめ分別しています
- ・ 野菜くず、果物の皮はみじん切りにして干して植木鉢の肥料として使っている
- ・ 不要なもの(レジ袋、お箸、スプーン)はもらわない。ペットボトル、ビン、缶はなるべく購入しない
- ・ 古くなったハンカチや子ども服、端切れをカットして手芸品として再生している
- ・ スーパー等で割引、半額品等を積極的に購入している
- ・ 商品にプラスチックのマークはついていますが、佐世保市はプラの分別がないのでリサイクルに回せばごみの量が減ると思う。プラのごみは多い。

◎その他

- ・ 佐世保のおいしい食材や綺麗な自然の素晴らしさを自身のFBやインスタ等のSNSで発信している
- ・ 町内会無加入者の方にも今回の環境問題アンケート調査結果を発表(市ホームページ)だけでなく各自治体で共有してください。
- ・ バスの便が少なすぎて不可能
- ・ 仕事していることもあり、車を手放せない
- ・ 他の町内のごみ捨て場で回収不可のシールが貼ってあるにもかかわらずずっとテレビ等が置いてある

問4 問3にあるような環境保全の取り組みを実施するために、あなたが障害に感じていることは何ですか。該当する番号すべてに○をつけてください。

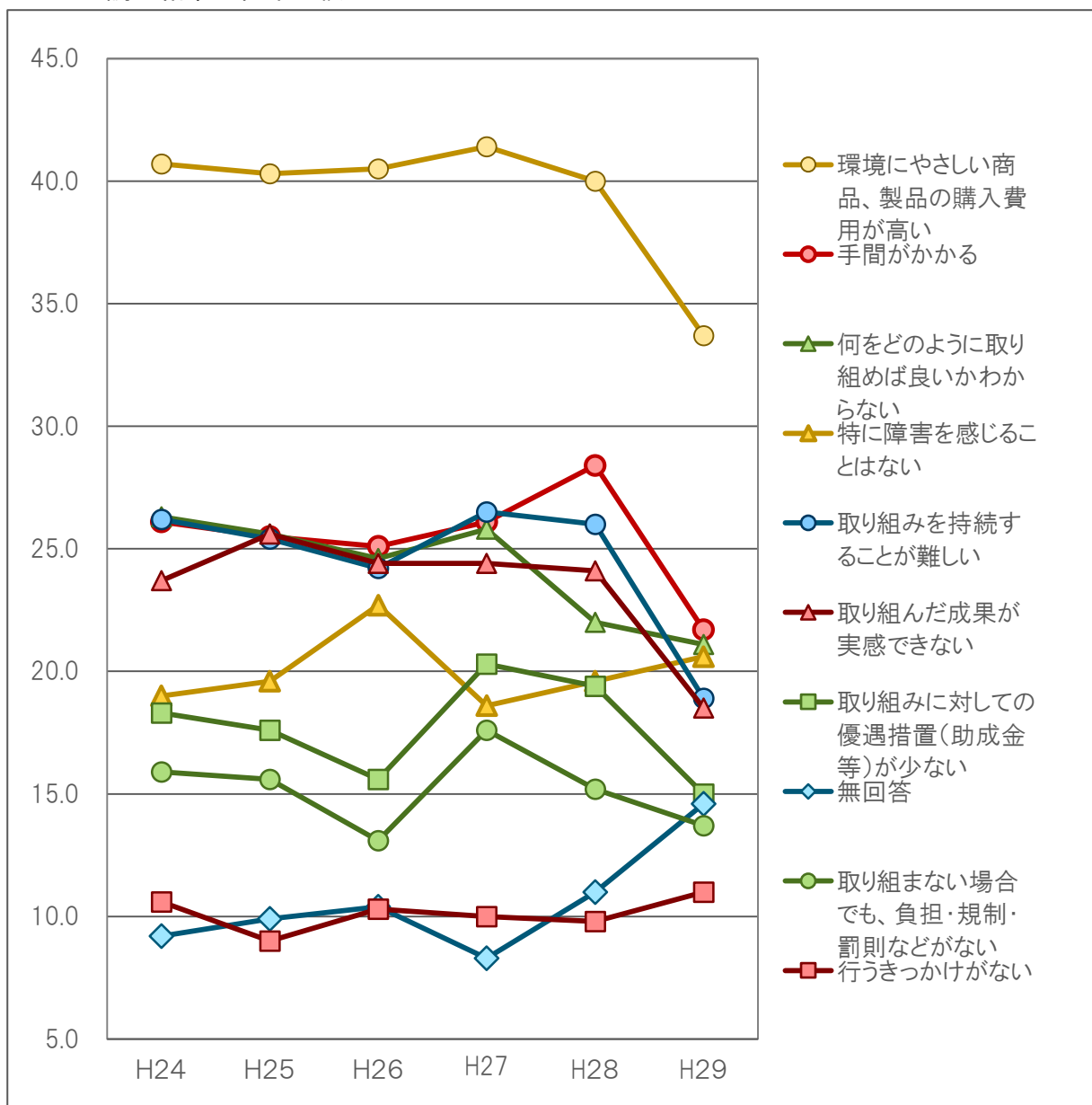
(障害と感じている割合が高い順)

項 目	回答数	割合	前年比	前年
環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	399	33.7%	△ 6.3%	40.0%
手間がかかる	257	21.7%	△ 6.7%	28.4%
何をどのように取り組めば良いのか分からない	250	21.1%	△ 0.9%	22.0%
特に障害を感じることはない	244	20.6%	1.0%	19.6%
取り組みを持続することが難しい	224	18.9%	△ 7.1%	26.0%
取り組んだ成果が実感できない	219	18.5%	△ 5.6%	24.1%
取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	178	15.0%	△ 4.4%	19.4%
取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	162	13.7%	△ 1.5%	15.2%
行いきっかけがない	130	11.0%	1.2%	9.8%
今の生活が快適なので、変えたくない	81	6.8%	△ 2.2%	9.0%
その他	42	3.5%	0.3%	3.2%
無回答	173	14.6%	3.6%	11.0%
合 計	2,359			

※有効回答者数(N):1,184人

- 前年度より大きく減少した項目は「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い(△6.3ポイント)」「手間がかかる(△6.7ポイント)」「取り組みを持続することが難しい(△7.1ポイント)」「取り組んだ成果が実感できない(△5.6ポイント)」「取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない(△4.4ポイント)」の5項目であった。
- 前年より大きく増加した項目はなかった。

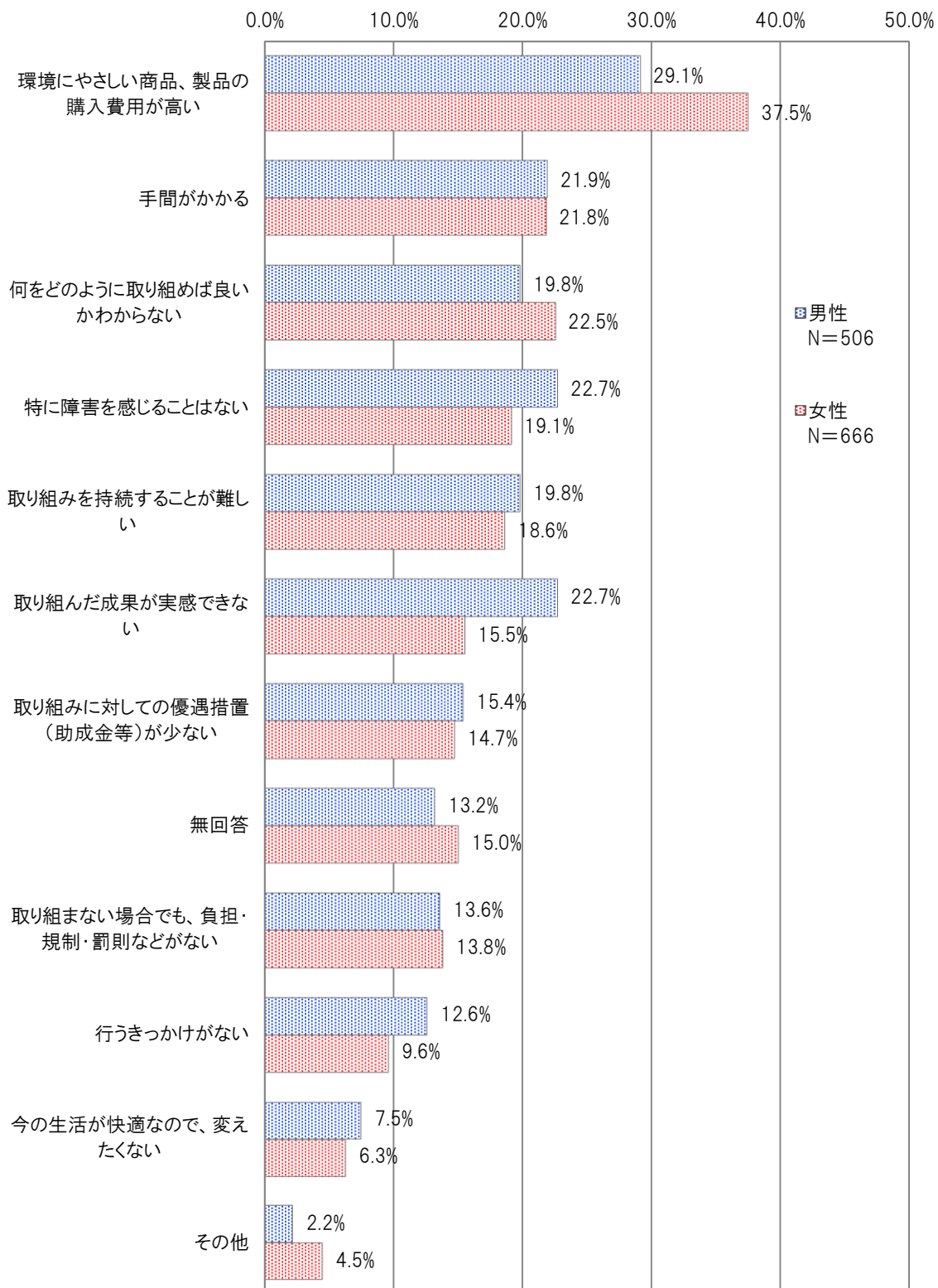
《調査結果の経年比較》



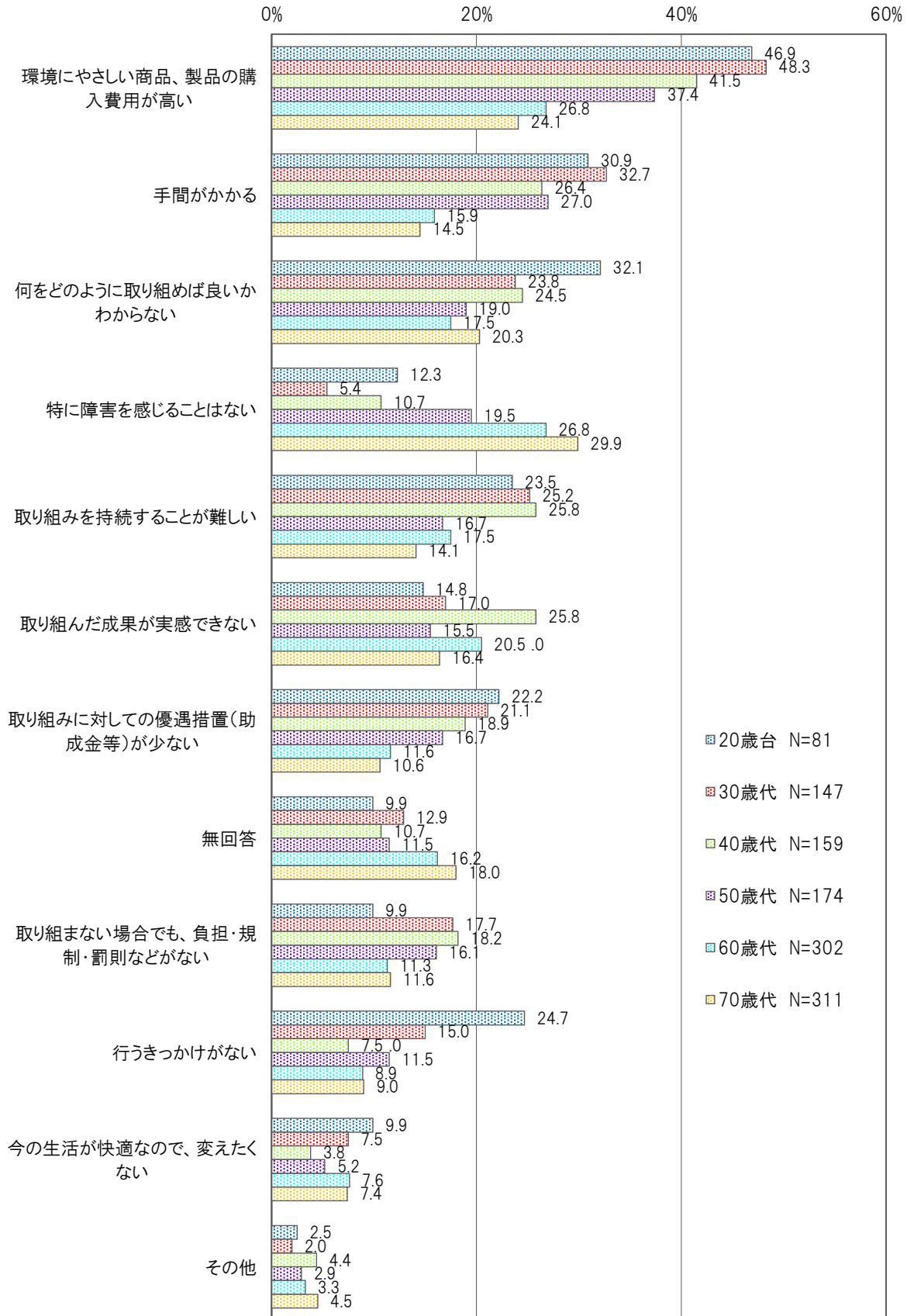
(%)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	40.7	40.3	40.5	41.4	40.0	33.7
手間がかかる	26.1	25.5	25.1	26.1	28.4	21.7
何をどのように取り組めば良いかわからない	26.3	25.6	24.6	25.8	22.0	21.1
特に障害を感じることはない	19.0	19.6	22.7	18.6	19.6	20.6
取り組みを継続することが難しい	26.2	25.4	24.2	26.5	26.0	18.9
取り組んだ成果が実感できない	23.7	25.6	24.4	24.4	24.1	18.5
取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	18.3	17.6	15.6	20.3	19.4	15.0
無回答	9.2	9.9	10.4	8.3	11.0	14.6
取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	15.9	15.6	13.1	17.6	15.2	13.7
行っつきっかけがない	10.6	9.0	10.3	10	9.8	11.0
今の生活が快適なので、変えたくない	8.2	8.3	9.0	8.5	9.0	6.8
その他	3.9	3.0	3.3	3.6	3.2	3.5

《男女別クロス集計結果》



《年齢階層別クロス集計結果》



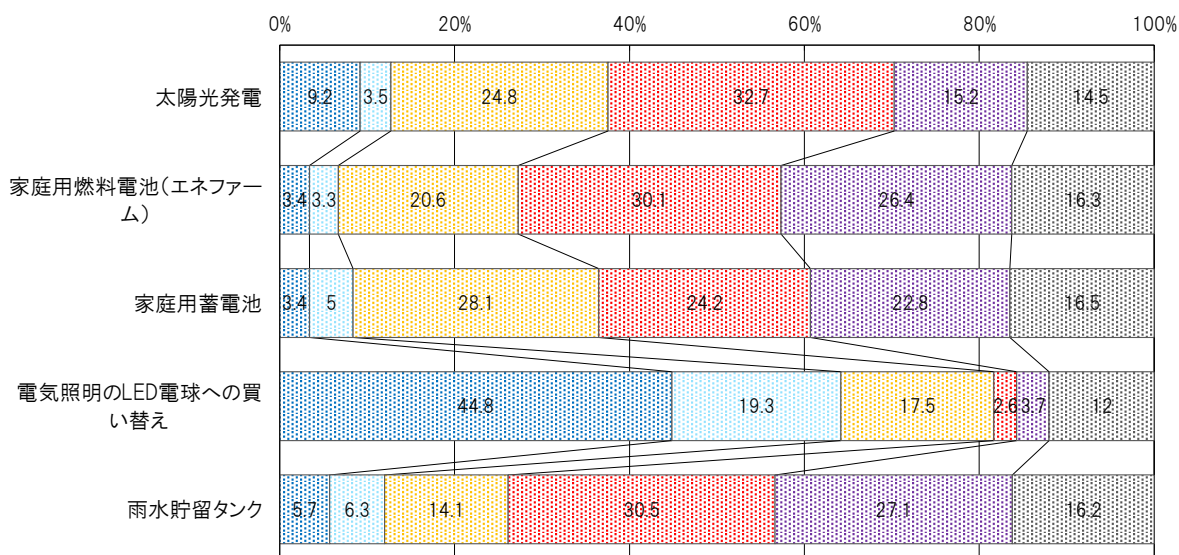
- 公共交通機関は便も少なく運賃も高額なため不便
- 道にごみを捨てることをしたら条例違反で捕まえてほしい
- 資源ごみの回収場所を可燃ごみ置き場と同じところにしてほしい(週一で回収してほしい)
- 日曜日の行事が多い(清掃とか)が仕事で参加できない
- 商売をしているので主に土日の行事等が多いのでほとんど参加できない
- 行政が実施していないため個人で実施する必要がないと思う
- 体力的に無理なことはできない
- 資源ごみを出せる日が少ない
- 幼児がいるため室温調節の通常適温には当てはまらない。公共の交通機関がなさすぎる。
- 高齢になり思うようにできない。たとえば不燃、資源ごみを運ぶことなど
- 部屋の隅にあるコンセントはいちいち抜けない
- アパートなので回覧板が回ってこなくて、地域の情報がまったく入ってこない
- 老人会の仕事みたいになっている。寒い日暑い日は大変です。助成金を出してほしい
- 車がないと困る。公共交通機関が整っていない
- 最近引っ越してきても町内会に入会しない方が多く資源ごみの出し方が最悪で手間がかかるので、市のほうからも個別にでも声をかけてほしい(町内会長とともに)
- 佐世保のごみ袋補助券制度は一人暮らしや夫婦のみ世帯だと何となく損をしている気分になります
- 休みが少ないので時間がない！
- ペットボトルのキャップ等集めても回収団体等がよくわからない
- イベントや講座は時間的に余裕がなく、又何時あっているのかわからないので不参加
- 年取ると難しくなると思います
- 公共交通を利用したいが坂の町でバス停が遠い
- イベント等の有無を知らなかった
- 96歳の父には無理な面もあり私が手伝っているが、私たちの世代が年を取ってからのことが心配。年を取ってはこまめに取り組むのは難しいのではと思う
- 男性の一人暮らし等、したくてもできない人も多い
- 若者や若い親の辛抱足りなさともラルの低下
- 関心を持つ人が少ないので、活動が広まらない点をどう改善していくかのアプローチ法を知りたい
- 環境保全に取り組むにあたっては、多少なりとも手間や労力が必要です。まったく取り組まない家庭も多い中、“なんで私だけ頑張っているんだろう”と思う時がある

問5 あなたの家では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置・利用や取り組みのお考えはありますか？それぞれの項目に最も近いものの数字に○をつけてください。

質問事項 ()内の数値は、「現在利用している」「今後導入を考えたい」「安くなれば導入したい」と回答した割合の合計	現在利用している	今後導入を考えたい	安くなれば導入したい	導入するつもりはない	わからない	無回答	合計
太陽光発電 37.5%	109 9.2%	42 3.5%	294 24.8%	387 32.7%	180 15.2%	172 14.5%	1,184 100%
家庭用燃料電池(エネファーム) 27.3%	40 3.4%	39 3.3%	244 20.6%	356 30.1%	312 26.4%	193 16.3%	1,184 100%
家庭用蓄電池 36.5%	40 3.4%	59 5.0%	333 28.1%	287 24.2%	270 22.8%	195 16.5%	1,184 100%
電気照明のLED電球への買い替え 81.6%	531 44.8%	229 19.3%	207 17.5%	31 2.6%	44 3.7%	142 12.0%	1,184 100%
雨水貯留タンク 26.1%	68 5.7%	75 6.3%	167 14.1%	361 30.5%	321 27.1%	192 16.2%	1,184 100%

※有効回答者数(N):1,184人

■現在利用している ■今後導入を考えたい ■安くなれば導入したい ■導入するつもりはない ■わからない ■無回答

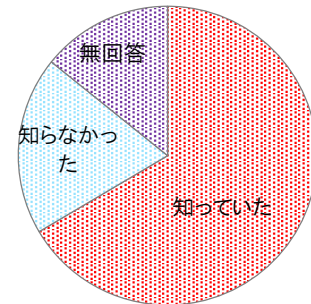


《食品ロスについて》 日本国内の年間の食品廃棄量は、食料消費全体の3割にあたる約2,800万トンで、このうち、本来食べられたはずの、いわゆる「食品ロス」は約632万トンとされています。日本人1人あたりに換算すると、「お茶碗約1杯分(約136g)の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。

日本の食料自給率は現在39%(平成27年度)で、大半を輸入に頼っていますが、一方で食べられる食料を大量に捨てており、その半数は家庭から出されています。

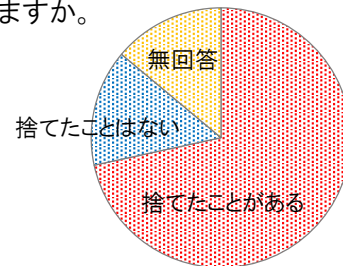
問6 上記のような日本の「食品ロス」の状況について、ご存知でしたか。

項目	回答数	割合
知っていた	787	66.5%
知らなかった	229	19.3%
無回答	168	14.2%
合計	1,184	



問7 これまでに、食品を食べることができずに、捨てたことはありますか。

項目	回答数	割合
捨てたことがある	848	71.6%
捨てたことはない	172	14.5%
無回答	164	13.9%
合計	1,184	

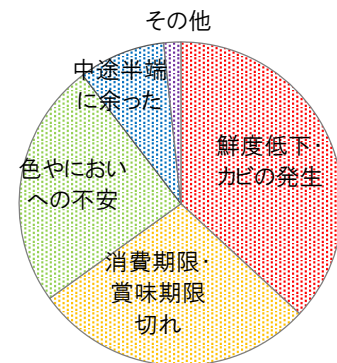


問8 問7で「捨てたことがある」と答えた方のみお答えください。

食品を捨てた理由はなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

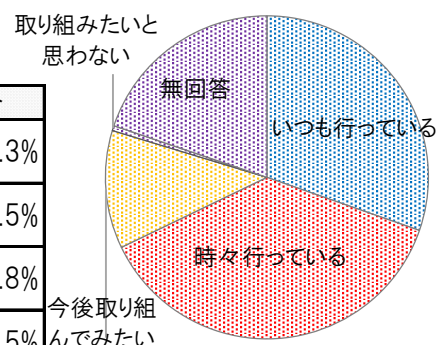
項目	回答数	割合
食品の鮮度が落ちたり、腐ったり、カビが生えたから	642	75.7%
食品の消費期限・賞味期限を過ぎたから	490	57.8%
食品の色やにおいなどで不安を感じたから	427	50.4%
食品が中途半端に余ったから	151	17.8%
その他	30	3.5%
合計	1,740	

有効回答数(N)=848



問9 食品ロスをなくす取り組みをしていますか。

項目	回答数	割合
いつも行っている	359	30.3%
時々行っている	444	37.5%
行っていないが、今後取り組みしてみたい	140	11.8%
行っていないし、今後も取り組みたいと思わない	6	0.5%
無回答	235	19.8%
合計	1,184	



《問8 自由記入欄 ～その他、食品を捨てた理由～》

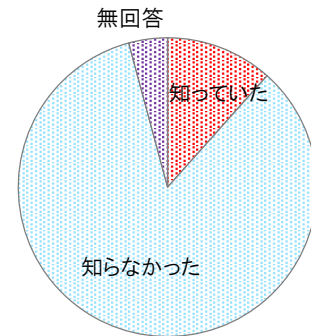
- ①長期に家を空けたため ②ひんぱんに使わない調味料
- 量が多すぎたから
- 田舎の親類から沢山の野菜をいただき食べきれなかった。仕事で多忙が続き、買い置きした食材が使い切れなかった
- 食べ忘れたため日にちが過ぎた
- 満腹になったから
- おなかいっぱいではいらなかった
- 外食時に食べきれずに残してしまった
- 食が細いため
- 料理の作りすぎ。料理を買いすぎる
- 食べきれず余ったものを次の日(捨てている)
- 少人数向けの商品がもっとあったらいいと思う
- 他人からの頂き物で、使用できる料理がわからなくて
- まずい。不要なのに間違えて買った
- 一人暮らしなので調理した料理が残ることがたまにある
- 作りすぎ、食べ残し
- 購入するとき多く買った為特にスーパーの特売の時に余った
- 忘れていたから、年に1～2回
- 法事で次々注文して食べきれなかったのを捨てた。家族が少ない(2人)なのに買いこんでしまう。店も小分けして売ってほしい
- 外食時に量が多くて食べきれなかった
- 病気で食事制限があるため
- 国産を買うようにしているが、たまに表示がわからず購入し、外国のものは味が変わってしまうため

《3010(サンマルイチマル)運動について》

3010(サンマルイチマル)運動は、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、「乾杯後30分前」は席を立たずに料理を楽しみましょう、「お開き10分前」になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう、と呼びかけて、宴会を楽しみながら、食品ロスを削減するものです。

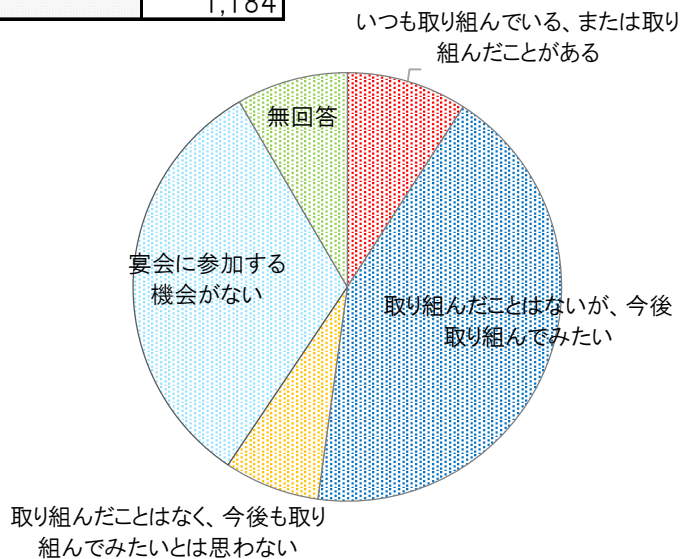
問10 「3010運動」について、ご存知でしたか。

項 目	回答数	割合
知っていた	137	11.6%
知らなかった	997	84.2%
無回答	50	4.2%
合計	1,184	



問11 「3010運動」について、取り組んだことがありますか

項 目	回答数	割合
いつも取り組んでいる、または取り組んだことがある	108	9.1%
取り組んだことはないが、今後取り組んでみたい	510	43.1%
取り組んだことはなく、今後も取り組んでみたいとは思わない	85	7.2%
宴会に参加する機会がない	381	32.2%
無回答	100	8.4%
合計	1,184	



見開きページ
調整用の余白です



佐世保市ごみ減量キャラクター
「ダストン君」

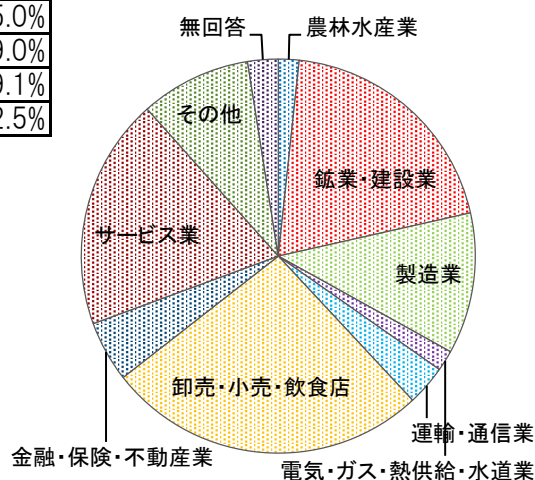
第3章 調査結果(事業所)

■ 回答者

貴事業所についてお聞きします。該当するものを選んでください。

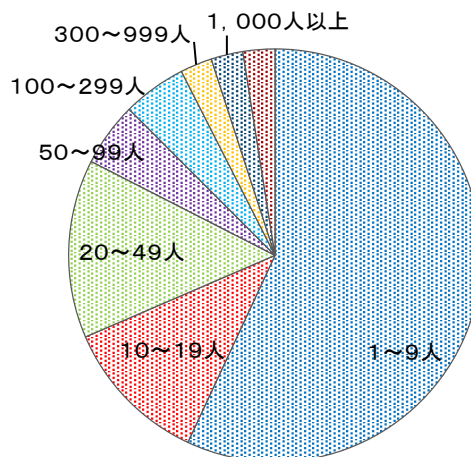
① 業種

項 目	回答数	割合
農林水産業	2	1.7%
鉱業・建設業	24	19.8%
製造業	14	11.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	1.7%
運輸・通信業	4	3.3%
卸売・小売・飲食店	32	26.4%
金融・保険・不動産業	6	5.0%
サービス業	23	19.0%
その他	11	9.1%
無回答	3	2.5%
合計	121	



② 従業員数

項 目	回答数	割合
1～9人	69	57.0%
10～19人	14	11.6%
20～49人	17	14.0%
50～99人	6	5.0%
100～299人	6	5.0%
300～999人	3	2.5%
1,000人以上	3	2.5%
無回答	3	2.5%
合計	121	



■ 環境に対する考え方について

問1 貴事業所が関心を持っている環境問題は何ですか。あてはまるものすべてを選んでください。

(関心が高い順)

項 目	回答数	割合	前年比	前年
ごみの減量、リサイクル	66	54.5%	△ 4.1%	58.6%
地球温暖化	65	53.7%	△ 3.2%	56.9%
大気汚染(空気の汚れ)	50	41.3%	1.6%	39.7%
エネルギー問題	47	38.8%	△ 6.0%	44.8%
川や海の水の汚れ	42	34.7%	1.9%	32.8%
ごみの散乱と不法投棄	37	30.6%	10.8%	19.8%
オゾン層の破壊	28	23.1%	4.1%	19.0%
有害な化学物質による環境汚染	22	18.2%	1.0%	17.2%
騒音、振動	20	16.5%	△ 5.9%	22.4%
身近な自然の減少	20	16.5%	9.6%	6.9%
悪臭	18	14.9%	0.2%	14.7%
土壌汚染	17	14.0%	0.2%	13.8%
農作物の鳥獣被害	16	13.2%	6.3%	6.9%
外来種ペットの飼育放棄や外来種の繁殖	14	11.6%	△ 0.5%	12.1%
野生生物や希少な動植物の減少	10	8.3%	△ 1.2%	9.5%
その他	3	2.5%	2.5%	0.0%
合 計	475			

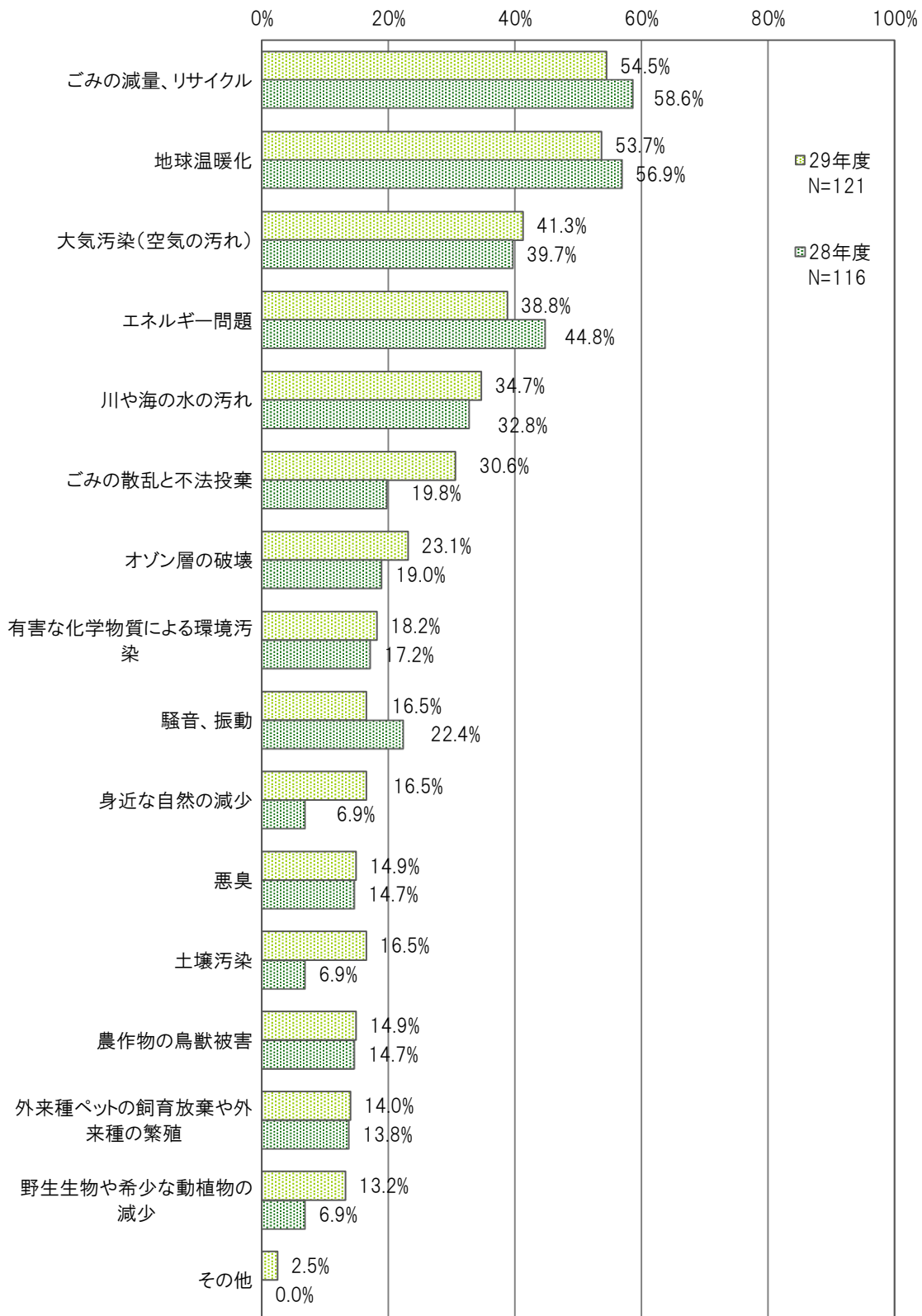
※有効回答者数(N):121事業所

- もっとも多く選択された項目は、「ごみの減量、リサイクル」であった
- 前年を大幅に上回った項目は「ごみの散乱と不法投棄(10.8ポイント)であった。

その他として挙げられた環境問題(自由記述)

- パリ協定に端を発した国民運動COOL CHOICEが理解されていないこと!
- 近所の人のごみを燃やし、煙が家に入ってくる。

《前年度調査結果との比較》



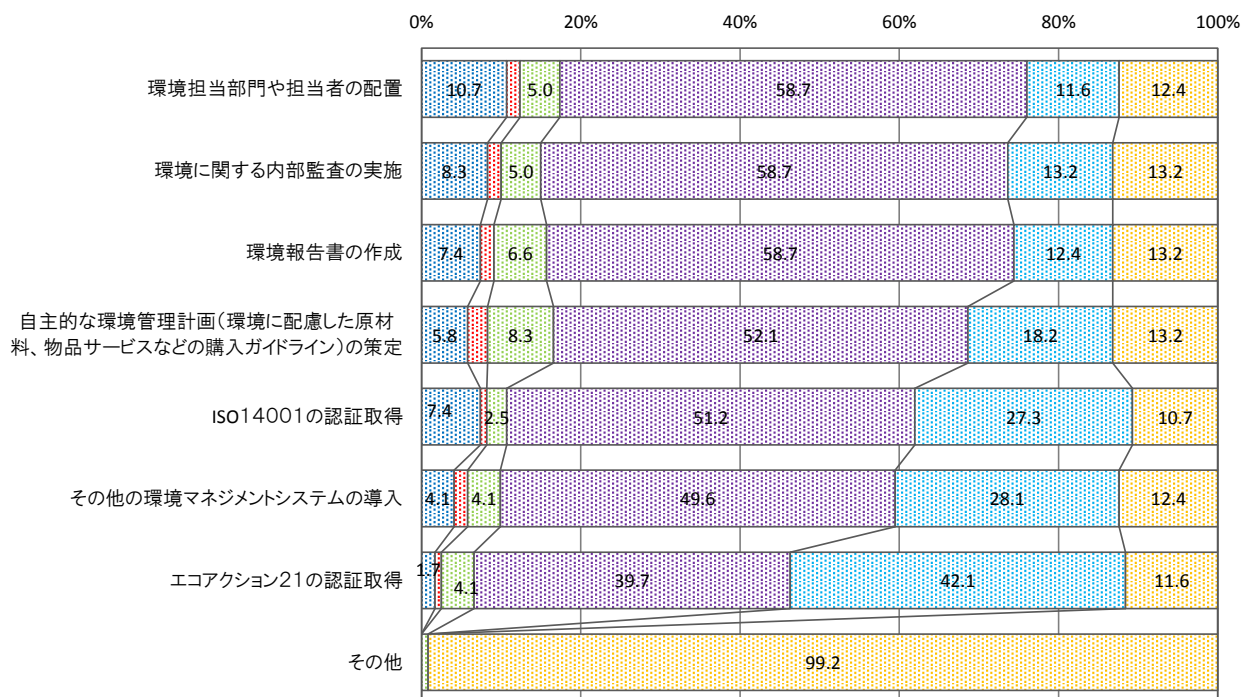
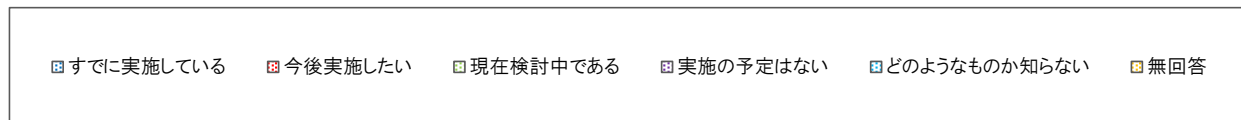
問2 貴事業所では、環境に関する経営方針や管理手法を導入していますか。次のそれぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

(「すでに実施している」「今後実施したい」と回答した人の割合が高い順)

質問事項 ()内の数値は「実施している」「今後実施したい」と回答した人の割合の合計 []は前年	すでに実施している	今後実施したい	現在検討中である	実施の予定はない	どのようなものか知らない	無回答	合計
環境担当部門や担当者の配置 (12.4% [18.1%])	13 10.7%	2 1.7%	6 5.0%	71 58.7%	14 11.6%	15 12.4%	121 100%
環境に関する内部監査の実施 (10% [10.4%])	10 8.3%	2 1.7%	6 5.0%	71 58.7%	16 13.2%	16 13.2%	121 100%
環境報告書の作成 (9.1% [12.1%])	9 7.4%	2 1.7%	8 6.6%	71 58.7%	15 12.4%	16 13.2%	121 100%
自主的な環境管理計画(環境に配慮した原材料、物品、サービスなどの購入ガイドライン)の策定 (8.3% [15.5%])	7 5.8%	3 2.5%	10 8.3%	63 52.1%	22 18.2%	16 13.2%	121 100%
ISO14001の認証取得 (8.2% [5.1%])	9 7.4%	1 0.8%	3 2.5%	62 51.2%	33 27.3%	13 10.7%	121 100%
その他の環境マネジメントシステムの導入 (5.8% [3.5%])	5 4.1%	2 1.7%	5 4.1%	60 49.6%	34 28.1%	15 12.4%	121 100%
エコアクション21の認証取得 (2.5% [3.5%])	2 1.7%	1 0.8%	5 4.1%	48 39.7%	51 42.1%	14 11.6%	121 100%
その他 (0% [0.9%])	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	120 99.2%	121 100%

※有効回答数(N):121事業所

《実施予定の割合》



● 前年と比べ、「すでに実施している」「今後実施したい」と回答した人の割合が前年より大きく下降した項目は「自主的な環境管理計画の策定(△7.2ポイント)」「環境担当部門や担当者の配置(△5.7ポイント)」であった。

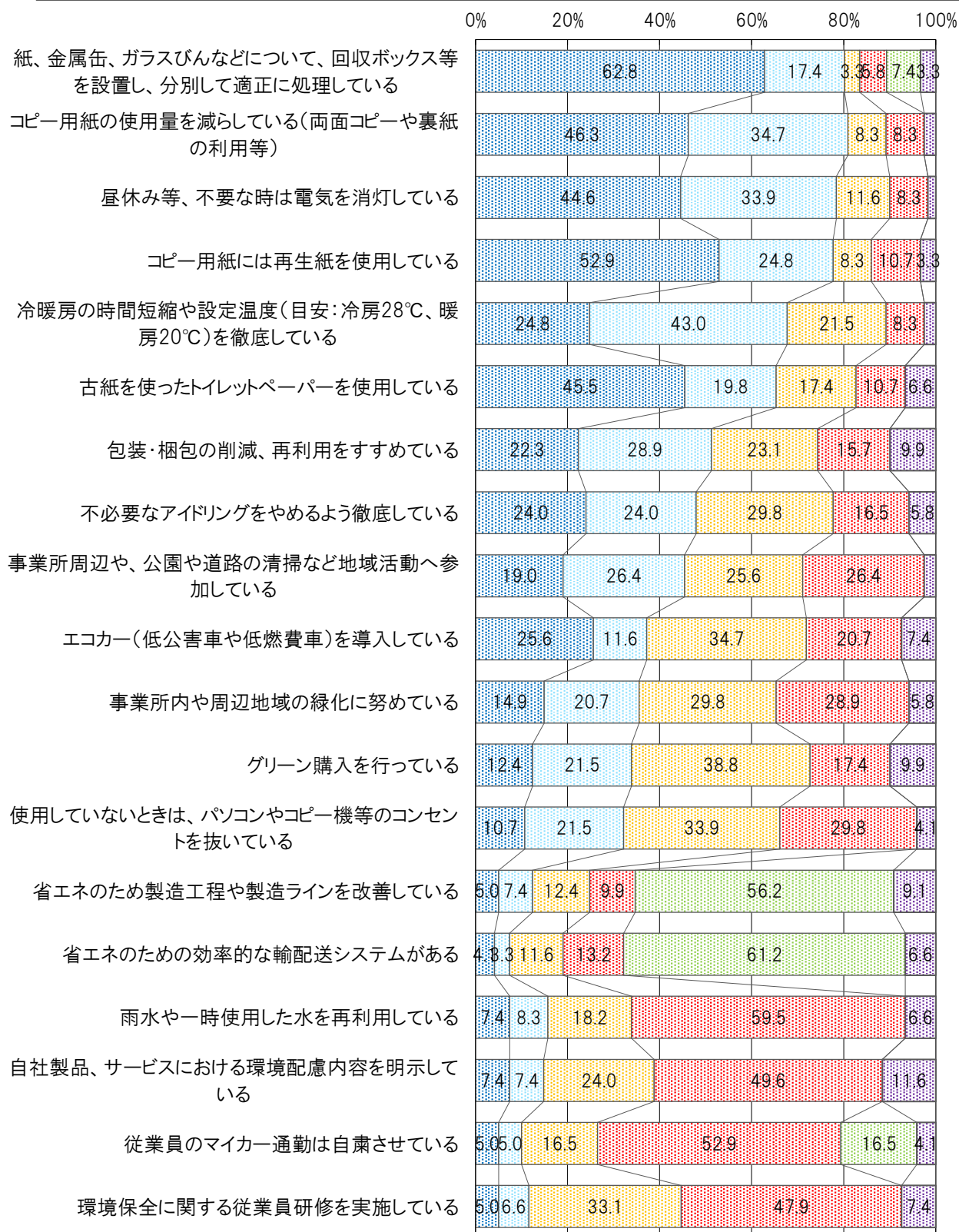
問3 貴事業所が日頃行っている環境保全の取組についてお聞きます。以下の1～20のそれぞれの取組について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

(「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

質問事項 ()内の数値は「いつも行っている」「時々行っている」と回答した人の割合の合計 []は前年	いつも行っている	時々行っている	行っていないが今後行いたい	今後も行わない、又は行っていない	該当しない	無回答	合計
紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している ※ (86.7% [92.6%])	76 62.8%	21 17.4%	4 3.3%	7 5.8%	9 7.4%	4 3.3%	121 100%
コピー用紙の使用量を減らしている(両面コピーや裏紙の利用等) (81.0% [87.0%])	56 46.3%	42 34.7%	10 8.3%	10 8.3%		3 2.5%	121 100%
昼休み等、不要な時は電気を消灯している (78.5% [81.1%])	54 44.6%	41 33.9%	14 11.6%	10 8.3%		2 1.7%	121 100%
コピー用紙には再生紙を使用している (77.7% [73.3%])	64 52.9%	30 24.8%	10 8.3%	13 10.7%		4 3.3%	121 100%
冷暖房の時間短縮や設定温度(目安:冷房28℃、暖房20℃)を徹底している (67.8% [69.0%])	30 24.8%	52 43.0%	26 21.5%	10 8.3%		3 2.5%	121 100%
古紙を使ったトイレットペーパーを使用している (65.3% [66.4%])	55 45.5%	24 19.8%	21 17.4%	13 10.7%		8 6.6%	121 100%
包装・梱包の削減、再利用をすすめている (51.2% [65.5%])	27 22.3%	35 28.9%	28 23.1%	19 15.7%		12 9.9%	121 100%
不必要なアイドリングをやめるよう徹底している (48.0% [55.2%])	29 24.0%	29 24.0%	36 29.8%	20 16.5%		7 5.8%	121 100%
事業所周辺や、公園や道路の清掃など地域活動へ参加している (45.4% [51.7%])	23 19.0%	32 26.4%	31 25.6%	32 26.4%		3 2.5%	121 100%
エコカー(低公害車や低燃費車)を導入している (37.2% [47.4%])	31 25.6%	14 11.6%	42 34.7%	25 20.7%		9 7.4%	121 100%
事業所内や周辺地域の緑化に努めている (35.6% [51.7%])	18 14.9%	25 20.7%	36 29.8%	35 28.9%		7 5.8%	121 100%
グリーン購入を行っている (33.9% [44.8%])	15 12.4%	26 21.5%	47 38.8%	21 17.4%		12 9.9%	121 100%
使用していないときは、パソコンやコピー機等のコンセントを抜いている (32.2% [28.5%])	13 10.7%	26 21.5%	41 33.9%	36 29.8%		5 4.1%	121 100%
省エネのため製造工程や製造ラインを改善している ※ (28.3% [38.5%])	6 5.0%	9 7.4%	15 12.4%	12 9.9%	68 56.2%	11 9.1%	121 100%
省エネのための効率的な輸配送システムがある ※ (19.1% [23.1%])	5 4.1%	4 3.3%	14 11.6%	16 13.2%	74 61.2%	8 6.6%	121 100%
雨水や一時使用した水を再利用している (15.7% [15.5%])	9 7.4%	10 8.3%	22 18.2%	72 59.5%		8 6.6%	121 100%
自社製品、サービスにおける環境配慮内容を明示している (14.8% [18.1%])	9 7.4%	9 7.4%	29 24.0%	60 49.6%		14 11.6%	121 100%
従業員のマイカー通勤は自粛させている ※ (11.8% [15.1%])	6 5.0%	6 5.0%	20 16.5%	64 52.9%	20 16.5%	5 4.1%	121 100%
環境保全に関する従業員研修を実施している (11.6% [10.3%])	6 5.0%	8 6.6%	40 33.1%	58 47.9%		9 7.4%	121 100%

※有効回答者数(N):121人、「該当しない」を除いた割合で計算している。

- 「いつも行っている」「時々おこなっている」と回答した事業所の数が最も多かったのは、前年度に続き「紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している」であった
- 前年と比べ大きく増加した項目はなく、大幅に減少したのは「包装・梱包の削減、再利用をすすめている(△14.3ポイント)」「エコカー(低公害車や低燃費車)を導入している(△10.2ポイント)」「事業所内や周辺地域の緑化に努めている(△16.1ポイント)」「グリーン購入を行っている(△10.9ポイント)」「省エネのため製造工程や製造ラインを改造している(△10.2ポイント)」であった。
- 20項目目(自由記載)は回答がなかった。



問4 問3にあるような環境保全の取組みを実施するために、貴事業所が障害に感じていることはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(障害と感じている割合が高い順)

項目	回答数	割合	前年比	前年
何をどのように取り組めば良いのかわからない	41	33.9%	11.5%	22.4%
環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	40	33.1%	△ 14.3%	47.4%
手間がかかる	31	25.6%	△ 13.2%	38.8%
取組みを持続することが難しい	30	24.8%	△ 0.2%	25.0%
行うきっかけがない	27	22.3%	6.8%	15.5%
取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない	23	19.0%	13.8%	5.2%
特に障害を感じることはない	21	17.4%	△ 4.2%	21.6%
取組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	18	14.9%	△ 3.2%	18.1%
取り組んだ成果が実感できない	16	13.2%	2.9%	10.3%
自社だけ取り組んでも仕方がないと思う	14	11.6%	5.6%	6.0%
無回答	8	6.6%	3.2%	3.4%
その他	5	4.1%	2.4%	1.7%
表彰・認証制度がない	3	2.5%	1.6%	0.9%
合 計	277			

※有効回答数(N):121事業所

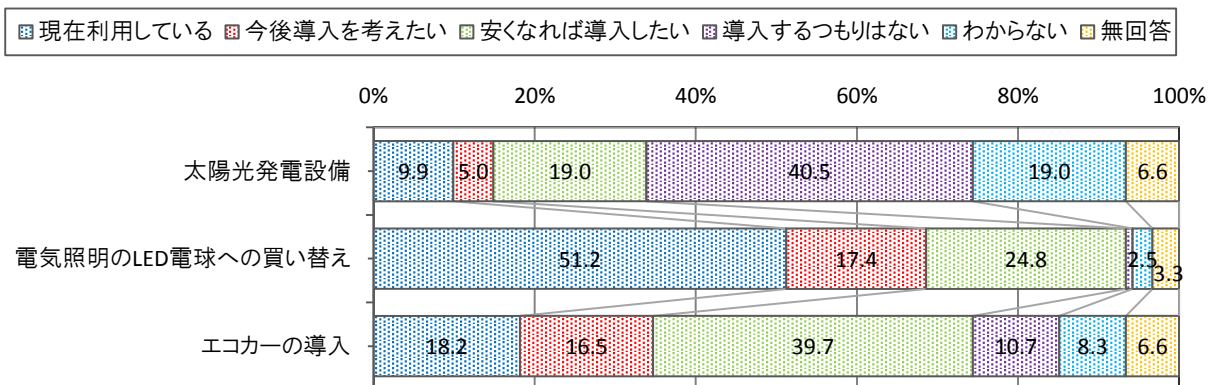
- 障害と感じている項目として最も回答割合が高かったのは、「何をどのように取り組めば良いのかわからない」であった。
- 前年と比べ大幅に増加した項目は「何をどのように取り組めば良いのかわからない(11.5ポイント)」「取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない(13.8ポイント)」で、大幅に減少した項目は「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い(△14.3ポイント)」「手間がかかる(△13.2ポイント)」であった。

問5 貴事業所では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置、利用や取り組みのお考えはありますか？ それぞれの項目に最も近い者の数字に○をつけてください

項目	現在利用している	今後導入を考えたい	安くしなければ導入したくない	導入するつもりはない	わからない	無回答	合計
太陽光発電設備	12 9.9%	6 5.0%	23 19.0%	49 40.5%	23 19.0%	8 6.6%	121 100%
電気照明のLED電球への買い替え	62 51.2%	21 17.4%	30 24.8%	1 0.8%	3 2.5%	4 3.3%	121 100%
エコカーの導入	22 18.2%	20 16.5%	48 39.7%	13 10.7%	10 8.3%	8 6.6%	121 100%

※有効回答数(N):121事業所

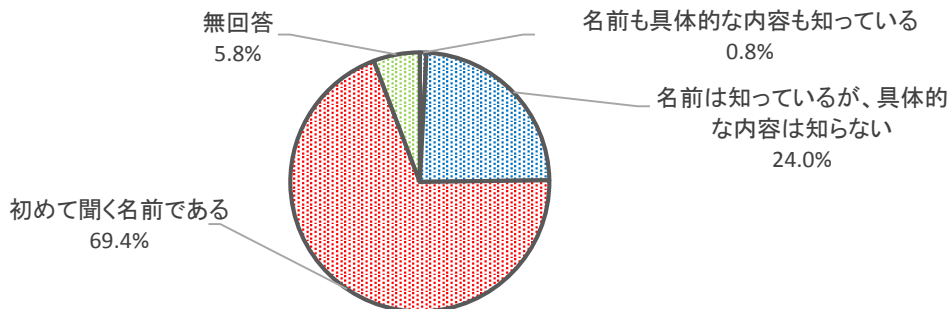
《導入予定の割合》



問6 佐世保市では「エコ資金」として、中小企業を対象に環境に配慮した設備の導入に資金を融資しています。「エコ資金」という名前、具体的な内容の認識について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

項目	回答数	割合	前年比	前年
名前も具体的な内容も知っている	1	0.8%	△ 0.9%	1.7%
名前は知っているが、具体的な内容は知らない	29	24.0%	8.5%	15.5%
初めて聞く名前である	84	69.4%	△ 5.6%	75.0%
無回答	7	5.8%	△ 2.0%	7.8%
合計	121			

※有効回答数(N):121事業所



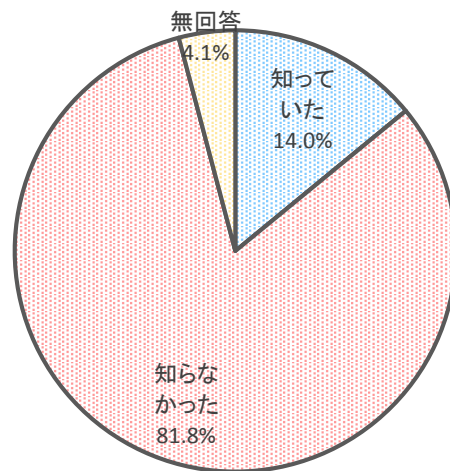
《3010(サンマルイチマル)運動について》

3010(サンマルイチマル)運動は、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、「乾杯後30分間」は席を立たずに料理を楽しみましょう、「お開き10分前」になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう、と呼びかけて、宴会を楽しみながら、食品ロスを削減するものです。

問7 「3010運動」について、ご存知でしたか。

項目	回答数	割合
知っていた	17	14.0%
知らなかった	99	81.8%
無回答	5	4.1%
合計	121	100%

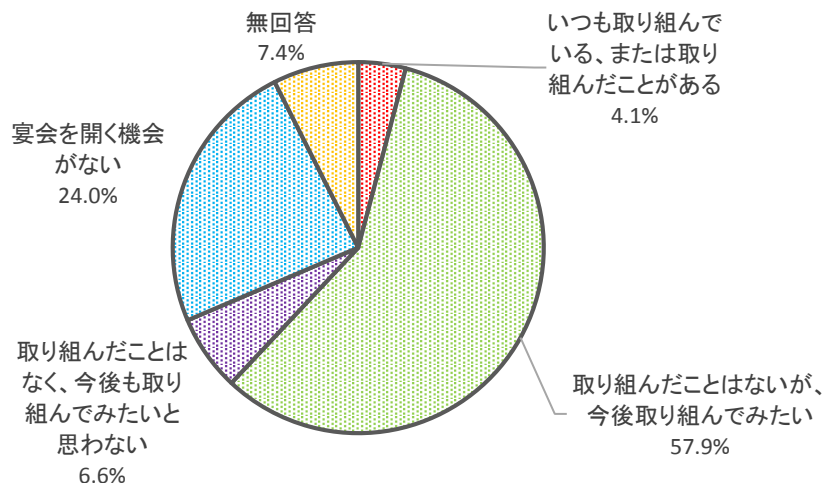
※有効回答数(N):121事業所



問8 貴事業所で、「3010運動」に取り組んだことがありますか。

項目	回答数	割合
いつも取り組んでいる、または取り組んだことがある	5	4.1%
取り組んだことはないが、今後取り組んでみたい	70	57.9%
取り組んだことはなく、今後も取り組んでみたいと思わない	8	6.6%
宴会を開く機会がない	29	24.0%
無回答	9	7.4%

※有効回答数(N):121事業所



見開きページ
調整用の余白です



佐世保市ごみ減量キャラクター
「ダストン君」

第4章 資料(アンケート調査票)

平成 30 年 2 月

市民の皆様へ

佐世保市長 朝長 則男

佐世保市の環境問題に関するアンケートへのご協力をお願い

日頃から、佐世保市の環境行政にご協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。

以下のとおり、「佐世保市の環境問題に関するアンケート調査」を実施いたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

1 調査の目的

環境問題に対する市民の皆様のご関心や取り組み、環境行政に対する期待、ご意見などをお尋ねし、今後の環境行政に役立てたいと考えておりますので、よろしくご協力をお願いいたします。

なお、調査結果につきましては、集計・分析を行った後に、佐世保市公式ホームページで公表いたします。

2 調査対象

本調査は、「佐世保市が行うアンケート調査に係る住民基本台帳情報の利用に関する規則」に基づき、20歳以上の市民の方々から無作為に抽出した3,000名の方を対象としております。

3 匿名性への配慮とアンケート調査票の管理

- ① アンケート調査票や返信用封筒に、お名前やご住所など、個人情報または個人が特定されるような情報はお書きにならないでください。
- ② このアンケート調査の実施にあたっては、使用する個人情報は佐世保市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱うとともに、収集した調査票は調査結果集計後、速やかに焼却処分します。

4 回答方法

- ① お送りした封筒の宛名ご本人がご回答くださいますようお願いいたします。ただし、ご本人のご都合で直接記入できない場合は、他の方が代筆されても結構です。
- ② 回答しにくい項目がある場合は、わかる範囲でお答えください。

5 返送方法

別紙「**市民アンケート調査票**」(3枚)に回答をご記入の上、同封の返信用封筒に入れて、**3月5日(月)**までにご投函くださいますようお願いいたします。

なお、このアンケートにつきましてご不明な点などがございましたら下記までご連絡ください。

<お問合せ先>

佐世保市環境政策課 担当：吉永、荒木

TEL：0956-31-6520 FAX：0956-34-4477

E-mail：kansei@city.sasebo.lg.jp

平成29年度 市民アンケート調査票

アンケート調査票や返信用封筒には、お名前やご住所等、個人情報または個人が特定されるような情報は記載されませんよう、お願いいたします。
(ご住所、お名前は記入しないでください)

■ あなたご自身について

あなたご自身についてお聞きします。あてはまる番号に○をつけてください。

①性別 1. 男性 2. 女性

②年代 1. 20歳台 2. 30歳台 3. 40歳台 4. 50歳台
5. 60歳台 6. 70歳以上

③お住まいの形態 1. 持ち家（一戸建て）
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）
3. 民間賃貸住宅（アパート、マンション、貸家など）
4. 公営住宅（市営・県営住宅など）
5. その他（)

■ 環境に対する考え方について

問1 あなたが関心を持っている環境問題は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 地球温暖化 2. オゾン層の破壊 3. 大気汚染（空気の汚れ） 4. 川や海の水の汚れ 5. 悪臭 6. 騒音、振動 7. 土壌汚染 8. 工場などで使用される有害な化学物質による環境汚染 9. エネルギー問題 10. ごみの減量、リサイクル 11. ごみの散乱と不法投棄	12. 身近な自然の減少 13. 野生生物や希少な動植物の減少 14. 農作物の鳥獣被害 15. 外来種の繁殖による生態系などへの影響 16. その他 具体的に：
---	--

裏面もご記入ください

問2 お住まいの周辺環境について、あなたの満足度と重要度をお聞きます。以下の1～16のそれぞれの環境の状態について、あなたの考えや意見に近いものの番号一つに○をつけてください。

項 目	現状の『満足度』					将来の『重要度』				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
【例】 ○○○○○○○○○○	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
① 地球温暖化										
1. 省エネルギーの取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 再生可能エネルギー（太陽光発電、風力発電、水力発電などの枯渇しないエネルギー）の導入	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 自然環境										
3. 水や水辺とのふれあい（身近に感じられるかどうか）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 農地や土とのふれあい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 生きもの（野鳥、昆虫、魚など）とのふれあい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 自然の景観の美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 快適な生活環境・まちづくり										
7. 災害、水害（洪水、浸水など）からの安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. まちの清潔さ・きれいさ（ごみの散乱など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. まち並み（建物、街路、歴史的風情など）の美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 大気環境・水環境										
10. 水のきれいさ（河川・水路・池沼・海など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 空気のきれいさ（車の排気ガス、星空の見え方など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. まちの静けさ（騒音や振動）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ ごみの減量化とリサイクル										
13. ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. ごみが決められたルールどおりに出されるようにするための取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 環境保全活動										
15. 環境の状況や施策に関する市からの情報提供（広報紙、テレビ、ホームページなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 環境に関する講座や観察会などのイベント	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問3 あなたが（または、あなたのご家庭で）日頃行っている環境保全の取り組みについてお聞きします。
以下の1～20のそれぞれの取り組みについて、あてはまる番号一つに○をつけてください。

取り組み状況	取り組み状況				
	いつも行っている	時々行っている	今後行いたい 行っていないが	今後は行っていない または行っていない	該当しない
取り組み項目					
1. 環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となっているかチェックしている ※毎年配付している、ごみカレンダーに掲載しています	1	2	3	4	
2. 冷暖房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安として、省エネに心がけている（※日頃冷暖房を利用しない場合は「1」を選んでください）	1	2	3	4	
3. テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている	1	2	3	4	
4. シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている（※日頃シャワーを使用しない場合は「5」を選んでください）	1	2	3	4	5
5. 皿洗いや洗面などは、冷たかない程度の温水か、水を使うようにしている	1	2	3	4	
6. 歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常の生活で節水に努めている	1	2	3	4	
7. 買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている	1	2	3	4	
8. 食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないようにするなど、エコクッキングを行っている	1	2	3	4	
9. 生ごみの減量化に取り組んでいる	1	2	3	4	
10. 詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している	1	2	3	4	
11. 物は大切に、修理したりして長く使うようにしている	1	2	3	4	
12. ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている	1	2	3	4	
13. 油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている	1	2	3	4	
14. 自動車を使用する際には、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしないようにしてエコドライブを行っている（※日頃ご家庭で運転をする人がいない場合は「5」を選んでください）	1	2	3	4	5
15. なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている	1	2	3	4	
16. 地域における環境保全活動に参加している（地域の清掃、資源集団回収など）	1	2	3	4	
17. ハイキングや九十九島の海などの身近な自然環境を楽しんでいる	1	2	3	4	
18. 食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている	1	2	3	4	
19. 環境保全に関するイベントや講座などに参加している	1	2	3	4	

20. 上記以外に取り組まれていることがありましたら、ご記入をお願いします

裏面もご記入ください

問4 問3にあるような環境保全の取り組みを実施するために、あなたが障害に感じていることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 手間がかかる | |
| 2. 環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い | |
| 3. 今の生活が快適なので、変えたくない | |
| 4. 何をどのように取り組めば良いのかわからない | |
| 5. 取り組みを持続することが難しい | |
| 6. 取り組んだ成果が実感できない | |
| 7. 取り組みに対しての優遇措置（助成金等）が少ない | |
| 8. 取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない | |
| 9. 行うきっかけがない | |
| 10. 特に障害を感じることはない | |
| 11. その他（具体的に： _____) | |

問5 あなたの家では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置・利用や取り組みのお考えはありますか？ それぞれの項目に最も近いものの数字に○をつけてください

項目 \ 意向	現在 利用している	今後導入を 考えたい	安く なれば 導入 したい	導入する つもり はない	わからない
1. 太陽光発電	1	2	3	4	5
2. 家庭用燃料電池（エネファーム） ^{注1)}	1	2	3	4	5
3. 家庭用蓄電池 ^{注2)}	1	2	3	4	5
4. 電気照明のLED電球への買い替え	1	2	3	4	5
5. 雨水貯留タンク	1	2	3	4	5

注1) **家庭用燃料電池（エネファーム）**

都市ガス・LPガス・灯油などを使って発電する家庭用の機器。発電時に出る熱は給湯に利用される。火力発電による電気とガス給湯器を組み合わせる場合よりも、二酸化炭素排出量が減るとされている。

注2) **家庭用蓄電池**

家庭で使う電気をためておく電池。安い夜間電力をためて昼間に使ったり、太陽光発電で昼間に余った電気をためて夜に使ったりすることで、電気代を節約できる。

「食品ロス」についてお尋ねします

日本国内の年間の食品廃棄量は、食料消費全体の3割にあたる約2,800万トンで、このうち、本来食べられたはずの、いわゆる「食品ロス」は約632万トンとされています。

日本人1人当たりに換算すると、"お茶碗約1杯分(約136g)の食べ物"が毎日捨てられている計算となります。

日本の食料自給率は現在39%(平成27年度)で、大半を輸入に頼っていますが、一方で、食べられる食料を大量に捨てており、その半数は家庭から出されています。



問6 上記のような、日本の「食品ロス」の状況について、ご存じでしたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

問7 これまでに、食品を食べ切ることができずに、捨てたことはありますか。

1. 捨てたことがある 2. 捨てたことはない⇒問9へ

問8 問7で「捨てたことがある」と答えた方のみお答えください。
食品を捨てた理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 食品の鮮度が落ちたり、腐ったり、カビが生えたから
2. 食品の消費期限・賞味期限を過ぎたから
3. 食品の色やにおいなどで、不安を感じたから
4. 食品が中途半端に余ったから
5. その他(具体的に: _____)

問9 食品ロスをなくすために家庭でできることには、下に書いてあるようなものなどがあります。
食品ロスをなくす取り組みをしていますか。

1. いつも行っている
2. 時々行っている
3. 行っていないが、今後取り組んでみたい
4. 行っていないし、今後も取り組みたいと思わない



「賞味期限」は「おいしく食べられる期限」であり、それを超えてもすぐに食べられなくなるわけではないことを理解し、賞味期限を超えた食品については、見た目や臭いなどで個別に判断する。

買い物の前には食品の在庫を確認し、必要なものだけを買う

冷蔵庫の保存場所を活用

- ブロック肉、魚の切り身⇒マイナス3度程度の"パーシャル室"
- スライス肉、豆腐⇒0度の"チルド室"
- 果物・野菜⇒"野菜室" など

残り物を活用したレシピで食品を使い切る工夫をする。

消費者庁のキッチン

裏面もご記入ください

**「3010（サンマルイチマル）運動」
についてお尋ねします**

3010（サンマルイチマル）運動は、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、
「乾杯後 30 分間」は席を立たずに料理を楽しみましょう、
「お開き 10 分前」になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう、と呼びかけて、宴会を楽しみながら、食品ロスを削減するものです。

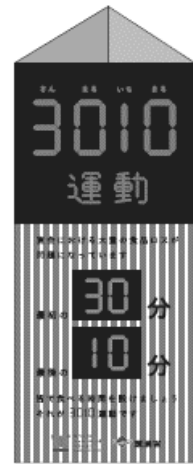


問10 「3010運動」について、ご存じでしたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

問11 「3010運動」に取り組んだことがありますか。

1. いつも取り組んでいる、または取り組んだことがある
 2. 取り組んだことはないが、今後、取り組んでみたい
 3. 取り組んだことはなく、今後も取り組んでみたいとは思わない
 4. 宴会に参加する機会がない



環境省 3010 運動



宴会のテーブルに置くための
三角柱 POP のデータがダウン
ロードできます！

問12 環境保全に関する取り組みを市全域で推進するにあたって、ご意見やご提案等がございましたらご自由にお書きください。

※ ご住所やお名前、その他個人が特定されるようなことは書かないでください。

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかもう一度お確かめの上、同封の返信用封筒にこの「**市民アンケート調査票**」(3枚)を入れ、**3月5日(月)**までにご投函くださいますようお願いいたします。

(封筒に差出人は書かないでください！)

なお、回答結果は佐世保市ホームページで公開予定です。

平成 30 年 2 月

事業者の皆様へ

佐世保市長 朝長 則男

佐世保市の環境問題に関するアンケートへのご協力をお願い

日頃から、佐世保市の環境行政にご協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。

以下のとおり、「佐世保市の環境問題に関するアンケート調査」を実施いたしますので、事業者の皆様のご協力をお願いいたします。

1 調査の目的

環境問題に対する事業者の皆様に関心や取り組み、環境行政に対する期待、ご意見などをお尋ねし、今後の環境行政に役立たせていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、調査結果につきましては、集計・分析を行った後に、佐世保市公式ホームページで公表いたします。

2 調査対象

本調査は、市内の事業所のうち、250事業所を対象としております。

3 匿名性への配慮とアンケート調査票の管理

- ① アンケート調査票や返信用封筒に、お名前やご住所など、個人情報または個人が特定されるような情報は書きにならないでください。
- ② このアンケート調査において収集した情報は、適正に管理・運用を行います。

4 回答方法

- ① あてはまる番号を1つだけ選んでいただく質問と、複数選んでいただく質問があり、各々の質問文に示しております。
- ② 回答しにくい項目がある場合は、わかる範囲でお答えください。

5 返送方法

別紙「事業者アンケート調査票（2枚）」に回答をご記入の上、同封の返信用封筒に入れて、**3月5日（月）**までにご投函くださいますようお願いいたします。

なお、このアンケートにつきましてご不明な点などがございましたら下記までご連絡ください。

<お問合せ先>

佐世保市環境政策課 担当：吉永、荒木

TEL：0956-31-6520 FAX：0956-34-4477

E-mail：kansei@city.sasebo.lg.jp

ご案内

地球温暖化や廃棄物の増加などの様々な環境問題は、私たちの日常の暮らしや事業活動が密接に関係しており、あらゆる主体が積極的に環境への取り組みを行うことが必要です。

事業者の皆様には、事業活動の中で省エネルギーや省資源、廃棄物の削減など、環境保全活動に取り組むことが求められています。

佐世保市では環境省が策定した中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」の認証・登録を推進しています。

『エコアクション21』とは

全ての事業者の皆様が環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境省が策定したガイドライン（環境マネジメントシステム）です。ISO 14001より低コスト・短期間で認証取得できることから、中小事業者の方にも経費や労力の面で取り組みやすい環境マネジメントシステムとなっています。

※環境マネジメントシステム

組織や事業者が、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境マネジメント」といい、このための工場や事業所内の体制・手続き等の仕組みを「環境マネジメントシステム」といいます。

『エコアクション21』に取り組むメリット

経営面での効果

環境経営システムの仕組みを作り、継続的に改善していくことにより、環境面だけでなく、経費の削減や生産性の向上、目標管理の徹底等の経営面での効果もあります。

社会からの信頼を獲得

認証を受けることで取引先や消費者等からの信頼性が向上します。企業の社会的責任の一環にもなります。

EA21

優良産廃業者認定制度の認定基準

産業廃棄物処理事業者の方は、認証を取得することで、優良産廃業者認定制度の認定基準の1つが適合となります。

審査人による指導・助言

事業者は、審査の際にエコアクション21審査人から環境への取り組みなどに関する指導・助言を受けることができます。

佐世保市では、エコアクション21についてのセミナーや、認証・登録に向け、専門家からアドバイスを受けることができる無料の講習会等を例年開催しています。詳しくは下記までお尋ねください

お問合せ先：佐世保市環境部環境保全課

電話：0956-26-1787(直通) F A X：0956-34-4477

Eメール：kanhoz@city.sasebo.lg.jp

平成 29 年度 事業者アンケート調査票

■ 貴事業所について

貴事業所についてお聞きします。あてはまる番号に○をつけてください。

① 業種

- | | | |
|------------------|-----------|--------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 鉱業・建設業 | 3. 製造業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5. 運輸・通信業 | 6. 卸売・小売・飲食店 |
| 7. 金融・保険・不動産業 | 8. サービス業 | |
| 9. その他 () | | |

※ 複数の事業を実施されている場合は、主な業種一つに○をつけてください。

② 従業員数

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 1～9人 | 2. 10～19人 | 3. 20～49人 | 4. 50～99人 |
| 5. 100～299人 | 6. 300～999人 | 7. 1,000人以上 | |

■ 環境に対する考え方について

問1 貴事業所が関心を持っている環境問題は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|-------------------|----------------|
| 1. 地球温暖化 | 2. オゾン層の破壊 | 3. 大気汚染（空気の汚れ） |
| 4. 川や海の水の汚れ | 5. 悪臭 | 6. 騒音、振動 |
| 7. 土壌汚染 | 8. 有害な化学物質による環境汚染 | |
| 9. エネルギー問題 | 10. ごみの減量、リサイクル | |
| 11. ごみの散乱と不法投棄 | 12. 身近な自然の減少 | |
| 13. 野生生物や希少な動植物の減少 | 14. 農作物の鳥獣被害 | |
| 15. 外来種ペットの飼育放棄や外来種の繁殖 | | |
| 16. その他（具体的に：) | | |

問2 貴事業所では、環境に関する経営方針や管理手法を導入していますか。次のそれぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

項目 \ 意向	し既に い実 る施	施今 し後、 たい、 い実	中現 で在、 ある、 検討	定実 は施 ない予	知な らも ないの よう か
例 ○○○○の取組	1	2	3	4	5
1. ISO14001 の認証取得	1	2	3	4	5
2. エコアクション 21 の認証取得	1	2	3	4	5
3. その他の環境マネジメントシステムの導入	1	2	3	4	5
4. 自主的な環境管理計画（環境に配慮した原材料、物品、サービスなどの購入ガイドライン）の策定	1	2	3	4	5
5. 環境担当部門や担当者の配置	1	2	3	4	5
6. 環境報告書の作成	1	2	3	4	5
7. 環境に関する内部監査の実施	1	2	3	4	5
8. その他 ()	1	2	3		

裏面もご記入ください

問3 貴事業所が日頃行っている環境保全の取組についてお聞きします。以下の1～20のそれぞれの取組について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

取 組	状 況				該当しない
	いつも行っている	時々行っている	行っていないが 今後行いたい	今後も行わない、 または行っていない	
1. コピー用紙には再生紙を使用している	1	2	3	4	
2. 古紙を使ったトイレトーパーを使用している	1	2	3	4	
3. エコカー（低公害車や低燃費車）を導入している	1	2	3	4	
4. 昼休み等、不要な時は電気を消灯している	1	2	3	4	
5. 冷暖房の時間短縮や設定温度（目安：冷房 28℃、暖房 20℃）を徹底している	1	2	3	4	
6. 使用していない時は、パソコンやコピー機等のコンセントを抜いている	1	2	3	4	
7. 省エネのため製造工程や製造ラインを改善している	1	2	3	4	5
8. 雨水や一時使用した水を再利用している	1	2	3	4	
9. コピー用紙の使用量を減らしている(両面コピーや裏紙の利用等)	1	2	3	4	
10. グリーン購入を行っている ※グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に環境を考慮して必要性をよく考え、 環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。	1	2	3	4	
11. 包装・梱包の削減、再利用をすすめている	1	2	3	4	
12. 紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、 分別して適正に処理している	1	2	3	4	5
13. 従業員のマイカー通勤は自粛させている	1	2	3	4	5
14. 不必要なアイドルリングをやめるよう徹底している	1	2	3	4	
15. 省エネのための効率的な輸配送システムがある	1	2	3	4	5
16. 事業所内や周辺地域の緑化に努めている	1	2	3	4	
17. 環境保全に関する従業員研修を実施している	1	2	3	4	
18. 事業所周辺や、公園や道路の清掃など地域活動へ参加している	1	2	3	4	
19. 自社製品、サービスにおける環境配慮内容を明示している。	1	2	3	4	
20. 上記以外に取り組まれていることがありましたら、ご記入をお願いします					

問4 問3にあるような環境保全の取組を実施するために、貴事業所が障害に感じていることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 手間がかかる |
| 2. 環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い |
| 3. 何をどのように取り組めば良いのかわからない |
| 4. 自社だけ取り組んでも仕方がないと思う |
| 5. 取組を持続することが難しい |
| 6. 取り組んだ成果が実感できない |
| 7. 取組に対しての優遇措置（助成金等）が少ない |
| 8. 表彰、認証制度がない |
| 9. 取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などがない |
| 10. 行うきっかけがない |
| 11. 特に障害を感じることはない |
| 12. その他（具体的に：) |

問5 貴事業所では将来、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用に向け、以下の関連機器の設置・利用や取り組みのお考えはありますか？ それぞれの項目に最も近いものの数字に○をつけてください。

項目 \ 意向	現在利用している	今後導入を考えた	安くなれば導入したい	導入するつもりはない	わからない
1. 太陽光発電設備	1	2	3	4	5
2. 電気照明のLED電球への買い替え	1	2	3	4	5
3. エコカーの導入 ^{注1)}	1	2	3	4	5

注1) ここでは、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車を対象としてお尋ねします。

ハイブリッド自動車

エンジンと電気モーターなどの2つの動力を効率よく切り替えながら走る自動車。

プラグインハイブリッド自動車

コンセントから直接充電できるタイプのハイブリッド自動車で、ハイブリッド自動車に比べ電池を多く搭載している。

電気自動車

バッテリーに充電された電気でモーターを動かして走る自動車。

燃料電池自動車

燃料電池を搭載した自動車で、水素と酸素の化学反応で得られる電気エネルギーを利用して走る自動車。

クリーンディーゼル車

粒子状物質や窒素酸化物などの大気汚染物質の排出量が従来のディーゼル車よりも少なく、走行時のCO2排出量がガソリン車よりも少ない。また、ガソリン車に比べて燃費が良いとされている自動車。

裏面もご記入ください

問6 佐世保市では「エコ資金」として、中小企業を対象に環境に配慮した設備の導入に資金を融資しています。「エコ資金」という名前、具体的な内容の認識について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

1. 名前も具体的な内容も知っている。
2. 名前は知っているが、具体的な内容は知らない。
3. 初めて聞く名前である。

エコ資金とは…

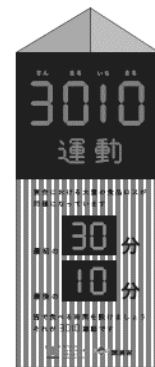
環境に配慮した経営に取り組む市内中小企業者に対し、設備資金を融資するものです。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

ホーム > 事業者の方へ > 事業所運営 > 経営支援 > 佐世保市中小企業融資制度について

**「3010 (サンマルイチマル) 運動」
についてお尋ねします**

3010 (サンマルイチマル) 運動は、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、

「乾杯後 30 分間」は席を立たずに料理を楽しみましょう、
「お開き 10 分前」になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう、と呼びかけて、宴会を楽しみながら、食品ロスを削減するものです。



問7 「3010運動」について、ご存じでしたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問8 貴事業所で、「3010運動」に取り組んだことがありますか。

1. いつも取り組んでいる、または取り組んだことがある
2. 取り組んだことはないが、今後、取り組んでみたい
3. 取り組んだことはなく、今後も取り組んでみたいとは思わない
4. 宴会を開く機会がない

環境省 3010 運動

宴会のテーブルに置くための三角柱 POP のデータがダウンロードできます！

問9 環境保全に関する取り組みを市全域で推進するにあたって、市への要望や施策に対するご意見やご提案等がございましたら、ご自由にお書きください。

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかもう一度お確かめの上、同封の返信用封筒にこの「**事業者アンケート調査票**」を入れ、**3月5日(月)**までにご投函くださいますようお願いいたします。

なお、回答結果は佐世保市ホームページで公開予定です。

平成30年度
佐世保市の環境問題に関するアンケート
集計結果（詳細版）

佐世保市環境部環境政策課

〒857-0851 佐世保市稻荷町1番8号

TEL (0956) 31-6520

FAX (0956) 34-4477



佐世保市ごみ減量キャラクター
「ダストン君」